

Panasonic[®]

取扱説明書

WP-DM900シリーズリモートコントロールソフト

はじめに

商品概要

リモートコントロールソフト（以下、本ソフトウェア）を使用するとパワーアンプ（WP-DM948／WP-DM924／WP-DM912 以下、本体）の各種設定やモニター操作をパーソナルコンピューター（以下、PC）から行うことができます。本ソフトウェアは、優れた使いやすいGUIを通して、ミュート設定、入力・出力コライザー設定、フィルター設定、リミッター設定、内部温度や電圧のモニター機能などの幅広い制御、モニター機能を提供します。

取扱説明書について

- 本書はWP-DM948／WP-DM924／WP-DM912用リモートコントロールソフトの操作方法について記載しています。本体の機能に関する内容は、本体の取扱説明書をお読みください。
- 本書ではMicrosoft Windows 10 Proをご使用の場合を例に説明しています。ほかのOSをご使用の場合やOSの設定によっては、画面表示の異なる場合があります。ほかのOSをご使用の場合、該当するOSの取扱説明書をお読みください。
- ソフトウェアのバージョン情報など本書中に示す画面図は表示例であり、実際のものとは異なる場合があります。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

必要なPCの環境について

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つPCで使用できます。

OS	Microsoft Windows 10 Pro日本語版 Microsoft Windows 8.1 Pro日本語版 Microsoft Windows 7 Pro日本語版
CPU	上記OSおよびMicrosoft .NET Framework 4.6で推奨されているCPUを搭載しているPCであること
メモリー	上記OSおよびMicrosoft .NET Framework 4.6で推奨されているメモリーを搭載しているPCであること
ハードディスク容量	本ソフトウェアのインストール用として2.5 GBの容量が必要です。 本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft .NET Framework 4.6以上が必要です。インストールされていない場合は、別途Microsoft .NET Framework 4.6をインストールする空き容量が必要です。
画面	1024×768ピクセル以上の解像度
インターフェース	100 Mbps以上のネットワークポートを有すること



- 本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft .NET Framework 4.6以上が必要です。

著作権について

本製品に含まれるソフトウェア（OSSを除く）の譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

- パーソナルコンピュータをPCと表記しています。
- 特に指定がない場合、WP-DM948／WP-DM924／WP-DM912を本体と表記しています。

オープンソースソフトウェアについて

本製品は下記のOSSを使用しています。

[BSD]

antlr3 Runtime, protobuf

[MIT]

ncalc, caliburn.micro, FontAwesome.WPF, Newtonsoft.JSON, RenciSshNet, ICSsharpCode.SharpZipLib

[MS-PL]

WPFToolkit

[CPOL]

Hardcodet.net WPF-NotifyIcon

[LGPL]

clrzmq

[Apache]

protobuf-net , ASP.NET SignalR, Owin

本製品に含まれる第三者製ソフトウェアのライセンスについて

本製品はGPLの第三者製ソフトウェアを含んでいます。そのライセンスは、製品内で表示できますので参照してください。

著作権等について

上記を除いて、本ソフトウェアの著作権、その他の無体財産権は、パナソニック株式会社または第三者に帰属しており、お客様へは移転しません。

また、本ソフトウェアを使用した際に生じた障害、損失などに関して、弊社はいかなる責任も負いません。

ネットワーク等のセキュリティ対策に関するお願い

本ソフトウェアはネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 1) 情報の漏えいや流出
- 2) 悪意を持った第三者による不正操作
- 3) 悪意を持った第三者による妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策など、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- インターネットに接続していない安全性の確保されたネットワーク上で使用する。
- コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除を定期的に行う。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに	2
商品概要	2
取扱説明書について	2
商標および登録商標について	2
必要なPCの環境について	2
著作権について	3
略称について	3
オープンソースソフトウェアについて	3
ネットワーク等のセキュリティ対策に関するお願い	4
記号について	4
共通操作	8
インストール・アンインストール	8
■ インストールのしかた	8
■ アンインストールのしかた	8
起動と終了	9
■ 起動のしかた	9
■ 終了のしかた	9
ネットワーク接続	10
■ ネットワーク環境について	10
オンライン編集とオフライン編集について	11
■ ネットワークインターフェース設定	11
■ オンライン編集のしかた	11
■ オフライン編集のしかた	13
■ 簡単IP設定	15
基本画面	17
画面構成	17
■ 画面表示管理	18
画面共通	20
メニューボタン	21
■ オプション設定	22
リボン	27
■ ホームタブ	28
■ 表示タブ	28
クイックアクセスツールバー	29
リモートエンティティ	30

もくじ

モデルリスト	31
ワークスペース	32
■ ワークスペース画面の表示・非表示	33
■ ワークスペースステータスバー	34
■ ワークスペース上での作業	35
■ レイアウトツール	36
設定画面	37
プリセット	37
色分け定義	39
■ チャンネルの色分け	39
■ アンプ状態の色分け	39
■ アラームの色分け	39
基本設定	40
■ オンライン編集とオフライン編集	40
■ 同期	41
■ エンティティ	41
■ アンプ	42
■ ラック	43
■ グループ	45
■ メモと吹き出し	48
アンプ設定	49
入力ソース選択設定画面	50
マトリクス設定画面	52
入力イコライザー画面	53
スピーカーイコライザー画面	55
出力設定画面	58
スピーカー設定画面	69
プリセットロック画面	72
プリセット管理画面	73
その他設定画面	74

システム管理	79
ファームウェア更新.....	79
イベント／イベントコンソール画面.....	80
■ 表示	80
■ 設定	80
■ イベントコンソール画面	80
グループオーバービュー.....	81
■ チャンネルコントロールパネル	82
プリセットマネージャー.....	83
■ スナップショット画面	83
システム情報.....	85
■ 一般	85
■ 関連ファイル	86
システムリスト.....	87
■ カスタマイズ画面	88
■ スケジュール	89
付録	90
イベントについて.....	90
■ イベント一覧	90
アクセス制限について.....	91
■ アクセス制限一覧	91
モニター端子アラーム出力について.....	96
■ アラーム出力一覧	96
フィルター設定について.....	97
■ オクターブ値⇒Q値 換算表	97
故障かな!?	102

共通操作

インストール・アンインストール

■ インストールのしかた

本ソフトウェアのインストール手順を説明します。

本ソフトウェアをインストールするには、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合のみ、インストールしてください。

1 ダウンロードしたファイルを解凍します。

2 解凍フォルダーにある「setup.exe」をダブルクリックします。

インストーラーが実行され、セットアップウィザードが表示されます。
使用許諾画面が表示されます。

3 「使用許諾契約」をよく読み、使用許諾に同意する場合は「同意する」をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。

インストール先選択画面が表示されます。

4 インストール先のフォルダーを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックしてインストール先のフォルダーを選択します。
追加タスクの選択画面が表示されます。

5 デスクトップにショートカットを作成する場合は「デスクトップ上にアイコンを作成する」をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。

インストールの準備画面が表示されます。

6 [インストール] ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。
インストールが終了するとセットアップの終了画面が表示されます。

7 [完了] ボタンをクリックします。

セットアップの終了画面を閉じます。

■ アンインストールのしかた

本ソフトウェアをアンインストールするときは、以下の手順で操作します。

《Windows 7の場合》

[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムのアンインストール] から [WP-DM900シリーズ リモートコントロールソフト] を選択して [アンインストール] をクリックします。

《Windows 8.1の場合》

キーボードの [Windows ロゴ] をクリックしながら [X] をクリックし、[コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] から [WP-DM900シリーズ リモートコントロールソフト] を選択して [アンインストール] をクリックします。

《Windows 10の場合》

タスクバーの検索ボックスで [アプリと機能] と入力して選択し、[WP-DM900シリーズ リモートコントロールソフト] を選択して [アンインストール] をクリックします。

起動と終了

■ 起動のしかた

《Windows 7 の場合》

- ①. スタートメニューで [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [WP-DM900Series] - [WP-DM900シリーズ リモートコントロールソフト] を選択します。
- ②. リモコンソフトが起動し、画面が表示されます。

《Windows 8.1 の場合》

- ①. キーボードの [Windowsロゴ] をクリックしながら [Q] をクリックし、開いた検索チャームで [WP-DM900シリーズ リモートコントロールソフト] を選択する。
- ②. リモコンソフトが起動し、画面が表示されます。

《Windows 10 の場合》

- ①. スタートメニューで [すべてのアプリ] - [Panasonic] - [WP-DM900シリーズ リモートコントロールソフト] を選択します。
- ②. リモコンソフトが起動し、画面が表示されます。



- デスクトップ上のショートカットからも起動できます。
- インストール後の初回起動時に [Windowsセキュリティの重要な重要な警告] 画面が表示されます。「プライベートネットワーク (ホームネットワークや社内ネットワークなど)」をチェックし、「アクセスを許可する」をクリックしてください。

■ 終了のしかた

1 [メニュー] ボタン (21ページ) をクリックします。

アプリケーション画面、オプションボタンなどが表示されます。

2 [終了] ボタンをクリックします。

本ソフトウェアが終了します。

オフライン編集時に未保存のデータがある場合、保存を確認する画面が表示されます。



- 画面右上の閉じる [X] ボタンをクリックしても終了させることができます。

ネットワーク接続

本ソフトウェアは本体とネットワーク接続することで本体の設定・制御を行うことができます。

■ ネットワーク環境について

本体のネットワーク・インターフェースに関する仕様は以下のとおりです。

ネットワーク 100BASE-TX
対応プロトコル IPv4 : TCP/IP、UDP/IP



- 本体と接続する場合、本体と本ソフトウェアは必ず同一ネットワークアドレス、同一のサブネットマスクに設定してください。異なるネットワークアドレス上の本体に接続することはできません。
- 同一ネットワークアドレス上に同じIPアドレスの機器が存在すると正しく接続することができません。同一ネットワークアドレス上に複数の本体を接続する場合は、本体のIPアドレスを変更してください。



- 例えば、複数の本体を接続する場合、次のようにIPアドレス、サブネットマスクを設定することで、正しく接続することができます。

機器	IPアドレス	サブネットマスク
アンブ1	192.168.0.10	255.255.255.0
アンブ2	192.168.0.11	255.255.255.0
PC (本ソフト搭載済み)	192.168.0.20	255.255.255.0

オンライン編集とオフライン編集について

本ソフトウェアを使用した操作には、オンライン編集とオフライン編集の2種類があります。

- オンライン編集** 本ソフトウェアと本体がネットワーク経由で接続された状態で、リアルタイムで設定データの編集、管理ができます。
- オフライン編集** 本ソフトウェアと本体が接続されていない状態で、本ソフトウェアのみで設定データの編集を行います。編集した設定データは、同期機能で本体にアップロードすることができます。
- 詳細については「オンライン編集とオフライン編集」(40ページ)をお読みください。

■ ネットワークインターフェース設定

本ソフトウェアが使用可能なネットワークインターフェースを検索し、有効状態にします。

- 1 本ソフトウェアの左上の [メニュー] ボタンをクリックします。
ファイルメニュー、[オプション] ボタンなどが表示されます。
- 2 [オプション] ボタンをクリックします。
オプション画面が表示されます。
- 3 [コミュニケーションマネージャー] タブをクリックします。
使用可能なすべてのネットワークインターフェースとIPアドレスの一覧が表示されます。
- 4 本体との接続に使用するネットワークインターフェースのステータス欄の表示が「無効」の場合、
[▶] ボタンをクリックし、「有効」に変更します。
- 5 [適用] ボタンをクリック後、[OK] ボタンをクリックします。
オプション画面を閉じます。



重要

- 本体のネットワーク設定の初期設定はDHCPです。本ソフトウェアを初めて本体に接続する場合は、PC（本ソフトウェア搭載済み）のネットワーク設定を「IPアドレスを自動的に取得する」に設定してください。
- 本体のネットワーク設定を初期設定から変更する場合は、「簡単IP設定」(15ページ)をお読みください。

■ オンライン編集のしかた

- 1 [表示] タブをクリックします。
表示ツールバーが表示されます。



2 [リモートエンティティ] をクリックします。

リモートエンティティ画面が表示されます。



- すでに [リモートエンティティ] 画面が表示状態でドッキングモード (18ページ) で画面左端にタブ状態で表示されている場合は、[リモートエンティティ] タブにカーソルを合わせると、リモートエンティティ画面が表示されます。

3 [検索] ボタンをクリックします。

ネットワーク上に発見された本体のアイコンが表示されます。



4 編集対象の本体アイコンを [ワークスペース] 内にドラッグ&ドロップします。

本ソフトウェアと本体が同期する状態に移行します。

同期状態への移行中は、本体アイコンの枠線が赤白表示となります。



5 正常に同期が完了すると本体アイコンが緑枠表示となります。

同期が確立できない場合、赤枠表示となります。



6 ワークスペース上のアイコンをダブルクリックすると、システム詳細画面を表示します。

■ オフライン編集のしかた

1 [表示] タブをクリックします。

表示ツールバーが表示されます。

2 [モデルリスト] をクリックします。

モデルリスト画面が表示されます。



- すでに [モデルリスト] 画面が表示状態でドッキングモード（18ページ）で画面左端にタブ状態で表示されている場合は、左端の [モデルリスト] タブにカーソルを合わせると、モデルリスト画面が表示されます。

3 [Amplifier] アイコンをクリックします。

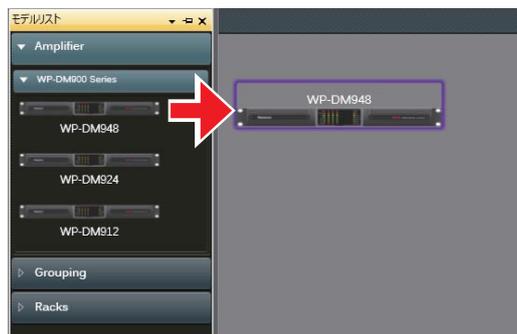
4 [WP-DM900 Series] アイコンをクリックします。

編集可能な本体のアイコンが表示されます。



共通操作

5 編集対象の本体アイコンを[ワークスペース]内にドラッグ&ドロップします。



オフライン編集では実体のない仮想状態の本体を対象に操作を行います。仮想状態の本体アイコンは紫枠表示となります。

6 ワークスペース上のアイコンをダブルクリックすると、システム詳細画面を表示します。



■ 簡単IP設定

本体が本ソフトウェアと同一ネットワークアドレス上に存在しない場合、[検索] ボタンによる検索を実行しても本体を見つけることができず、リモートエンティティ画面上には何も表示されません

このようなケースにおいては、簡単IP設定機能を使用し本体を検索し、本体のIP設定を変更することができます。

1 [簡単IP] ボタンをクリックします。

検索結果が表示されます。

本体、および簡単IP設定機能に対応した製品が表示されます。



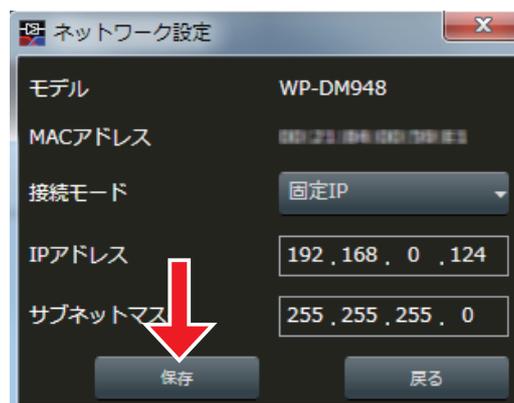
2 編集対象の本体を選択し、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。

ネットワーク設定画面が表示されます。



3 本ソフトウェアと同一ネットワーク上に存在するように、接続モードを固定IPに設定し、IPアドレスを変更します。

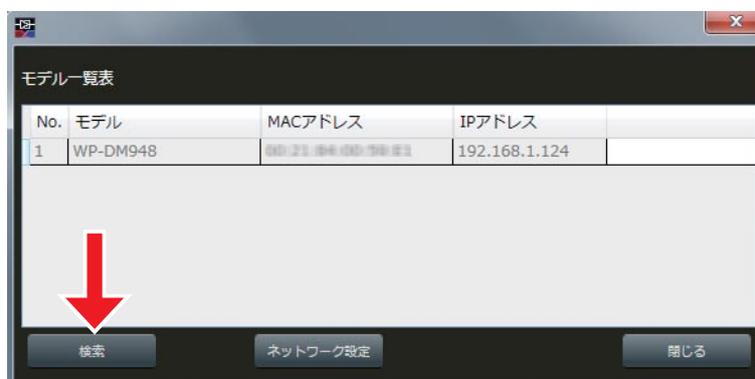
4 設定変更後、[保存] ボタンをクリックします。



共通操作

5 モデル一覧表画面上的の「検索」ボタンをクリックします。

IPアドレスを変更した本体が表示されます。



6 モデル一覧表画面上的の「閉じる」ボタンをクリックします。



リモートエンティティ画面に編集対象の本体が表示されます。



基本画面

画面構成

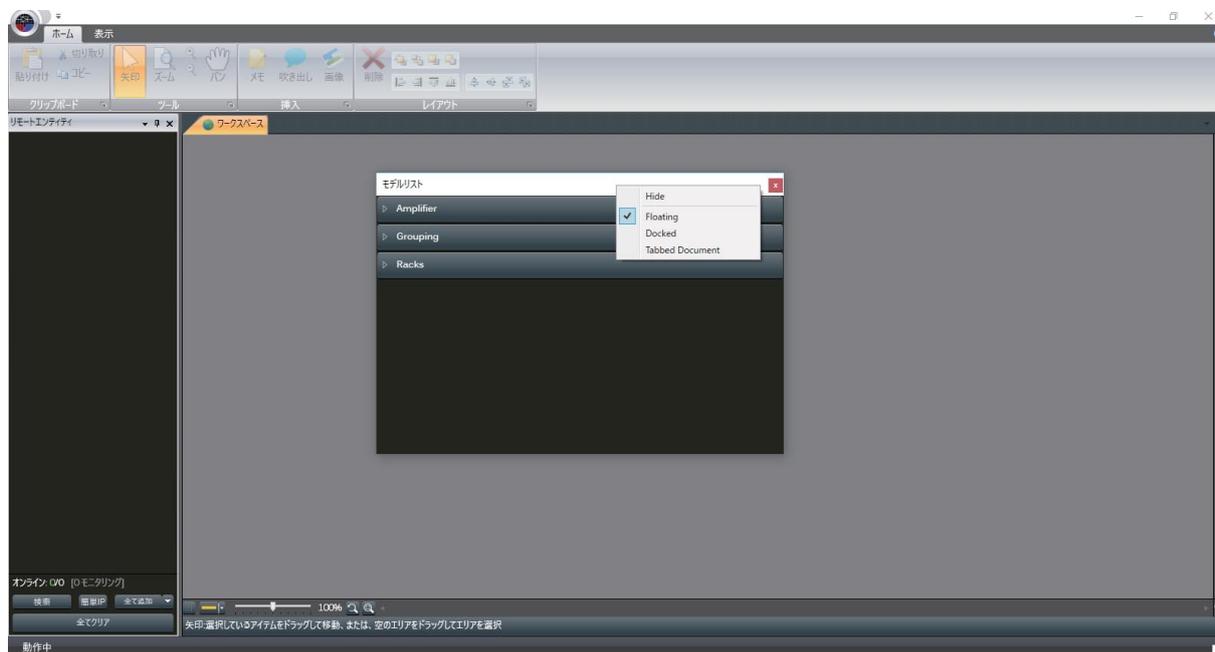
本ソフトウェアでは、機能ごとに複数の画面に分かれています。
各画面は、表示タブ（28ページ）の制御ボタンのクリックにより表示／非表示が切り替わります。

以下の画面があります。

- リモートエンティティ（30ページ）
- モデルリスト（31ページ）
- ワークスペース（32ページ）
- ファームウェア更新（79ページ）
- イベント（80ページ）
- イベントコンソール（80ページ）
- グループオーバービュー（81ページ）
- プリセットマネージャー（83ページ）
- システム情報（85ページ）
- システムリスト（87ページ）

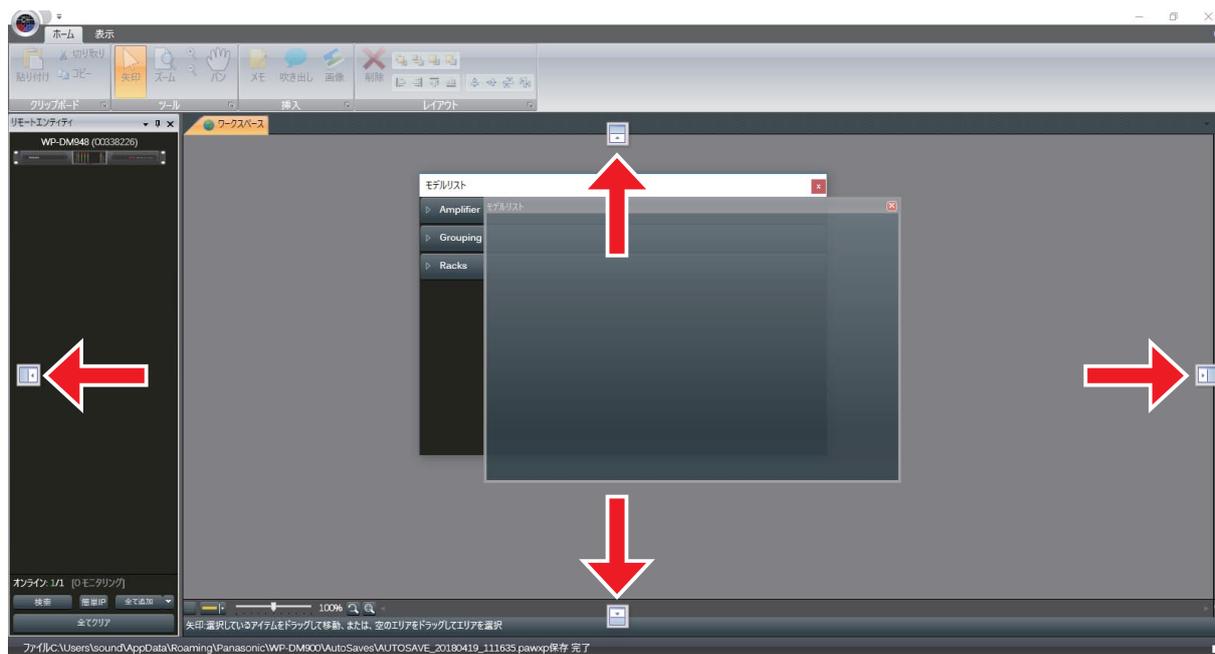
■ 画面表示管理

各画面のタイトルバーを右クリックし、以下の4種類の表示モードに変更することができます。



非表示	非表示状態になります。
フローティング	フローティングモードでは、ドラッグすることにより本ソフトウェア上の任意の場所に移動できます。画面は常に最上位の位置に表示され、画面サイズを変更することもできます。
ドッキング	ドッキングモードでは、画面が本ソフトウェアの左側／右側／上側／下側に固定表示されます。画面サイズを変更することはできません。 画面のタイトル部分を左クリックで掴んでドラッグ&ドロップ操作を行い、画面の上下左右に表示されるアイコンにマウスカーソルを合わせると、各側の固定表示にすることができます。タイトルバー右側のピンマークをクリックすることにより、自動非表示モードに変更することができます。自動非表示モードでは、カーソルを画面外に移動させると自動的に非表示状態になり、画面左端にタブ状態で表示されます。画面左端のタブ上にカーソルを移動させると再度表示状態となります。
タブ	タブモードでは、1つの画面にタブとして組み込まれ、該当のタブをクリックすることにより表示させることができます。

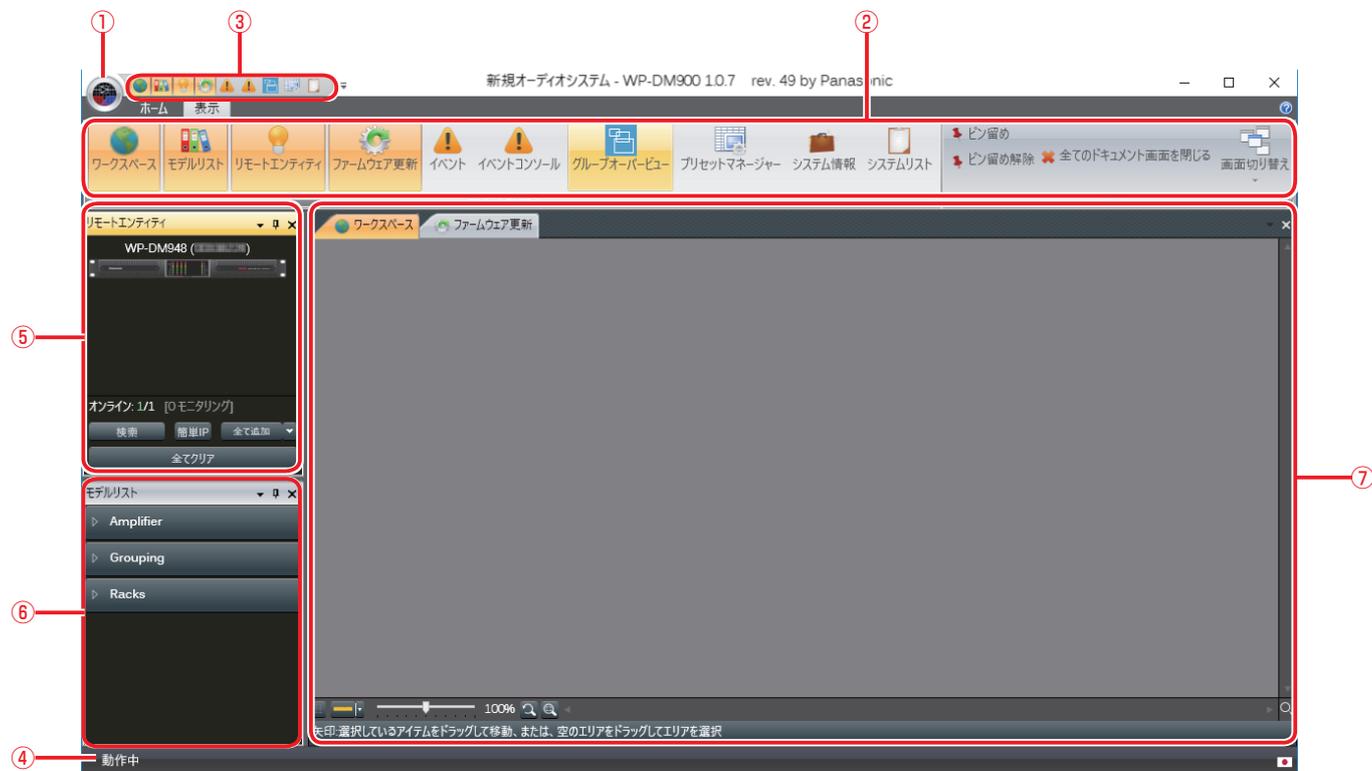
基本画面



- 画面のドラッグ&ドロップ操作において、本ソフトウェアの画面外に移動してしまいタイトル部分を掴めない状態になった場合、操作している画面の [リボン] - [表示タブ] 上のアイコン (28ページ) を2回クリックすることにより、画面左上に対象画面を再表示することができます。

画面共通

本ソフトウェアには、アンプの入出力設定やDSPのフィルター設定などの、幅広い制御機能、管理機能があります。
[ワークスペース] 画面は、編集、管理機能のための主要な画面となります。



番号	名称	内容	参照ページ
①	[メニュー] ボタン	設定ファイルの操作、印刷、オプション設定などを行います。	21
②	リボン	ワークスペースの操作設定、設定画面の表示設定などを行います。	27
③	クイックアクセスツールバー	設定画面の表示切り替えを行います。	29
④	ステータスバー	本ソフトウェアの現在の動作状態を表示します。	—
⑤	リモートエンティティ	ネットワークに接続されている本体の検索、ワークスペースへの表示を行います。	30
⑥	モデルリスト	ワークスペースで使用するユニットの一覧を表示します。	31
⑦	ワークスペース	本体の設定操作、管理を行います。	32

メニューボタン

[メニュー] ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



番号	名称	内容
①	ファイルメニュー	Windows の標準的コマンドである、「新規」、「開く」、「保存」、「名前を付けて保存」、「印刷」を実行します。ここで操作するファイルはワークスペース設定ファイル (PAWXP) です。ワークスペース設定ファイルについては「プリセット」(37ページ)をお読みください。 「印刷」では、ワークスペース画面とシステム詳細画面を印刷することが可能です。
②	ライセンス	本ソフトウェアで使用している外部のソフトウェアライセンスについて説明を表示します。
③	最近使用したファイル	最近使用した設定ファイル (PAWXP) の一覧を表示します。
④	オプション	クリックするとオプション設定画面 (22ページ) を表示します。
⑤	終了	本ソフトウェアを終了します。

基本画面

■ オプション設定

オプション設定画面では、6種類のオプション設定を行うことができます。
変更した設定を有効にするには、[適用] ボタンをクリックします。
[OK] ボタンをクリックすると、オプション設定画面を閉じることができます。

◆ 一般

一般タブでは、以下の設定を行うことができます。



- 継続的なログが必要な場合は、PCの省電力オプションを設定して、スリープ状態にならないようにしてください。



番号	名称	内容
①	ログ	ログフォルダーとログファイルの表示、および、ログに残すメッセージを選択するフィルターを設定します。
②	自動保存	自動保存フォルダーの表示、および、自動保存間隔と自動保存ファイル数上限値を設定します。
③	言語	本ソフトウェアの言語を、「日本語」、「英語」、および「中国語」から選択します。言語設定を変更後は、本ソフトウェアの再起動が必要です。
④	測定システム	各EQのデレイ設定時に使用する単位を、「メートル」、「フィート」から選択します。

基本画面

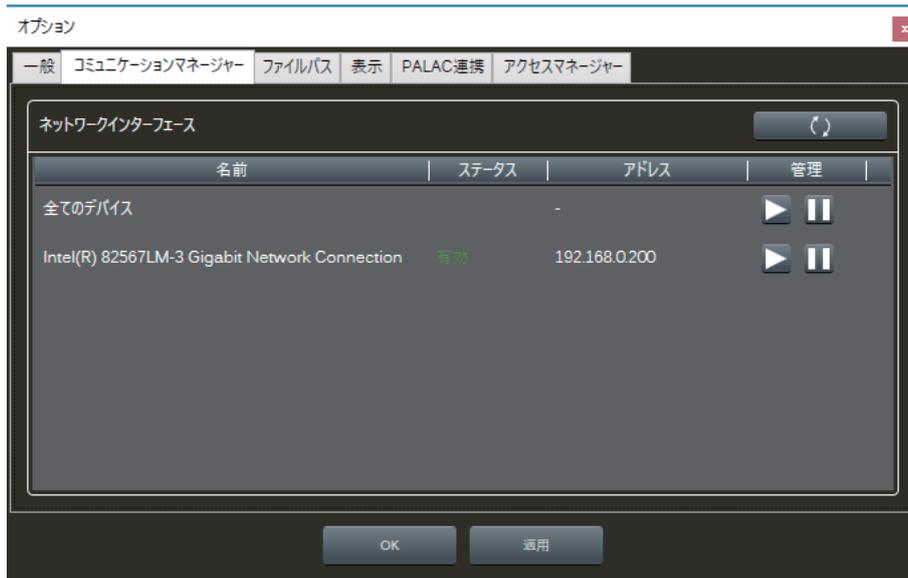
◆ コミュニケーションマネージャー

コミュニケーションマネージャータブでは、ネットワークインターフェースの設定を行います。初期状態では、すべてのネットワークインターフェースは有効になっています。

使用しないインターフェースは、[] ボタンをクリックし無効に変更できます。無効に変更されると該当の状態表示欄が「無効」に切り換わります。

無効になっているインターフェースを有効にするには、[] ボタンをクリックします。有効に変更されると該当の状態表示欄が「有効」に切り換わります。

新規のインターフェースが追加された場合などにインターフェース一覧表示を更新する場合は、 をクリックします。



◆ ファイルパス

ファイルパスタブでは、スピーカープリセットファイルの保存先の設定をすることができます。

[サブフォルダー] をチェックすると、設定したフォルダーの全サブフォルダーのスピーカープリセットファイルを検索します。スピーカープリセットファイルについては「スピーカー設定画面」(69ページ)をお読みください。



基本画面

◆ 表示

本ソフトウェアでは、任意の画像をワークスペース上に表示させることができます。表示できる画像のフォーマットは、BMP (*.bmp)、JPEG (*.jpg)、GIF (*.gif)、および、PNG (*.png) ファイルです。

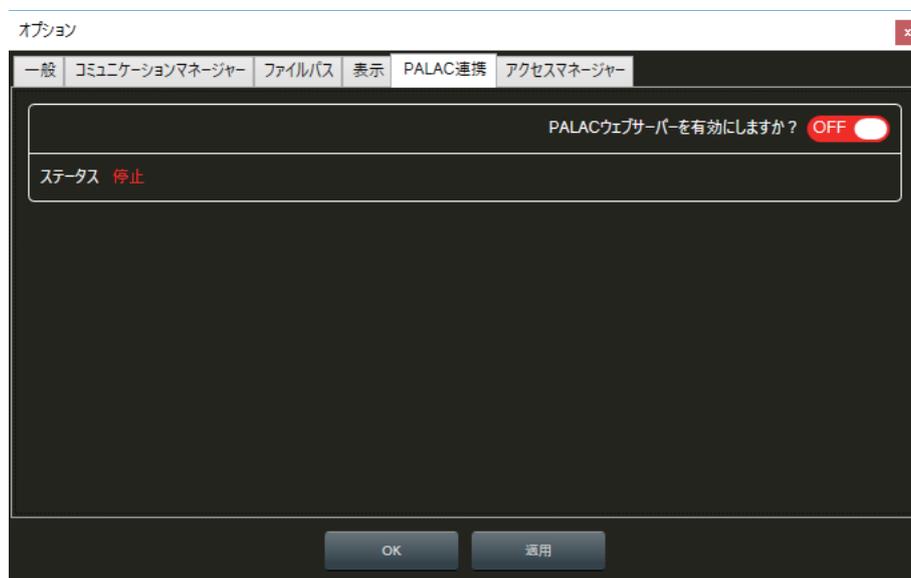


番号	名称	内容
①	パス	[...] ボタンをクリックし、表示させる画像ファイルを選択します。選択するとプレビューに画像が表示されます。
②		[^] ボタンをクリックすると、選択した画像ファイルをWindowsフォトビューワなどで表示させることができます。
③	透過性	表示する画像の透過性を設定することができます。
④	表示	[表示] をチェック後、[適用] ボタンをクリックするとワークスペース上に設定した画像が表示されます。
⑤	初期値に戻す	[初期値に戻す] ボタンをクリックし [OK] ボタンをクリックすると、ワークスペース上の表示が初期状態に戻ります。

基本画面

◆ PALAC連携

PALAC連携タブでは、PALAC連携機能の有効／無効を設定します。また、PALAC連携機能の起動中、停止中の状態が表示されます。PALACに関しては、PALACの取扱説明書を参照してください。



基本画面

◆ アクセスマネージャー

アクセスマネージャータブでは、ユーザーの本ソフトウェアへのアクセス制限を設定します。

初期設定時には、システム管理者 (admin)、ゲスト (guest)、エンジニア (engineer) の3種類のアカウントが設定されています。

各アカウントにおいて、パスワードを設定し、[アクセスコントロール有効] をチェックすることにより、アクセス制限を有効にすることができます。有効に変更後、次回の本ソフトウェアの起動時からユーザー名とパスワードの入力を要求されます。

[] ボタンをクリックし、該当アカウントのユーザー名、パスワード、権限を設定変更することができます。

[] ボタンをクリックすると、該当アカウントを削除することができます。新規にアカウントを追加する場合は、[追加] ボタンをクリックします。



システム管理者とゲスト、エンジニア間には以下のようなアクセス制限の違いがあります。詳細は「アクセス制限について」(91ページ)をお読みください。

● システム管理者

システム管理者は、設定機能、管理機能などすべての操作を制限なく実行することができます。システム管理者設定が無効の場合、アクセスした全ユーザーにシステム管理者権限が与えられます。

● ゲスト、エンジニア

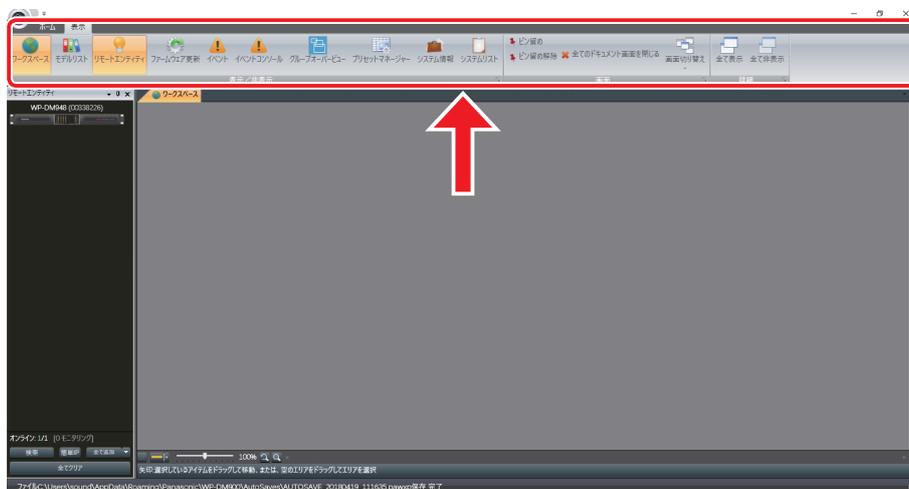
ゲストとエンジニアは、設定情報やイベント情報を閲覧することは可能ですが、設定変更操作に関しては一部の変更操作のみ実行できます。



- セキュリティを確保するため、ユーザー名やパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- ユーザー名やパスワードが第三者に漏れいした場合、不正にアクセスされる場合があります。ユーザー名やパスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。
- 数字、記号、大文字、小文字を組み合わせると第三者に推測されにくくなります。

リボン

リボンコマンドバーは画面の上部にあり、各タブ毎にコマンドボタンが配置されています。



リボンコマンドバーには、ホームタブと表示タブの2つのタブがあります。

リボンコマンドバーは最小化することができ、最小化した場合、ホームと表示のタブのみが表示されます。

最小化するには、リボンコマンドバー、またはクイックアクセスツールバー(29ページ)を右クリックし、[リボンを最小化]をチェックします。



基本画面

■ ホームタブ

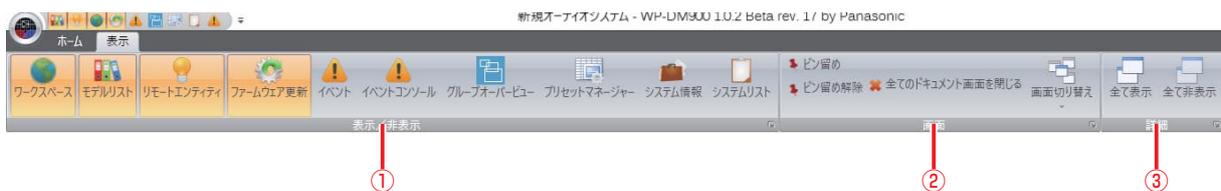
ホームタブには、ワークスペース内のドキュメント内容を制御するコマンドボタンが配置されています。ホームタブには、以下の4グループがあります。



番号	名称	内容
①	クリップボード	メモ、吹き出し、エンティティのタイトル等のテキストのコピー、切り取り、貼り付け操作を行うことができます。
②	ツール	ワークスペース上の図形表示を制御する、図形選択、ズーム、パンの機能を提供します。ズーム機能を使用時は、ワークスペース上で左クリック（ワークスペース拡大）、右クリック（ワークスペース縮小）の操作が可能です。
③	挿入	ワークスペース上に、メモ、吹き出し、画像を挿入することができます。詳細は「メモと吹き出し」(48ページ)をお読みください。
④	レイアウト	ワークスペース上の図形の削除や配置設定を行うことができます。詳細は「ワークスペース」(32ページ)をお読みください。

■ 表示タブ

表示タブには、画面と表示に関するコマンドボタンが配置されています。表示タブの内容は、ログイン時のユーザータイプによって変化します。以下の画面は、システム管理者としてログインした場合の表示内容です。



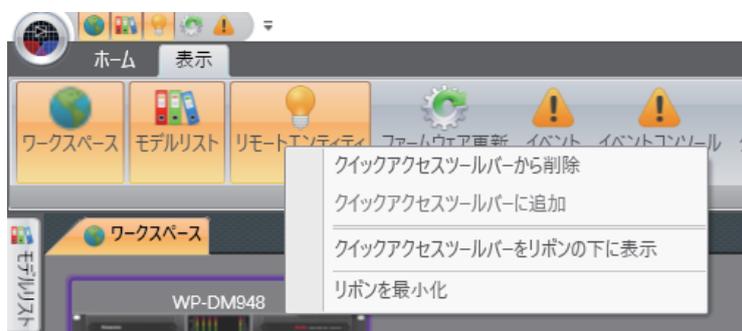
番号	名称	内容
①	表示/非表示	各画面の、表示/非表示を設定することができます。対象のコマンドボタンをクリックすることにより、表示/非表示を切り替えることができます。表示状態になるとコマンドボタンの背景は橙色に変わります。
②	画面	[ピン留め]、[ピン留め解除]では、ドッキングモード可能な画面（モデルリスト、リモートエンティティ、イベントコンソール）の表示/非表示を切り替えることができます。 [全てのドキュメント画面を閉じる]では、表示状態の全てのタブモード画面を非表示状態にすることができます。
③	詳細	ワークスペース上にある全アンプのシステム詳細画面の表示/非表示を切り替えます。[すべてを表示]をクリックするとすべてのシステム詳細画面を表示し、[すべてを非表示]をクリックするとすべてのシステム詳細画面を閉じます。

クイックアクセスツールバー

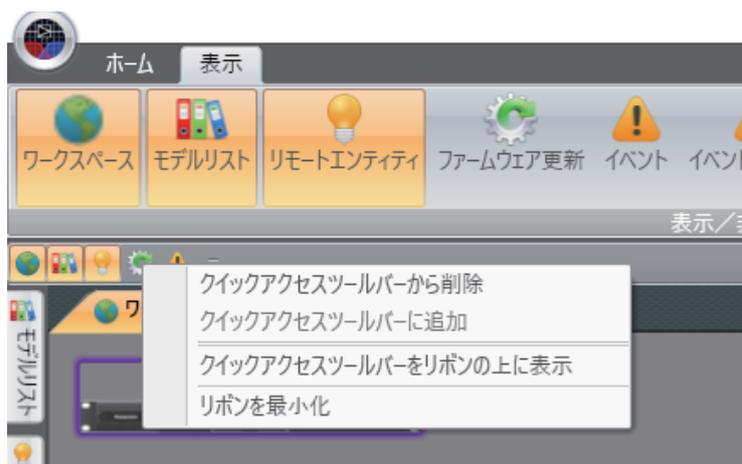
クイックアクセスツールバーは、画面左上に配置された、小さく、ユーザーがカスタマイズできるツールバーです。ツールバーに配置された各画面に対応するアイコンをクリックすることにより、対応画面の表示、非表示を切り換えることができます。



表示タブ上の該当画面のアイコンを右クリックし、[クイックアクセスツールバーに追加] をチェックすることにより、クイックアクセスツールバーに該当画面のアイコンを設定することができます。また、[クイックアクセスツールバーから削除] をチェックすることにより、クイックアクセスツールバーからアイコンを削除することができます。



リボンコマンドバー、またはクイックアクセスツールバーを右クリックし、[クイックアクセスツールバーをリボンの下に表示] をチェックするとリボンの下にクイックアクセスツールバーを表示することができます。また逆に、[クイックアクセスツールバーをリボンの上に表示] をチェックしリボンの上に表示することもできます。



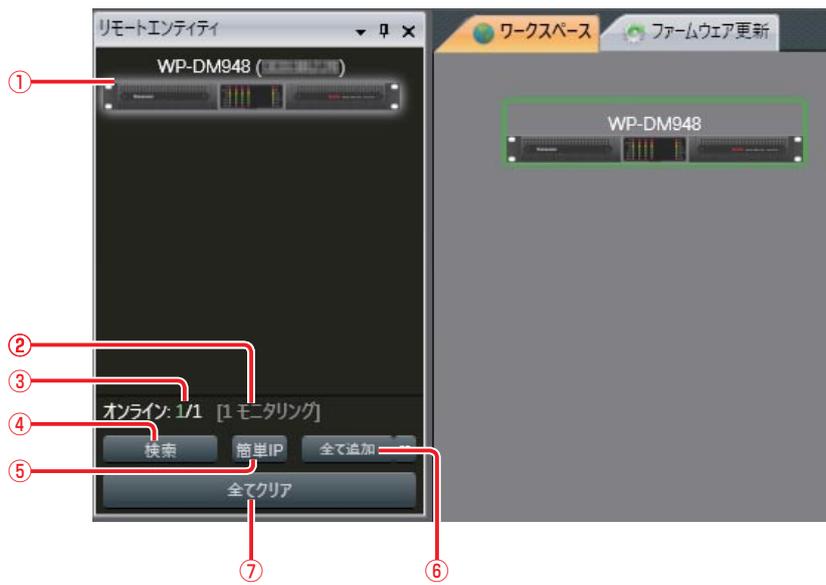
リモートエンティティ

リモートエンティティ画面では、ネットワークに接続されているユニットを検索、表示し、ワークスペース上の設定に追加することができます。

初期状態ではリモートエンティティ上には何も表示されておらず、[検索] ボタンをクリックすることによりネットワーク上のユニットを検索します。

検索では、コミュニケーションマネージャー設定において有効になっているすべてのインターフェースに対してブロードキャストメッセージを送信し、ネットワーク上のユニットからの応答を受信します。

PCに複数のネットワークインターフェースが存在し、ユニットが接続されていないインターフェースがある場合には、コミュニケーションマネージャーで該当インターフェースを無効に設定することをお勧めします。



番号	内容	
①	検索されたリモートエンティティのリスト	
②	ワークスペース上に追加されたエンティティ数 (モニタリング)	
③	オンライン状態のエンティティ数 / 検索された全エンティティ数	
④	[検索] ボタン	ネットワーク上のユニットを検索します。
⑤	[簡単IP] ボタン	簡単IP設定を開始します。「簡単IP設定」(15ページ)をお読みください。
⑥	[全て追加] ボタン	検索された全エンティティをワークスペース上に追加します。 [全て追加] ボタン右側の [✓] ボタンをクリックし、リスト内のエンティティのモデル名、シリアル番号、IPアドレスでの並び替えが可能です。
⑦	[全てクリア] ボタン	リモートエンティティ画面に表示された全エンティティを削除します。

設定を開始するには、リモートエンティティリスト内のユニットのアイコンをダブルクリックするかワークスペース上にドラッグ&ドロップします。

モデルリスト

モデルリストは、ワークスペース上で設定に使用するユニットのリストです。
モデルリスト内のユニットは以下の3グループに分類されています。

- Amplifier
- Grouping
- Racks

設定を開始するには、モデルリスト内のユニットのアイコンをダブルクリックするかワークスペース上にドラッグ&ドロップします。

モデルリスト内の各ユニットはワークスペース上に仮想エンティティとして配置することができます。モデルリストからの操作手順については、「オフライン編集のしかた」(13ページ)をお読みください。

[Amplifier] グループには、WP-DM900シリーズの本体が含まれています。

ワークスペース

ワークスペースは設定を設計、管理する、本ソフトウェアの主要画面です。

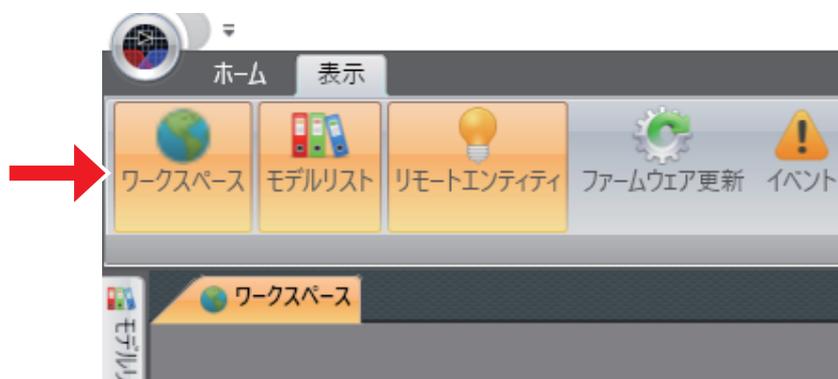
ワークスペース上では、信号の有無、ミュート、ゲインリダクション、クリッピングなどのエンティティの状態を、容易に確認、管理することができます。また、アンプの状態、現在のプリセット、アラーム、ネットワーク情報なども確認することができます。



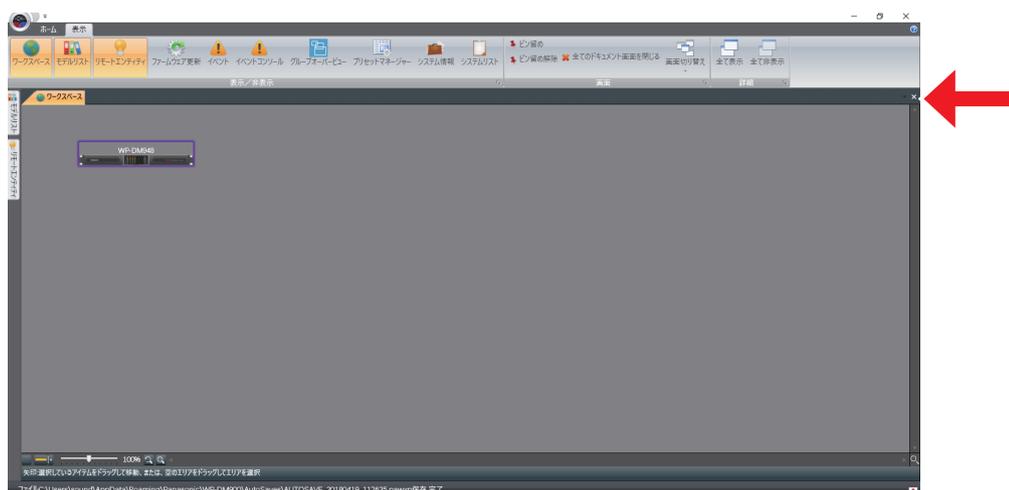
番号	内容	参照ページ
①	ワークスペースに配置されたすべてのアンプは、その状態により色付けされ枠線で強調されます。	39
②	ユニットの背景の色でアラームの状態を表示します。	39

■ ワークスペース画面の表示・非表示

表示タブのワークスペース画面制御ボタンをクリックすることにより、ワークスペース画面の表示／非表示を切り替えることができます。



ワークスペース画面右上の [x] ボタン（閉じる）をクリックすることにより、ワークスペース画面を閉じることができます。



■ ワークスペースステータスバー

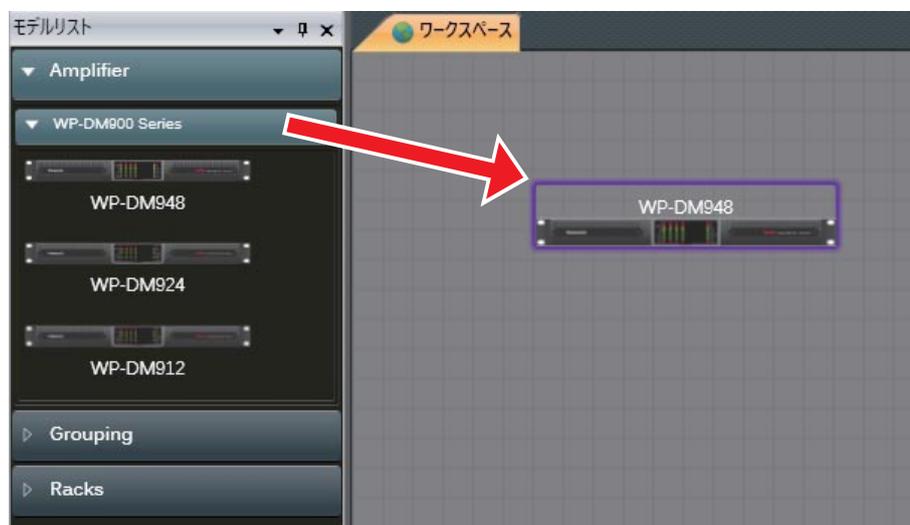
ワークスペースの下方にあるステータスバーには以下の機能があります。



番号	名称	内容
①	グリッド	ワークスペースのグリッドの表示／非表示切り替え
②	ルーラー	ワークスペースの水平・垂直のルーラー表示／非表示切り替え
③	ズーム	ワークスペースのズーム率設定、ズーム率リセット、選択したエレメントに合わせてズーム率調整
④	説明バー	[リボン] - [ホーム] タブの [ツール] (28ページ)で選択しているツールの説明を表示

■ ワークスペース上での作業

設定を開始するには、モデルリスト、またはリモートエンティティから、設定対象ユニットのアイコンをダブルクリックするかドラッグ&ドロップし、ワークスペース上に配置します。



ワークスペース上のユニットはクリックすることにより選択ができます。
ユニットのアイコンは、クリックし枠線にカーソルを当てることにより、サイズを変更することができます。

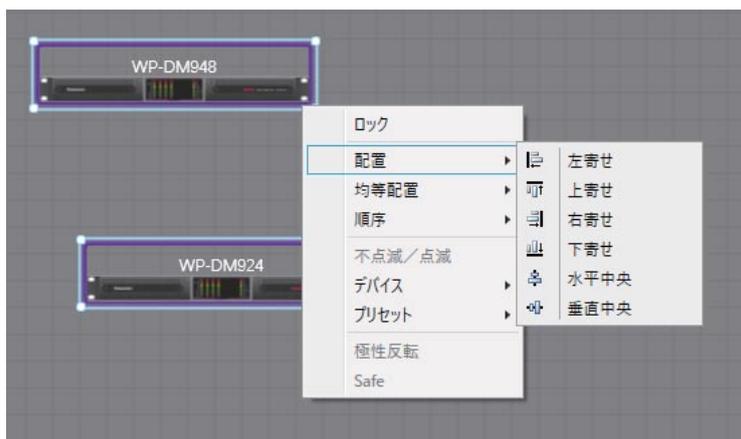


■ レイアウトツール

ワークスペース上のエンティティの位置、レイアウトを、配置、均等配置、順序のツールを使用して調整をすることができます。これらのツールは、ホームタブ内のレイアウト（28ページ）、もしくはワークスペース上のエンティティを右クリックして使用することができます。

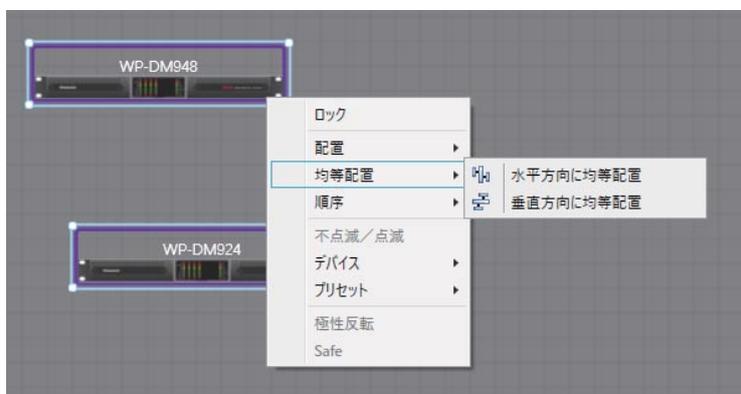
● 配置

シフトキーを押しながら選択した複数のエンティティの端を揃えます。エンティティを水平や垂直方向の中央に揃えたりすることもできます。



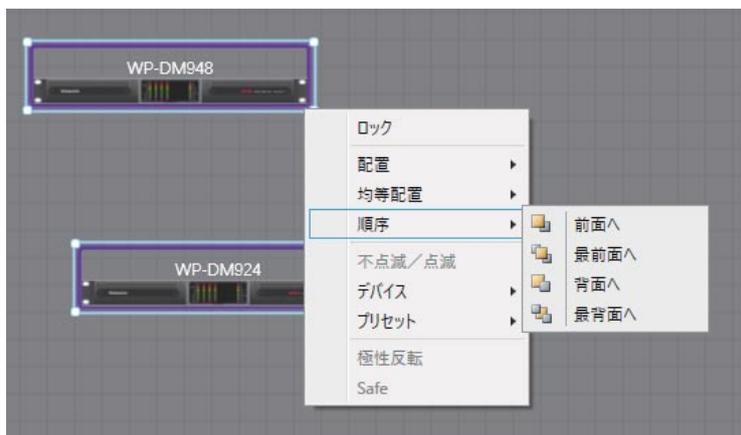
● 均等配置

シフトキーを押しながら選択した複数のエンティティを、水平方向、または垂直方向に均等間隔に並ぶように移動します。



● 順序

選択したエンティティを、最前面・前面、または最背面・背面に移動します。



設定画面

プリセット

本ソフトウェアでは、全システムの設定データや1個のエンティティの設定データを、エクスポート、インポートすることができます。

複数の種類の設定ファイルがあり、対応する拡張子とアイコンで識別することができます。

-  PAWXP ワークスペースファイル
-  PAM エンティティプリセットファイル
-  IQP/POQP/OQP 入カイコライザープリセット／プリ出カイコライザープリセット／出カイコライザープリセットファイル
-  RACK ラックプリセットファイル
-  PLIST プリセットリストファイル

◆ ワークスペースファイル (PAWXP)

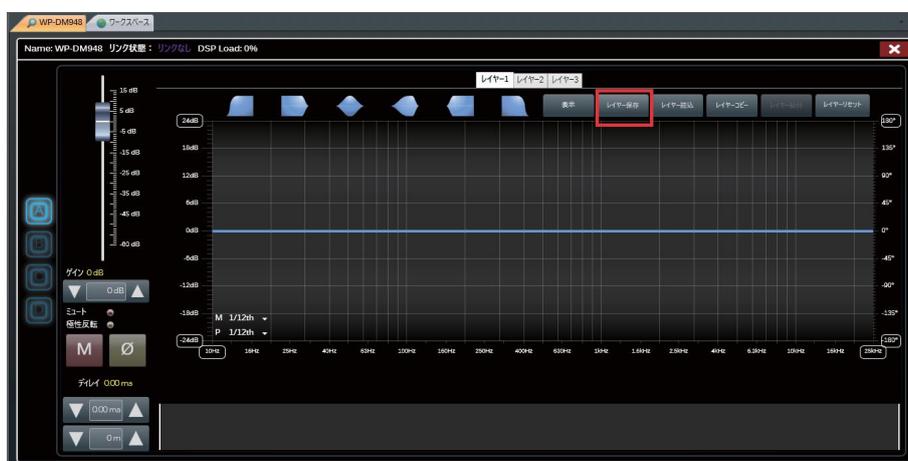
ワークスペースファイル (PAWXP) はワークスペース上の全設定データを保存したファイルです。PAWXPファイルを保存するには、[メニュー] ボタンをクリック後、ファイルメニュー中の [保存]、または [名前を付けて保存] を選択します。PAWXPファイルを開くには、ファイルメニュー中の [開く] を選択します。[最近使用したファイル] からファイルを選択し、PAWXPファイルを開くことができます。

◆ エンティティプリセットファイル (PAM)

アンプの設定データは、エンティティプリセットファイル (PAM) として保存されます。ワークスペース上のアンプのアイコンを右クリックし、[プリセット] - [エクスポート] を選択すると、PAMファイルに保存することができます。[プリセット] - [インポート] を選択すると、PAMファイルを読み込むことができます。大きい音が出力される可能性がありますので、ご注意ください。

◆ 入カイコライザー／プリ出カイコライザー／出カイコライザープリセットファイル (IQP/POQP/OQP)

入カイコライザー、プリ出カイコライザー、出カイコライザープリセットは、個別のファイルとして保存されます。各イコライザー画面で [レイヤー保存] / [保存] ボタンをクリックすることにより、各ファイルに保存することができます。



入カイコライザー画面



スピーカーイコライザー画面



出力設定画面

◆ ラックプリセットファイル (RACK)

ラックプリセットファイル (RACK) は、ラック内のアンプのタイプと格納順序、および各アンプの設定データで構成されています。

ワークスペース上のラックのアイコンを右クリックし、[プリセット] - [エクスポート] を選択すると、RACKファイルに保存することができます。ワークスペース上のラックのアイコンを右クリックし、[プリセット] - [インポート] を選択すると、RACKファイルを読み込むことができます。

◆ プリセットリストファイル (PLIST)

プリセットリストファイル (PLIST) は、本体内部メモリに保存されているすべてのプリセットデータから構成されています。プリセットマネージャーを使用すると、PCに保存されたPLISTファイルのエクスポートや、ネットワーク接続された本体への、プリセットデータの保存などを行うことができます。プリセットマネージャーについては「プリセットマネージャー」(83ページ)をお読みください。

色分け定義

■ チャンネルの色分け

アンプの出力チャンネルのグラフなどは色分けされ表示します。
各チャンネルに割り当てられる色は以下のとおりです。

チャンネル番号	色
1	青
2	赤
3	黄緑
4	黄

イコライザー波形も上記のチャンネルに割り当てられる色にしたがって色分け表示されます。

■ アンプ状態の色分け

ワークスペース上のアンプの枠線は、アンプの状態にしたがって色分け表示します。

色	意味	説明
紫	仮想ユニット	実体のない仮想状態
緑	オンライン	正常接続しているオンライン状態
赤	オフライン	正常接続できていないオフライン状態
黄	呼び出し中	接続確認中（本体前面パネルLEDを約10秒間点滅させる）
赤／白	ビジー	接続中だが本体間通信が一時的に使用できない状態

■ アラームの色分け

アラームが発生した場合、アンプの背景色が以下のように変化します。

色	意味
色なし（透過）	通常状態（アラームなし）
赤	警告アラーム（アラームの条件はアラーム出力一覧（96ページ）をお読みください。）
青	アンプスタンバイ状態

基本設定

設定は、ワークスペース内で管理、表現されているユニット群（エンティティ）とパラメーターから成ります。

設定は以下の内容で構成されています。

- エンティティ
- メモと吹き出し

本ソフトウェアを使用して、設定データの保存、エンティティのパラメーター呼び出し、ユニットの追加・削除などを行うことができます。

設定は、オンライン、オフラインの両方で実行することができ、動作中においてもエンティティすべての設定パラメーターの制御が可能です。

■ オンライン編集とオフライン編集

定義については「オンライン編集とオフライン編集について」（11ページ）を参照ください。

本ソフトウェアと接続されていないエンティティの設定データをオフライン状態で編集、管理することができます。

オフライン状態のエンティティは赤枠で表示されます。



仮想エンティティは特別なオフライン状態のユニットで、実体のないユニットをワークスペース上に配置し設定の管理をすることができます。仮想状態のエンティティは紫枠で表示されます。



オフライン編集では、本ソフトウェアが本体に接続されていない状態でユニットをダブルクリックすることで設定データの編集ができ、編集したデータは同期機能を使用してリモートエンティティにアップロードすることが可能です。

オンライン編集では、本ソフトウェアと本体がネットワーク経由で接続された状態で、リアルタイムで設定データの編集、管理ができます。

オフライン編集からオンライン編集に戻るには、PCと本体をネットワーク接続させてください。

設定画面

■ 同期

リモートエンティティとワークスペース上の仮想エンティティ間で設定パラメーターの差異が生じている場合、

- 仮想エンティティからリモートエンティティへの設定パラメーターの送信
- リモートエンティティから仮想エンティティへの設定パラメーターの読み込み

のいずれかを選択することができます。



同期機能ダイアログ画面

本体との再接続時、本ソフトウェアで、リモートエンティティとワークスペース上の仮想エンティティ間で設定パラメーターの差異を検知すると、同期機能ダイアログが表示されます。本ダイアログで、設定パラメーターの同期の方向（送信、または読み込み）を選択することができます。

■ エンティティ

エンティティは、設定パラメーターを制御できる制御パネルを有したユニットです。

エンティティは、モデルリスト内、もしくはリモートエンティティ画面内で確認することができ、ワークスペース上に配置することが可能です。

エンティティには、アンブ、ラックがあります。

エンティティには、ラックのように仮想のエンティティと、アンブのように実体のあるリモート制御可能なエンティティがあり、それらをワークスペース上で接続することができます。

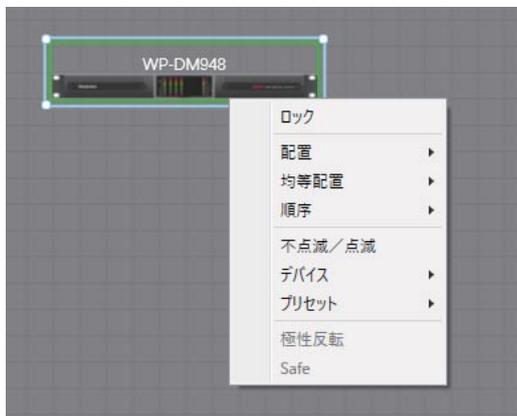
リモートエンティティは、ユニットと接続していない状態でオフライン編集することにより設定データの管理が可能です。また、リモートエンティティに表示されたユニットをドラッグ&ドロップでワークスペース上に移動させることにより、オンライン編集状態に移行することができます。

設定画面

■ アンプ

ワークスペース上の本体アイコンをダブルクリックすると、システム詳細画面が表示されます。システム詳細画面の詳細については「アンプ設定」(49ページ)をお読みください。

ワークスペース上の本体アイコンの枠線部分を右クリックすると操作メニューを表示することができます。



● ロック

ロックを選択してチェックすると、枠線左上にロック状態が表示されます。ロック状態になると、アンプをワークスペース上で移動することができなくなります。



● 表示オプション

ワークスペース上のアンプの位置を、配置、均等配置、順序のツールを使用して調整することができます。操作の詳細については、「レイアウトツール」(36ページ)をお読みください。

● 不点減/点減

本ソフトウェアと本体間の接続を確認するために、本体前面パネルの全LEDを約10秒間点滅させます。

● デバイス

各項目で次の操作を行うことができます。

項目	操作内容
リセット	全設定パラメーターの初期化を実行します。
コピー/貼り付け	設定パラメーターのコピー、貼り付けができます。1つのアンプの設定を複数のアンプに一括設定する場合は”全て「はい」”を選択します。
ミュート/ミュート解除	各出力チャンネルのミュート、ミュート解除を実行します。

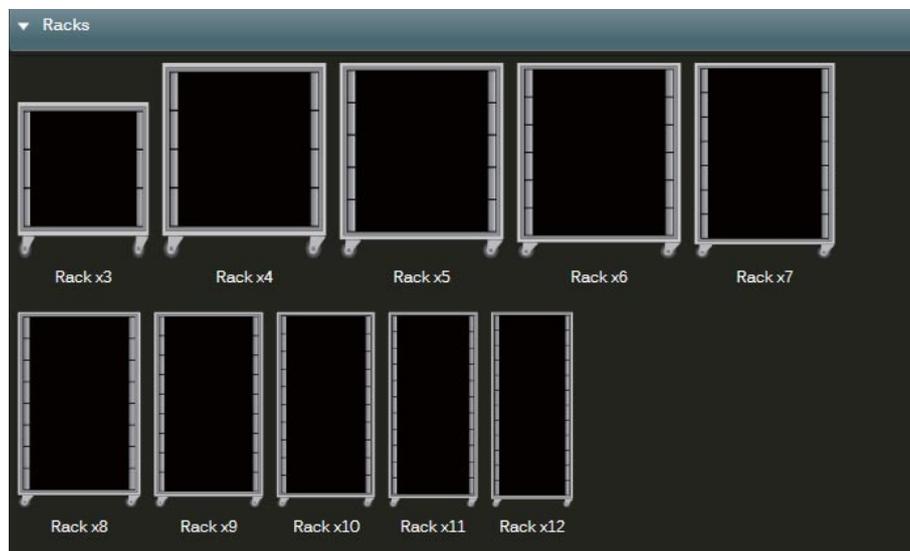
● プリセット

各項目で次の操作を行うことができます。

項目	操作内容
エクスポート/インポート	設定パラメーターのエクスポート、インポートを実行します。インポートでは、アンプの全設定パラメーターを「.pam」拡張子のファイルに保存することができます。
保存/呼び戻し	設定パラメーターを本体内部メモリにプリセットとして保存、および本体内部メモリからプリセットの読み込みを行います。「▼」「▲」でインデックスを選択でき、「適用」で実行されます。

■ ラック

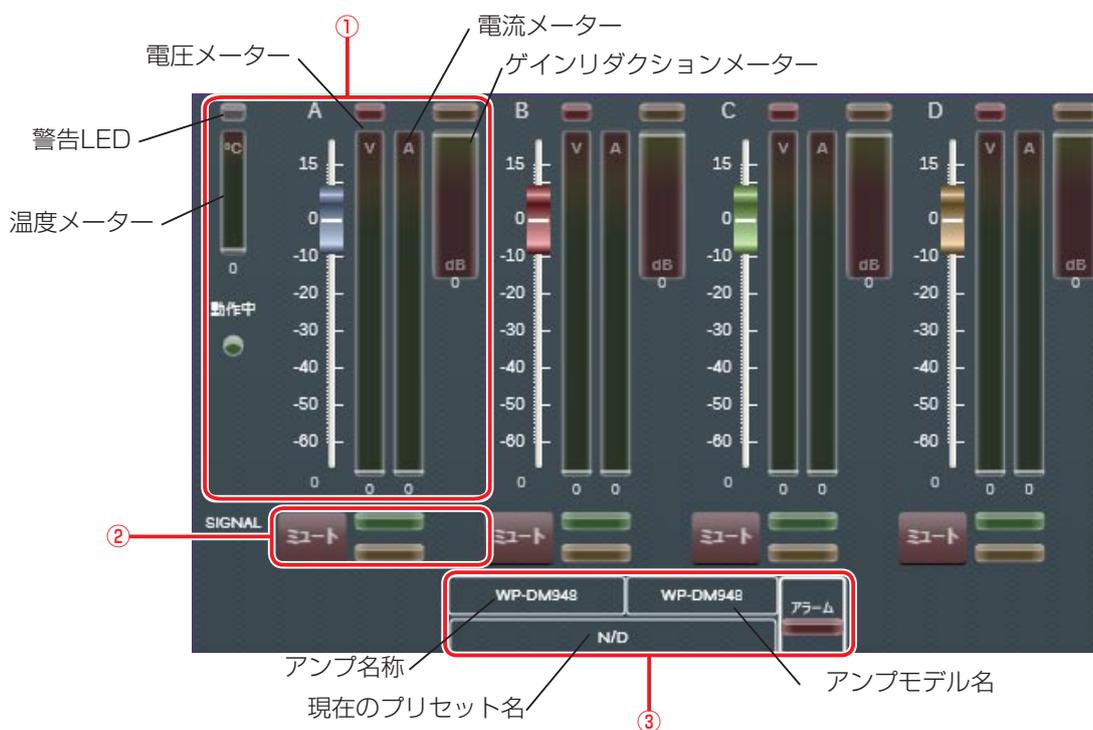
ラックは、決められた数のエンティティを格納できる仮想エンティティです。
ラックでは、ラック内に設置したエンティティの制御パラメーターを集約した制御パネルを使用することができます。



モデルリストのRacks画面

ラックはモデルリスト画面からドラッグ&ドロップでワークスペース内に配置することができます。
ワークスペース上のエンティティをドラッグ&ドロップでラック内に格納します。
ラック内に格納されたエンティティをクリックして選択すると右側に黄色の矢印が表示されます。この矢印をクリックするとラックからエンティティを取り外すことができます。

ラックの枠線をダブルクリックすると、ラック制御パネルが表示されます。ラックの上部に格納されたアンプの詳細画面がパネルの左側に表示されます。



設定画面

ラック制御パネルにはアンプごとに以下のようなパラメーター、表示があります。

番号	名称	内容
①	アンプ操作パラメーター	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力レベルフェーダー：入力レベルの調整 ● 電圧メーター（現在値表示）とクリッピングLED：出力電圧が最大電圧に達した場合、点灯（赤色）[単位：V] ● 電流メーター（現在値表示）とGR LED：ゲインリダクションが0 dBを超えた場合、点灯（橙色）[単位：A] ● ゲインリダクションメーター：現在値表示 ● 温度メーターと警告LED ● 動作中：動作状態を示すLED
②	ミュートとグループ設定	<ul style="list-style-type: none"> ● [ミュート] ボタン：ボタンクリックでON/OFF切り替え。ミュートON状態で点灯（赤色） ● SIGNAL LED：入力信号あり（閾値レベル-58 dBu以上）／なしを示すLED ● グループ設定：対象チャンネルがグループに設定されている場合、点灯（橙色）
③	名前、モデル、およびプリセット	<ul style="list-style-type: none"> ● アンプ名称 ● アンプモデル名 ● 現在のプリセット名 ● アラーム：アラームが発生したとき、点灯（赤色）（アラームの条件はアラーム出力一覧（96ページ）をお読みください。）

ワークスペース上のラック制御パネルの枠線部分を右クリックすると操作メニューを表示することができます。



● ロック

ロックを選択してチェックすると、枠線左上にロック状態が表示されます。ロック状態になると、ラックをワークスペース上で移動することができなくなります。

● 表示オプション

ワークスペース上のラックの位置を、配置、均等配置、順序のツールを使用して調整することができます。操作の詳細については、「レイアウトツール」（36ページ）をお読みください。

● デバイス

各項目で次の操作を行うことができます。

項目	操作内容
リセット	ラックに格納されたアンプの全設定パラメーターの初期化を実行します。
コピー／貼り付け	ラックの設定パラメーターのコピー、貼り付けができます。コピーした設定パラメーターは同じアンプが格納されているラックにのみ貼り付けることができます。

● プリセット

ラックとラックに格納されたアンプの設定パラメーターのエクスポート、インポートを実行します。ラックとラックに格納されたアンプの全設定パラメーターを、「rack」拡張子のファイルに保存することができます。エクスポートされたファイルは、同数の同一アンプで構成されたラックへのみインポートすることができます。

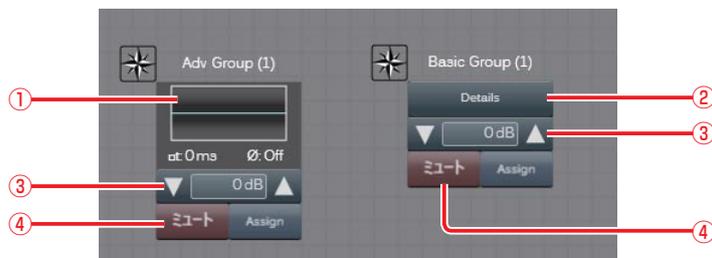
■ グループ

グループを使用すると、複数エンティティの複数チャンネルの設定、管理を同時に行うことができます。グループを使用するには、モデルリスト内にあるグループのアイコンをダブルクリックするかドラッグ&ドロップし、ワークスペース上に配置します。

グループにはアドバンスグループとベーシックグループがあります。



アドバンスグループには、[入カイヤイザー設定] ボタン (ディレイ表示、位相状態表示)、入カイヤイザーゲイン設定、[ミュート] ボタン、[Assign] ボタンがあり、ベーシックグループには、[Details] ボタン、出力減衰設定、[ミュート] ボタン、[Assign] ボタンがあります。



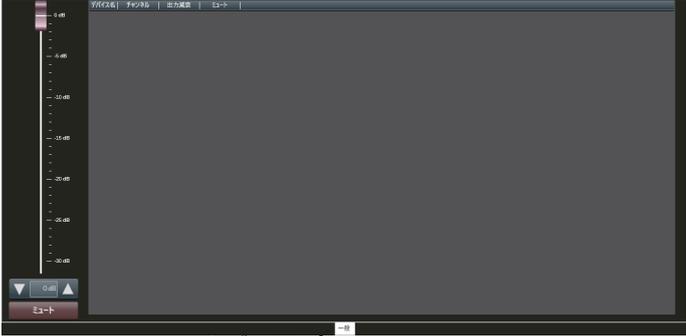
ワークスペース上のエンティティの信号チャンネルを、複数のグループに自由に設定することができます。アドバンスグループの設定状況はグループオーバービュー画面 (81ページ) で見ることができます。

以下の手順でアンプユニットのチャンネルをグループに設定します。

- 1 ワークスペース内で、アドバンス、もしくはベーシックグループの [Assign] ボタンをクリックします。
- 2 各ユニット上に、設定可能なチャンネル (A/B/C/D) が表示されます。
- 3 グループに設定するチャンネルをクリックします。設定されたチャンネルは水色に変更されます。
- 4 再度 [Assign] ボタンをクリックして設定を終了します。

設定画面

グループには以下のパラメーターがあります。

番号	名称	内容
①	[入カイヤイザー設定] ボタン (アドバンスグループ)	<p>アドバンスグループのグループ画面を表示します。 アドバンスグループのグループ画面には、一般タブと入カイヤイザータブがあります。</p> <p>一般タブでは、グループに設定されている各チャンネルのデバイス名称、チャンネル番号、出力減衰レベル、ミュート状態、入カイヤイザーゲインレベル、ディレイ時間を表示します。</p> <p>入カイヤイザータブでは、入カイヤイザーゲイン設定、ミュート設定、位相設定以外に、ディレイやイヤイザー設定を行うことができます。</p> <p>アドバンスグループの設定状態は、グループオーバービュー画面で確認することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入カイヤイザー アドバンスグループの入カイヤイザー画面の機能は、アンプのチャンネル入カイヤイザー（53ページ）の機能と同等で、ハイパス（High-Pass）、ローパス（Low-Pass）、ピーキング（Peaking）、シェルビングハイ（High-Shelving）、シェルビングロー（Low-Shelving）フィルターから選択された最大32個のフィルターからなる3層のイヤイザーを設定することができます。イヤイザー設定はグループに設定されたすべての入力チャンネルに適応させることができます。 ● ディレイ グループディレイ設定は、秒、もしくはメートル／フィートの単位で設定することができます。 ここで設定された値は、グループに設定された各チャンネルの個別のディレイ設定に加算されます。  <p style="text-align: center;">タブ表示 アドバンスグループのグループ画面</p>
②	[Details (詳細)] ボタン (ベーシックグループ)	<p>ベーシックグループのグループ画面を表示します。 ベーシックグループのグループ画面では一般タブのみとなります。</p> <p>一般タブでは、グループに設定されている各チャンネルのデバイス名称、チャンネル番号、出力減衰レベル、ミュート状態を表示します。</p> <p>また、出力減衰フェーダーによる出力減衰レベル調整、「ミュート」ボタンによるミュート状態の切り替えができます。</p>  <p style="text-align: center;">タブ表示 ベーシックグループのグループ画面</p>

設定画面

番号	名称	内容
③	レベル調整	ベーシックグループでは出力減衰レベルを、アドバンスグループでは入力コライザーゲインレベルを設定します。 ベーシックグループとアドバンスグループでは、レベル調整機能に差異があります。 アドバンスグループでは、レベルの調整範囲が、+15 dBから-40 dB（きざみは0.1 dB）になります。ベーシックグループでは、調整範囲が0 dBから-30 dB（きざみは1 dB）になります。
④	[ミュート] ボタン	グループに設定された全チャンネルのミュート ON/OFFを切り替えます。 ミュートをONの状態に設定するとボタンが点灯（赤色）します。

ワークスペース上のグループアイコンの枠線部分を右クリックすると操作メニューを表示することができます。

● ロック

ロックを選択してチェックすると、枠線左上にロック状態が表示されます。ロック状態になると、グループをワークスペース上で移動することができなくなります。



● 表示オプション

ワークスペース上のグループの位置を、配置、均等配置、順序のツールを使用して調整することができます。操作の詳細については、「レイアウトツール」(36ページ)をお読みください。

● デバイス

各項目で次の操作を行うことができます。

項目	操作内容
リセット	グループで設定する全パラメーターの初期化を実行します。
コピー／貼り付け	グループの設定パラメーターをコピーし別のグループに貼り付けができます。1つのグループの設定を複数のグループに一括設定する場合は”全て「はい」”を選択します。
ミュート／ミュート解除	グループに設定された全チャンネルのミュート、ミュート解除を実行します。

● プリセット

グループの設定パラメーターのエクスポート、インポートをすることができます。アンプの設定パラメーターを、「.pam」拡張子のファイルに保存することができます。

● 極性反転

極性の切り替えを実行します。

極性がオン状態になると、極性表示が「On」に、背景色が黄色に変更されます。

● SAFE

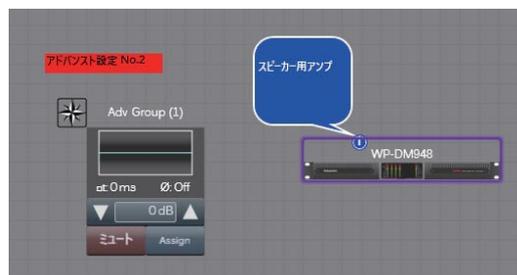
ワークスペース上での、[ミュート] ボタン、レベル調整の操作を無効にすることができます。

■ メモと吹き出し

ワークスペース上に、メモと吹き出しと画像を追加します。

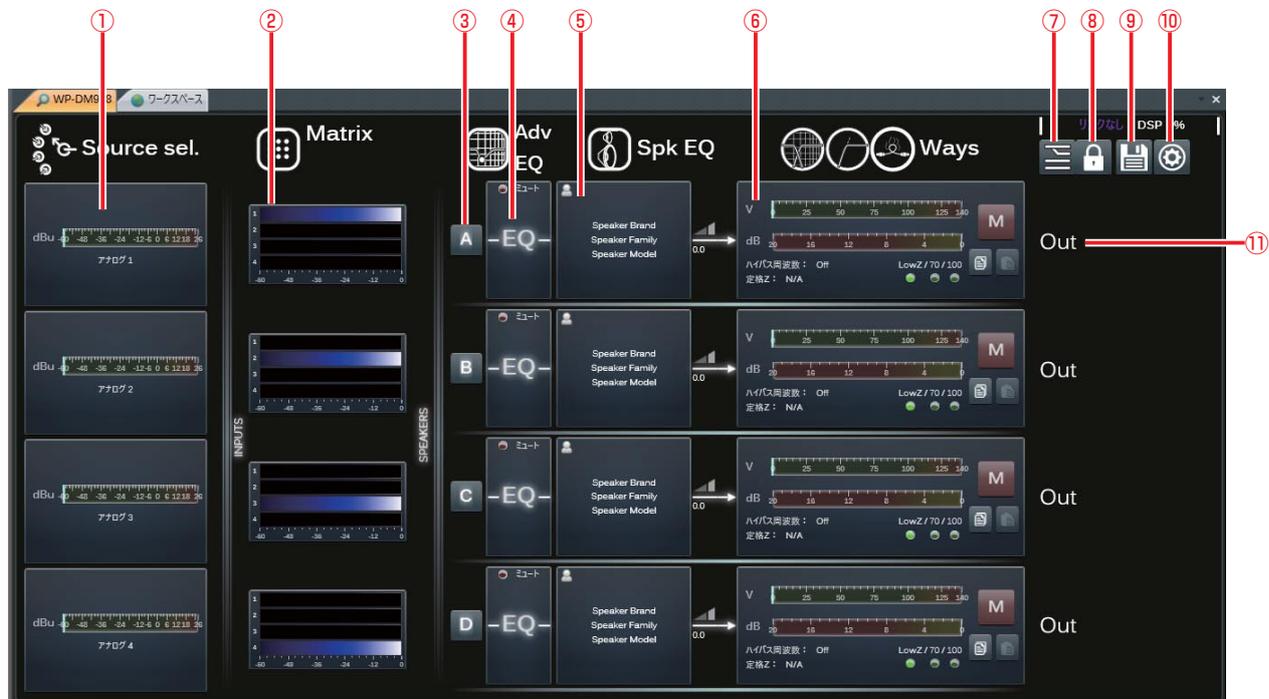
メモと吹き出しは、設定内容の記述、設定の識別、リマインダーなどに利用できます。文字制限はなく、サイズ変更できません。メモと吹き出しと画像は、[リボン] - [ホームタブ] の挿入グループで操作することができます。追加するメモまたは吹き出しまたは画像のボタンをクリックすると、ワークスペース上に表示されます。

吹き出しをダブルクリックすると非表示になります。



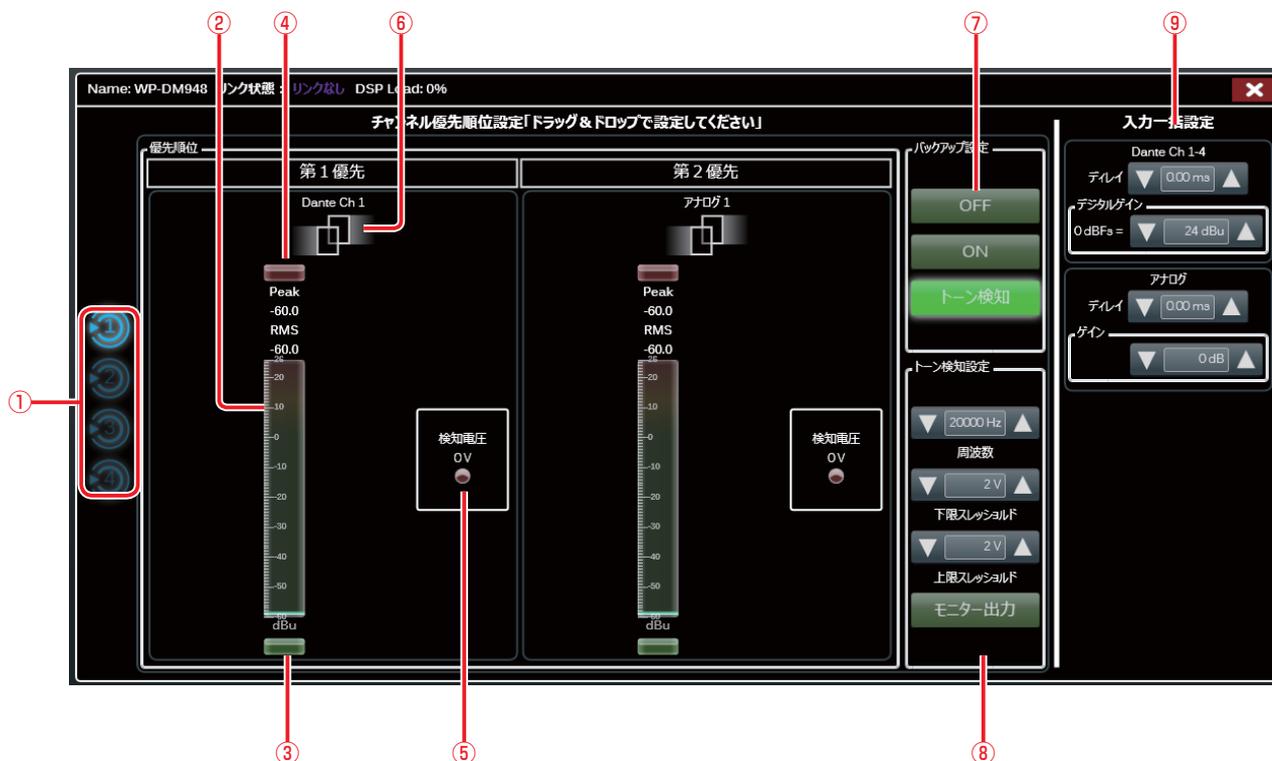
アンプ設定

ワークスペース上の編集対象の本体アイコンをダブルクリックすると、システム詳細画面が表示されます。システム詳細画面では、入出力、ディレイ、イコライザー、リミッターなどの設定を行うことができます。



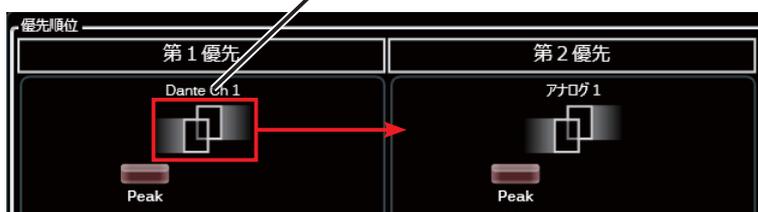
番号	名称	内容	参照ページ
①	ソース選択	クリックすると、入力ソース選択設定画面を表示します。メーターには入力レベルを表示します。	50
②	マトリクス	入力信号のマトリクス設定画面を表示します。	52
③	[スピーカーメモ] ボタン	スピーカーに関するメモを編集することができます。メモの内容は [スピーカーメモ] ボタンの上にマウスポインタを移動させると表示されます。	—
④	入力イコライザー (アドバンストイコライザー)	入力イコライザー画面を表示します。 全体ミュート状態の場合、[全体ミュート] 表示が点灯 (赤色) します。	53
⑤	スピーカーイコライザー	スピーカーイコライザー画面を表示します。 ボタンには、スピーカー設定画面 (69ページ) で設定したスピーカーのブランド/ファミリー/モデル名を表示します。 左上にスピーカープリセットの設定状態をアイコンで表示します。アイコンの上にマウスポインタを移動させると、設定されているプリセット内容を表示します。	55
⑥	出力設定	出力設定画面を表示します。レベルモニターで出力先への信号レベルを表示します。	58
⑦	スピーカー設定	スピーカー設定画面を表示します。	69
⑧	プリセットロック	プリセットロック画面を表示します。	72
⑨	プリセット管理	プリセット管理画面を表示します。	73
⑩	その他設定	その他設定画面を表示します。	74
⑪	出力表示	出力側であることを示しています。	—

入力ソース選択設定画面



番号	名称	内容
①	チャンネル選択	設定するチャンネルを選択します。
②	入力レベルメーター	入力信号レベルを表示します。
③	信号有無表示	入力信号レベルが-58 dBuを超えている場合、点灯（緑色）します。
④	リミッター表示	ピークリミッター動作時に点灯（赤色）します。 ピークリミッターは、デジタル入力では入力信号のピークレベルが0.9 dBFSに達した場合に、アナログ入力では入力信号のピークレベルが10.3 Vpkに達した場合に動作します。
⑤	検知電圧表示	[トーン検知設定] が有効時、設定したトーンを検知できないことを知らせるため点灯（赤色）します。
⑥	チャンネル優先度設定	入力信号の優先順位を設定します。 初期設定では、Dante→アナログの優先順位になっているため、アナログのみを入力した場合、自動的にアナログ入力を受け付けることができます。 優先順位設定の枠内にドラッグ&ドロップすることにより、優先順位を変更することができます。

第1優先のDanteをドラッグして、第2優先の枠内でドロップすれば、第1優先と第2優先を入れ替えることができます。

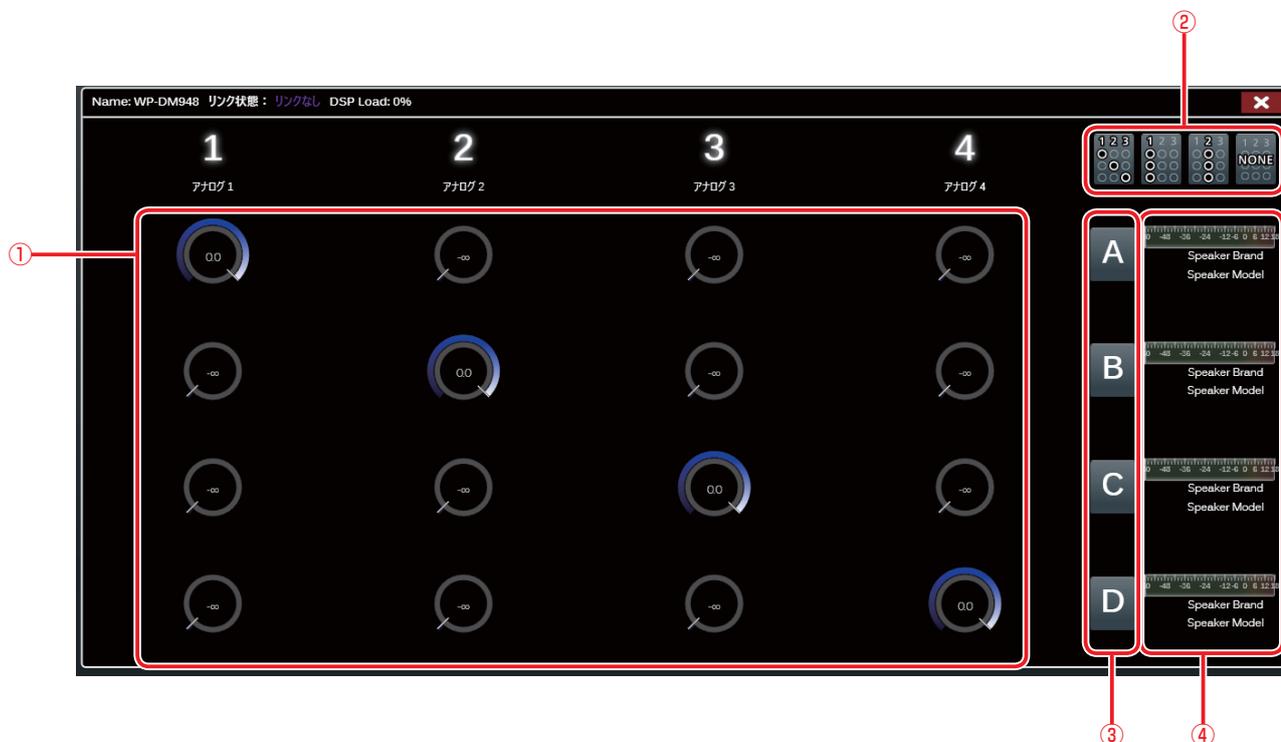


設定画面

番号	名称	内容
⑦	バックアップ手段	[OFF] を選択した場合、常に優先順位の最上位の入力チャンネルのみを受け付けます。(上記図では第1優先のDanteのみ) [ON]を選択した場合、信号のある最上位の入力チャンネルを受け付けます。(上記図では第1優先のDanteに信号なければ第2優先のアナログ) [トーン検知] を選択した場合、[トーン検知設定] で設定したトーンを検知した入力チャンネルを受け付けます。
⑧	トーン検知設定	トーン検知する周波数、下限スレッシュホールド (V)、上限スレッシュホールド (V) を設定します。 [モニター出力] を選択した場合、第1優先入力において設定されたトーンの未検知状態時に、モニター端子にアラーム信号を出力します。
⑨	入力一括設定	入力チャンネルのディレイ時間と入力ゲインの一括設定を行います。

マトリクス設定画面

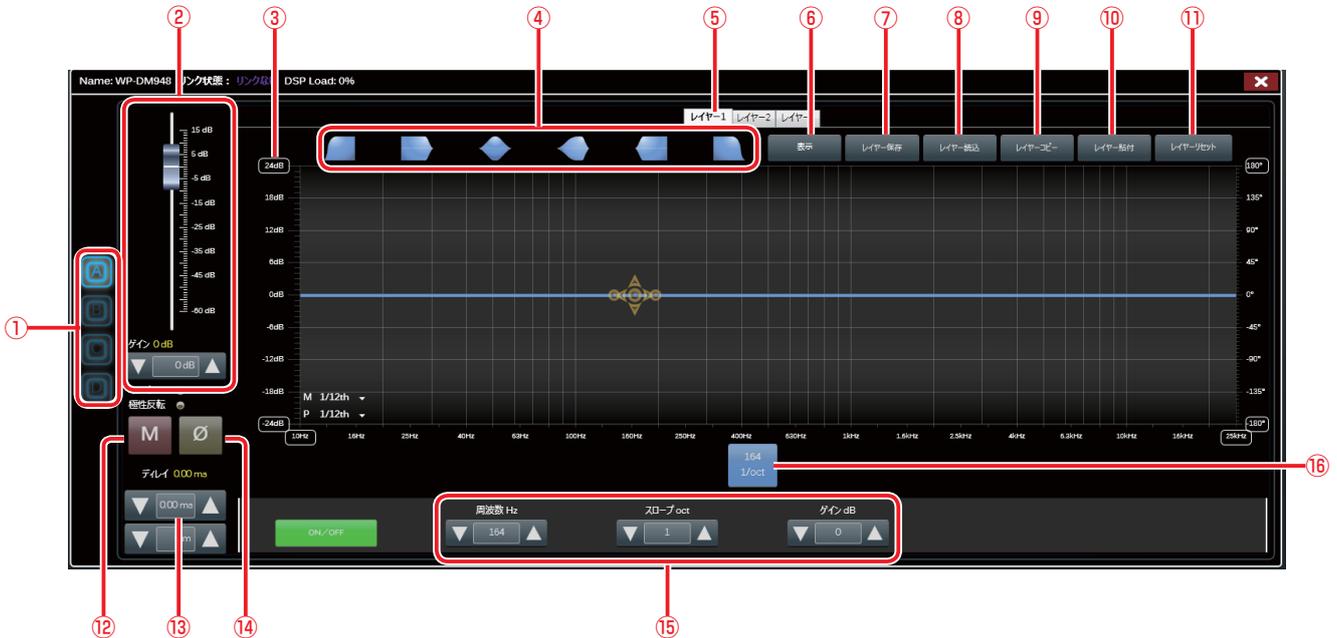
入力信号の各出力先（スピーカー）への割り当て設定を行います。



番号	名称	内容
①	マトリクス設定	横軸1-4が入力で、縦軸A-Dが出力です。 ダブルクリックすることにより、入力信号と出力先のON/OFF状態を切り替えることができます。 ON設定時に、クリックした状態でマウスカーソルを左右に動かすことにより入力レベルを変更することができます。クリック後、[▽] [△] ボタンのクリック、または直接数値を入力することによるレベル変更も可能です。
②	パターン選択	アイコンで示されたパターンでマトリクスの設定を行います。
③	[スピーカーメモ] ボタン	スピーカーに関するメモを編集することができます。メモの内容は[スピーカーメモ] ボタンの上にマウスポインタを移動させると表示されます。
④	レベルモニター	出力先への信号レベルを表示します。

入カイコライザー画面

各チャンネルの入カイコライザーの設定を行うことができます。



番号	名称	内容
①	チャンネル選択	設定するDSPチャンネルを選択します。(マトリクス後A-D)
②	全体ゲインフェーダー	入力音量の調整を行います。 フェーダーをドラッグしてゲイン値を変更することができます。[▽] [△] ボタンのクリックで 0.1 dB刻みに変更、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することも変更できます。
③	グラフスケール設定	グラフ枠のスケール値をクリックすると、グラフスケール設定画面が表示されます。 グラフスケール設定画面では、ゲイン (-200 dB~200 dB)、位相 (-360° ~360°)、周波数 (10 Hz~25000 Hz) のグラフスケールを設定します。
④	フィルタータイプ	各タイプのフィルターのアイコンをグラフ上にドラッグ&ドロップすることにより、フィルターを設定することができます。 フィルターは、ハイ/ローパスフィルター、シェルビングハイ/ローフィルター、左右対称ベル型(ピーキング)フィルター、非対象ベル型フィルターがあります。 1つのレイヤーに対して、最大32個のフィルターをグラフエリアにドラッグ&ドロップして使用することができます。
⑤	レイヤー	最大3つのレイヤーにフィルターを設定することができます。 各レイヤーのタブをクリックして、該当のレイヤーを表示させることができます。
⑥	[表示] ボタン	表示するイコライザー波形を選択します。1つのチャンネルのグラフ上に、ほかのチャンネルのイコライザー波形を一括表示させることができます。 振幅 : イコライザー波形を表示 位相 : 位相波形を表示 ゲイン : ゲイン調整を加味した波形を表示 Dly&Pol : デレイ設定と極性設定を加味した波形を表示
⑦	[レイヤー保存] ボタン	選択されたレイヤーのイコライザー設定をファイルに保存します。

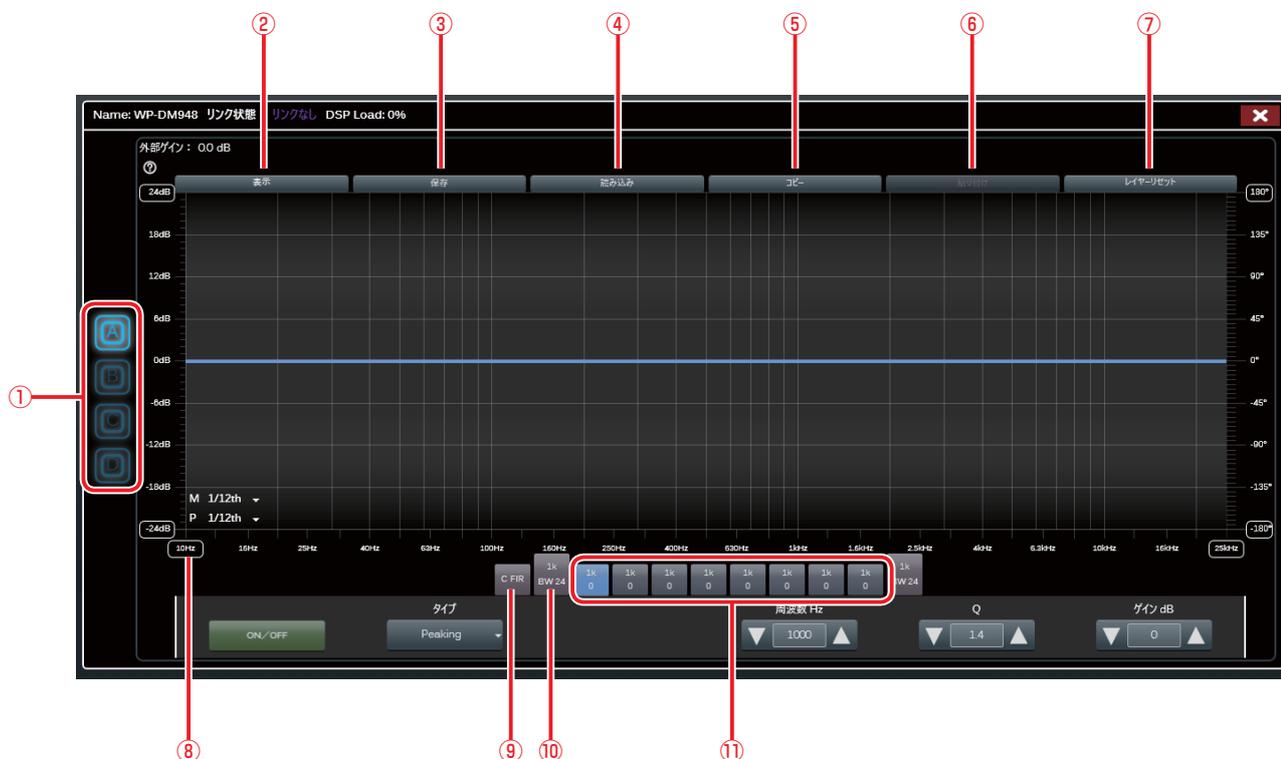
設定画面

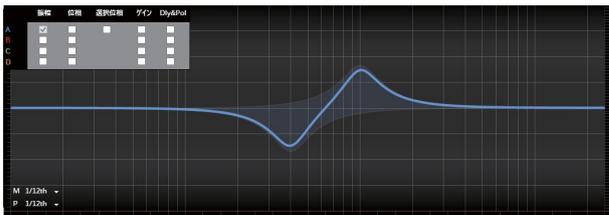
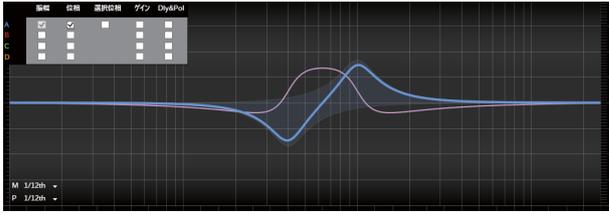
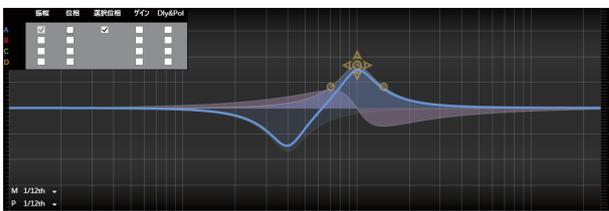
番号	名称	内容
⑧	[レイヤー読込] ボタン	保存されているイコライザー設定を読み込みます。
⑨	[レイヤーコピー] ボタン	選択されたレイヤーのイコライザー設定をコピーします。
⑩	[レイヤー貼付] ボタン	[コピー] ボタンでコピーしたイコライザー設定を貼り付けます。
⑪	[レイヤーリセット] ボタン	本画面の設定データを初期化します。[全設定] を選択すると、ゲイン、ディレイ設定、および全レイヤーのイコライザー設定を初期化します。[全レイヤー] を選択すると、全レイヤーのイコライザー設定を、[現在のレイヤー] を選択すると現在選択されているレイヤーのイコライザー設定を初期化します。
⑫	[全体ミュート] ボタン	入力信号のミュートのON/OFFを切り替えます。ミュートがON状態の場合、[ミュート] ボタンと全体ミュート表示が点灯 (赤色) します。
⑬	ディレイ設定	ディレイ時間の調整を行います。 設定範囲 : 0.00 ms (0 m) ~2000.00 ms (686 m) (0.01 ms / 3.43 mm 刻み)
⑭	[極性反転] ボタン	極性反転のON/OFFを切り替えます。反転した状態で、ボタンが点灯 (黄色) します。
⑮	フィルター設定画面	選択されたフィルターの、センター/カットオフ周波数、スロープ、ゲインを設定します。 [ON/OFF] ボタンをクリックすることにより、該当フィルターを設定する/設定しないの切り替えができます。各フィルターのスロープはオクターブ値で設定します。Q 値からオクターブ値を算出する場合は、付録の 97ページを参照してください。
⑯	[フィルター選択] ボタン	グラフ上に設定したフィルターごとに、グラフ画面下方にボタンが表示されます。ボタンには、センター/カットオフ周波数、スロープが表示されています。ボタンをクリックすると該当フィルターのフィルター設定画面を表示します。ボタンをドラッグして上下することにより、該当フィルターのON/OFFを切り替えることができます。

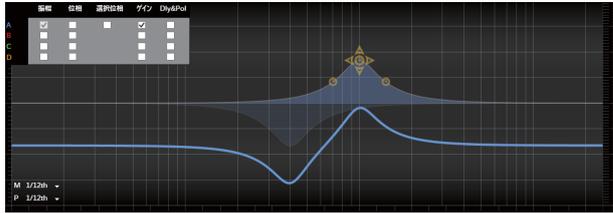
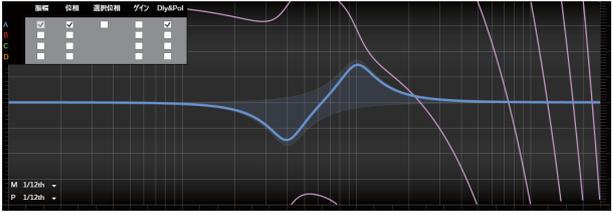


- グラフ内にマウスを持っていくと、その位置の座標を示すポイント表示をします。
- マウスを移動させた時、移動前のポイント表示が消えるのが遅い場合は、デスクトップのテーマを「Aeroテーマ」に変更することで軽減が可能です。

スピーカークライザー画面



番号	名称	内容
①	チャンネル選択	設定するDSPチャンネルを選択します。
②	[表示] ボタン	表示するイコライザー波形を選択します。1つのチャンネルのグラフ上に、ほかのチャンネルのイコライザー波形を一括表示させることができます。 振幅 : イコライザー波形を表示  位相 : 位相波形を表示  選択位相 : [フィルター選択] ボタンで選択されているフィルターに対応する位相応答波形を表示 

番号	名称	内容
		<p>ゲイン : ゲイン調整を加味した波形を表示 (入力イコライザー画面と出力イコライザー画面のみ波形表示)</p>  <p>Dly&Pol : デイレイ設定と極性設定を加味した波形を表示 (入力イコライザー画面と出力イコライザー画面のみ波形表示)</p> 
③	[保存] ボタン	イコライザー設定をファイルに保存します。
④	[読込] ボタン	保存されているイコライザー設定を読み込みます。
⑤	[コピー] ボタン	イコライザー設定をコピーします。
⑥	[貼付] ボタン	[コピー] ボタンでコピーしたイコライザー設定を貼り付けます。
⑦	[リセット] ボタン	本画面の設定データを初期化します。[全設定] を選択するとレイヤーのイコライザー設定を初期化します。[現在のレイヤー] を選択すると現在選択されているレイヤーのイコライザー設定を初期化します。[現在のレイヤー] 選択時、[全設定] 選択時と同じ動作となります。
⑧	グラフスケール設定	グラフ枠の4つの角にある白枠の数字をクリックすると、グラフスケール設定画面が表示されます。 グラフスケール設定画面では、ゲイン、位相、周波数のグラフスケールを設定します。
⑨	[カスタムFIRフィルター] ボタン	カスタムFIRフィルター設定画面を表示します。カスタムFIRフィルター設定画面では、サードパーティーツールで設計したフィルターデータの係数をインポートし、フィルターを設定することができます。 [設定] ボタンをクリックすると、FIR設計データのインポート画面が表示されます。(57ページ) [有効] ボタンをクリックすると、インポートしたフィルターをグラフ上に設定します。
⑩	[クロスオーバーフィルター] ボタン	クロスオーバーフィルター設定画面を表示します。 両端の大きさの異なる [フィルター選択] ボタンをクリックし、ハイパスフィルターとローパスフィルターから成るクロスオーバーフィルターを設定します。 バターワース (Butterworth)、ベッセル (Bessel)、リンクウィッツ (Linkwitz-Riley) の3タイプのフィルターから選択し、カットオフ周波数とスロープを設定します。[有効] ボタンをクリックすると、設定したフィルターがグラフに反映されます。
⑪	[フィルター選択] ボタン	フィルター設定画面を表示します。 8ポイントのフィルターを設定することができます。 ピーキング (Peaking)、バンドパス (BandPass)、バンドストップ (Band-stop)、シェルビングハイ/ロー (High/Low-Shelving)、ハイ/ローパス (High/Low-Pass)、全パス (All-pass) のタイプから選択し、Q、周波数、ゲイン、スロープのパラメーターを設定します。設定するパラメーターはフィルターのタイプによって異なります。 [ON/OFF] ボタンをクリックすると、設定したフィルターがグラフに反映されます。[フィルター選択] ボタンをドラッグして上下することにより、設定したフィルターのON/OFFを切り替えることができます。

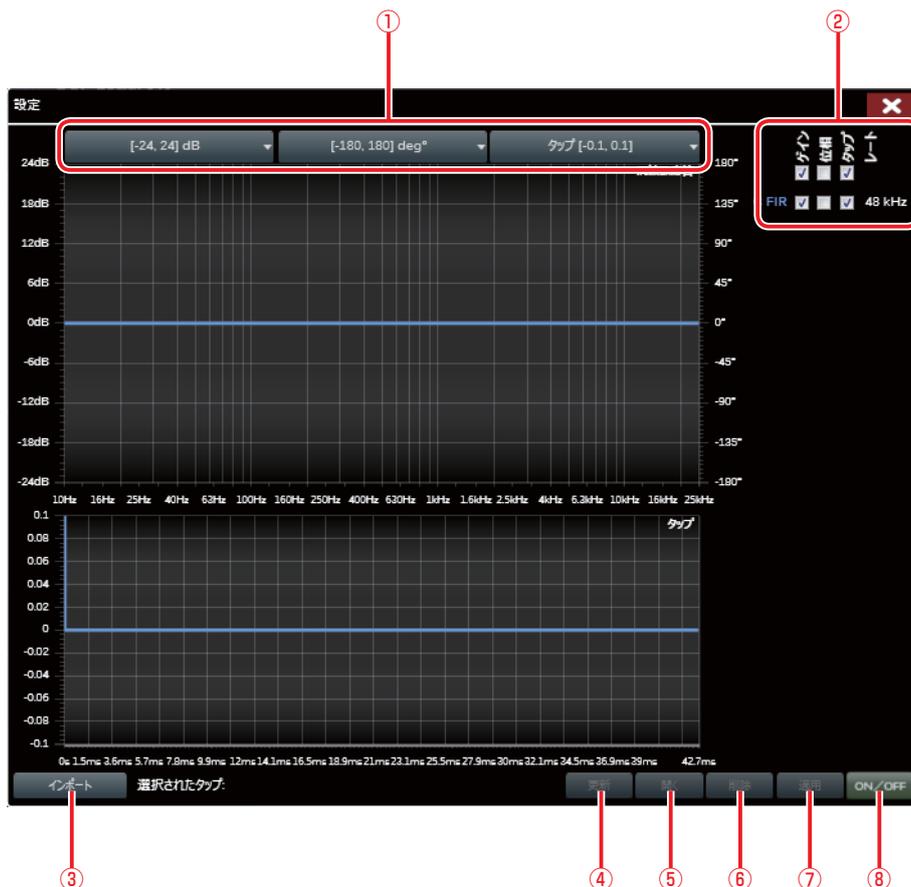
設定画面



- グラフ内にマウスを持っていくと、その位置の座標を示すポイント表示をします。
- マウスを移動させた時、移動前のポイント表示が消えるのが遅い場合は、デスクトップのテーマを「Aeroテーマ」に変更することで軽減が可能です。

◆ カスタムFIRインポート画面

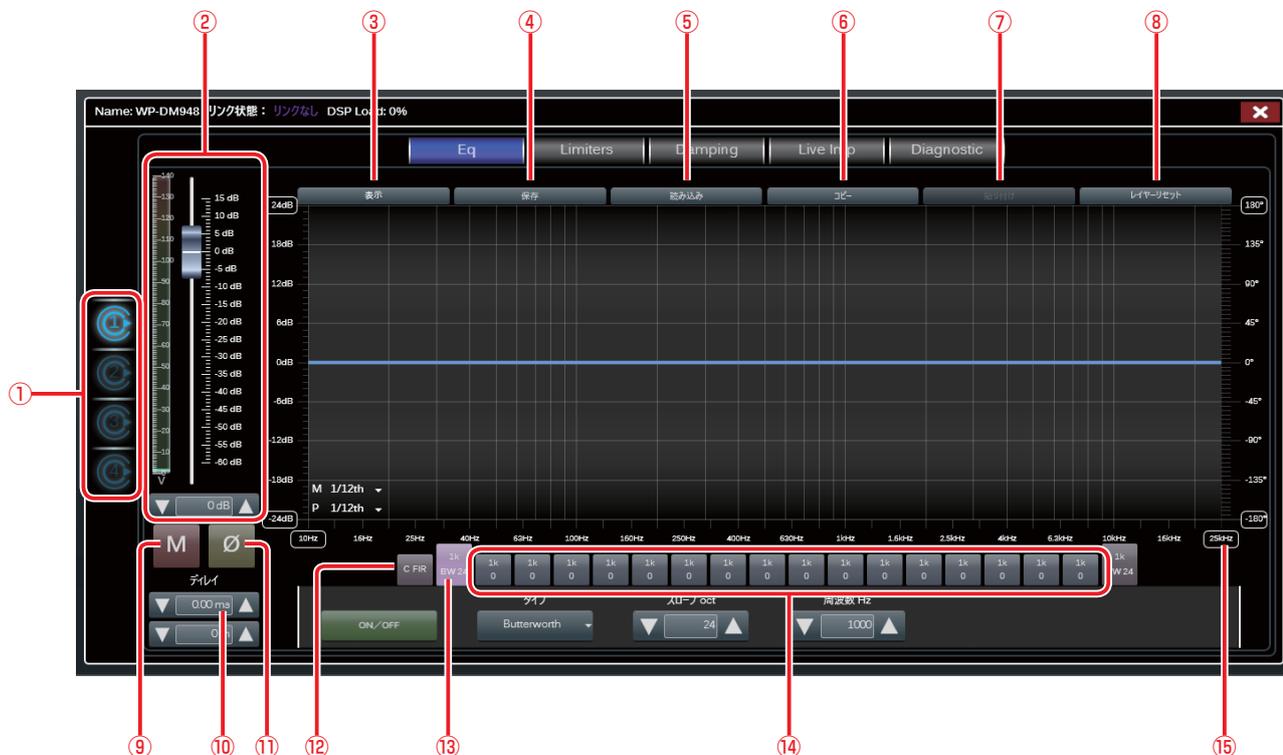
外部アプリケーションや外部ツールを使用して算出したFIRフィルター係数データをインポートすることによって、イコライザ調整後の位相特性を最適化することができます。

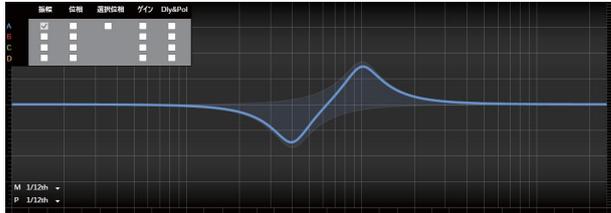
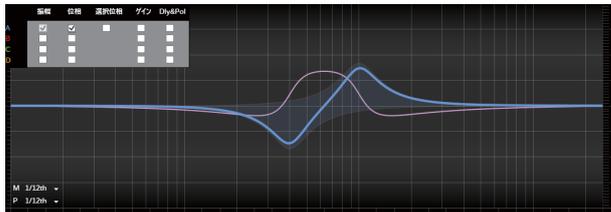


番号	名称	内容
①	グラフスケール設定	各ボタンをクリックし、プルダウンからグラフの縦軸のスケールを選択します。
②	波形表示設定	各波形の表示／非表示を、チェックボックスをクリックして設定します。
③	[インポート] ボタン	インポートするフィルターの係数データファイルを選択します。
④	[更新] ボタン	インポートしたファイルデータを再度読み直し、FIR応答波形を再表示します。
⑤	[開く] ボタン	インポートするフィルターの係数データcsvファイルを開きます。
⑥	[削除] ボタン	インポートしたフィルターデータを削除します。
⑦	[適用] ボタン	インポートしたフィルターデータを適用し、本画面上に表示します。
⑧	[ON/OFF] ボタン	[適用] ボタンで適用したフィルターデータを、スピーカーイコライザ画面に反映します。

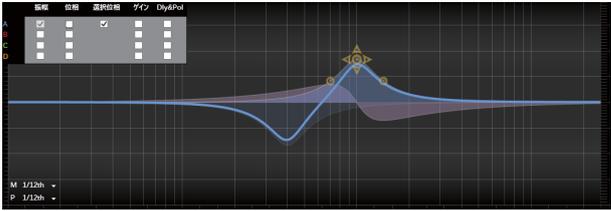
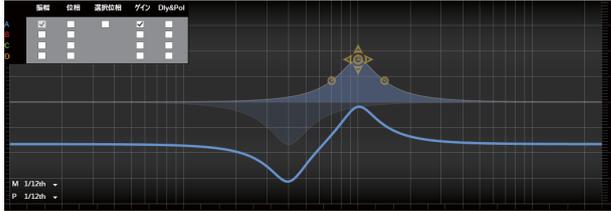
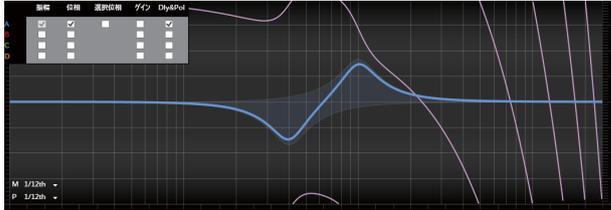
出力設定画面

◆ 出カイコライザー画面 (Eq)



番号	名称	内容
①	チャンネル選択	設定する出力チャンネルを選択します。
②	全体ゲインフェーダー	出力音量の調整を行います。 フェーダーをドラッグしてゲイン値を変更することができます。[▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することも変更できます。
③	[表示] ボタン	表示するイコライザー波形を選択します。1つのチャンネルのグラフ上に、ほかのチャンネルのイコライザー波形を一括表示させることができます。 振幅 : イコライザー波形を表示  位相 : 位相波形を表示 

設定画面

番号	名称	内容
		<p>選択位相 : [フィルター選択] ボタンで選択されているフィルターに対応する位相応答波形を表示</p>  <p>ゲイン : ゲイン調整を加味した波形を表示</p>  <p>Dly&Pol : デイレイ設定と極性設定を加味した波形を表示</p> 
④	[保存] ボタン	イコライザー設定をファイルに保存します。
⑤	[読込] ボタン	保存されているイコライザー設定を読み込みます。
⑥	[コピー] ボタン	選択されたレイヤーのイコライザー設定をコピーします。
⑦	[貼付] ボタン	[コピー] ボタンでコピーしたイコライザー設定を貼り付けます。
⑧	[リセット] ボタン	本画面の設定データを初期化します。[全設定] を選択すると、ゲイン、ミュート、デイレイ設定、およびイコライザー設定を初期化します。[現在のレイヤー] を選択するとイコライザー設定を初期化します。
⑨	[ミュート] ボタン	出力信号のミュートのON/OFFを切り替えます。ミュートがON状態の場合、[ミュート] ボタンが点灯 (赤色) します。
⑩	デイレイ設定	<p>デイレイ時間の調整を行います。</p> <p>設定範囲 : 0.00 ms (0 m) ~ 100.00 ms (34.3 m) (0.01 ms / 3.43 mm 刻み)</p>
⑪	[極性反転] ボタン	出力信号の極性反転ON/OFFを切り替えます。反転した状態で、ボタンが点灯 (黄色) します。
⑫	[カスタムFIRフィルター] ボタン	<p>カスタムFIRフィルター設定画面を表示します。カスタムFIRフィルター設定画面では、サードパーティーツールで設計したフィルターデータの係数をインポートし、フィルターを設定することができます。</p> <p>[設定] ボタンをクリックすると、FIR設計データのインポート画面が表示されます。(57ページ)</p> <p>[有効] ボタンをクリックすると、インポートしたフィルターをグラフ上に設定します。</p>

設定画面

番号	名称	内容
⑬	【クロスオーバーフィルター】 ボタン	クロスオーバーフィルター設定画面を表示します。 両端の大きさの異なる【フィルター選択】 ボタンをクリックし、ハイパスフィルターとローパスフィルターから成るクロスオーバーフィルターを設定します。 バターワース (Butterworth)、ベッセル (Bessel)、リンクウィッツ (Linkwitz-Riley) の3タイプのフィルターから選択し、カットオフ周波数とスロープを設定します。[有効] ボタンをクリックすると、設定したフィルターがグラフに反映されます。
⑭	【フィルター選択】 ボタン	フィルター設定画面を表示します。 16ポイントのフィルターを設定することができます。 ピーキング (Peaking)、バンドパス (BandPass)、バンドストップ (Band-stop)、ハイ/ローシェルビング (High/Low-Shelving)、ハイ/ローパス (High/Low-Pass)、全パス (All-pass) のタイプから選択し、Q、周波数、ゲイン、スロープのパラメーターを設定します。設定するパラメーターはフィルターのタイプによって異なります。 [ON/OFF] ボタンをクリックすると、設定したフィルターがグラフに反映されます。 【フィルター選択】 ボタンをドラッグして上下することにより、設定したフィルターのON/OFFを切り替えることができます。
⑮	グラフスケール設定	グラフ枠の4つの角にある白枠の数字をクリックすると、グラフスケール設定画面が表示されます。 グラフスケール設定画面では、ゲイン、位相、周波数のグラフスケールを設定します。

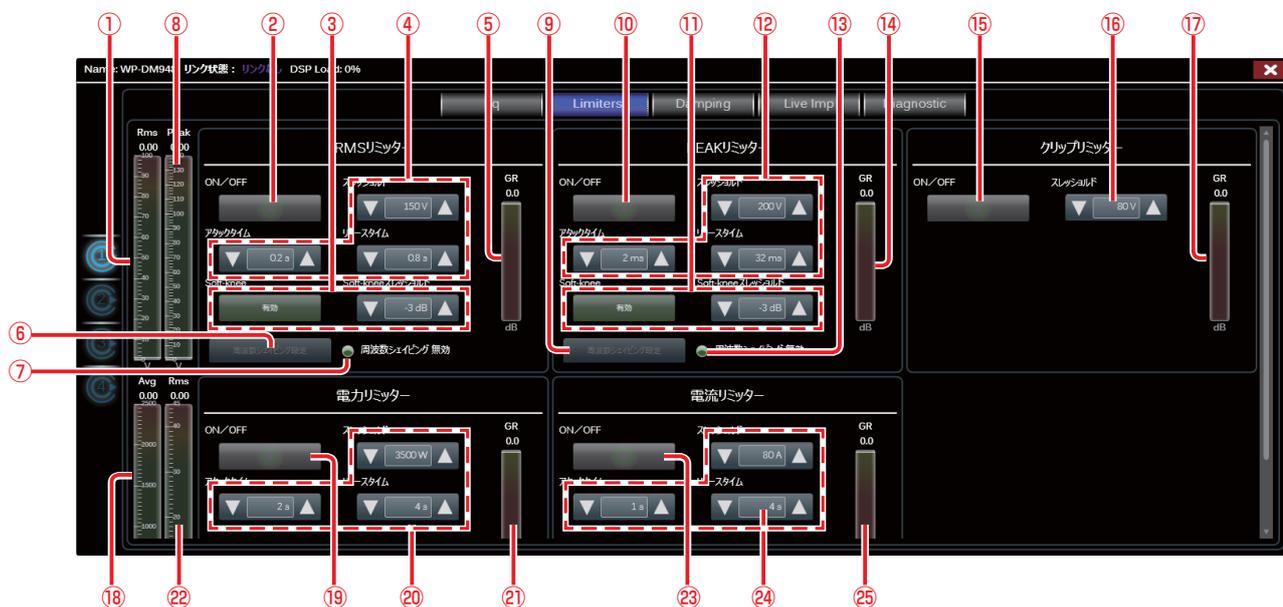


- グラフ内にマウスを持っていくと、その位置の座標を示すポイント表示をします。
- マウスを移動させた時、移動前のポイント表示が消えるのが遅い場合は、デスクトップのテーマを「Aeroテーマ」に変更することで軽減が可能です。

設定画面

◆ リミッター画面 (Limiters)

5段階のリミッターを設定することができます。



■ RMSリミッター

駆動するスピーカーの仕様書を確認し、定格値 (AES) を電圧換算した値を設定します。RMSリミッターは長時間ユニットを駆動した際に発生する熱に対するリミッターという考えかたに基づいているため、入力する音声信号によって、安全係数を差し引いた値を設定することをお勧めします。

番号	名称	内容
①	RMSレベルメーター	出力電圧のRMSレベル値 (実行値) を表示します。 表示範囲 WP-DM948 : 0 V~100 V WP-DM924 : 0 V~70 V WP-DM912 : 0 V~70 V
②	[ON/OFF] ボタン	RMSリミッター機能のON/OFFを切り替えます。ONの場合、ボタンが点灯 (緑色) します。
③	[Soft-knee] ボタン / Soft-kneeスレッシュォルド	スレッシュォルドから直線的にリダクションするリミッターに対して、Soft-knee機能によってリミッターを作動させる前段にSoftkneeスレッシュォルドを設定して、曲線的にリダクションすることが可能になります。 [Soft-knee] ボタンをクリックすることにより、Soft-knee機能を有効にします。有効な場合、ボタンが点灯 (緑色) します。 スレッシュォルドは、[▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することも変更できます。 設定範囲 : -6 dB~0 dB
④	スレッシュォルド / アタックタイム / リリースタイム	RMSリミッターが作動するスレッシュォルド、アタックタイム、リリースタイムを設定します。 [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することも変更できます。 設定範囲 スレッシュォルド : 10 V~300 V アタックタイム : 0.01 s~30 s リリースタイム : 0.01 s~30 s
⑤	ゲインリダクションメーター	RMSリミッターの作動によってリダクションしたゲインレベルを表示します。

設定画面

番号	名称	内容
⑥	〔周波数シェイピング設定〕 ボタン	周波数整形設定画面を表示します。 一元的に作動するリミッターに対して、周波数に応じてリダクションの度合いをカスタマイズすることができます。 RMSリミッター機能がONの場合のみ選択可能です。
⑦	周波数シェイピング状態表示	周波数整形設定がONの場合、点灯（緑色）します。

設定画面

■PEAKリミッター

駆動するスピーカーの仕様書を確認し、最大値 (Peak) を電圧換算した値を設定します。スピーカーの仕様が不明な場合などは、RMSで使用した値の2倍の値を設定することをお勧めします。ピークリミッターは突発的な突入電圧へのリミッターとして、スピーカーユニットの物理的な破損を防ぐことを目的としています。

再生周波数帯域に応じた一般的なアタック/リリースタイムは以下のとおりです。

周波数帯域	アタックタイム	アタック-リリース比率	リリースタイム
10 Hz~31 Hz	45 ms	x16	720 ms
31 Hz~63 Hz	16 ms	x16	256 ms
63 Hz~125 Hz	8 ms	x16	128 ms
125 Hz~250 Hz	4 ms	x8	32 ms
250 Hz~500 Hz	2 ms	x8	16 ms
500 Hz~1 kHz	1 ms	x4	4 ms
1 kHz~2 kHz	0.5 ms	x4	2 ms
2 kHz~22 kHz	0.3 ms	x4	1.2 ms

番号	名称	内容
⑧	ピークレベルメーター	出力の電圧レベル値を表示します。 表示範囲 WP-DM948 : 0 V~140 V WP-DM924 : 0 V~100 V WP-DM912 : 0 V~80 V
⑨	[周波数シェイピング設定] ボタン	周波数整形設定画面を表示します。 一元的に作動するリミッターに対して、周波数に応じてリダクションの度合いをカスタマイズすることができます。 ピークリミッター機能がONの場合のみ選択可能です。
⑩	[ON/OFF] ボタン	ピークリミッター機能のON/OFFを切り替えます。ONの場合、ボタンが点灯(緑色)します。
⑪	[Soft-knee] ボタン/ Soft-kneeスレッシュォルド	スレッシュォルドから直線的にリダクションするリミッターに対して、Soft-knee機能によってリミッターを作動させる前段にSoftkneeスレッシュォルドを設定して、曲線的にリダクションすることが可能になります。 [Soft-knee] ボタンをクリックすることにより、Soft-knee機能を有効にできます。有効な場合、ボタンが点灯(緑色)します。 スレッシュォルドは、[▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。 設定範囲 : -6 dB~0 dB
⑫	スレッシュォルド/アタックタイム/リリースタイム	ピークリミッターが作動するスレッシュォルド、アタックタイム、リリースタイムを設定します。 [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。 設定範囲 スレッシュォルド : 10 V~380 V アタックタイム : 0.3 ms~2000 ms リリースタイム : 3 ms~8000 ms
⑬	周波数シェイピング状態表示	周波数整形設定が有効な場合、点灯(緑色)します。
⑭	ゲインリダクションメーター	ピークリミッターの作動によってリダクションしたゲインレベルを表示します。

設定画面

■クリップリミッター

最終的なアンプ出力電圧の最大値を設定します。耐入力の低いユニットを駆動する場合や、最終アンプ出力段のクリッピングを防ぐ目的で使用します。

番号	名称	内容
⑮	[ON/OFF] ボタン	クリップリミッター機能のON/OFFを切り替えます。ONの場合、ボタンが点灯（緑色）します。
⑯	スレッシュホールド	クリップリミッターが作動するスレッシュホールドを設定します。 [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。 設定範囲 10 V~400 V
⑰	ゲインリダクションメーター	クリップリミッターの作動によってリダクションしたゲインレベルを表示します。

■電力リミッター

駆動するスピーカーの抵抗値が把握できている場合に有効なリミッターです。RMSリミッターでは電圧値に対するリミッターとなりますが、電力リミッターでは接続インピーダンス特性も加味されたリミッティングが行われます。電力リミッターはRMSリミッターと同様に、接続負荷に対する過温度への保護を目的としたリミッターです。

番号	名称	内容
⑱	電力レベルメーター	電力レベル値を表示します。 表示範囲 WP-DM948 : 0 W~2500 W WP-DM924 : 0 W~1500 W WP-DM912 : 0 W~1500 W
⑲	[ON/OFF] ボタン	電力リミッター機能のON/OFFを切り替えます。ONの場合、ボタンが点灯（緑色）します。
⑳	スレッシュホールド/アタックタイム/リリースタイム	電力リミッターが作動するスレッシュホールド、アタックタイム、リリースタイムを設定します。 [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。 設定範囲 スレッシュホールド : 40 W~7000 W アタックタイム : 0.1 s~30 s リリースタイム : 0.2 s~30 s
㉑	ゲインリダクションメーター	電力リミッターの作動によってリダクションしたゲインレベルを表示します。

■電流リミッター

駆動するスピーカーの抵抗値が低い場合（口径の大きなサブウーファーなど）に、供給される電流値を制御します。

番号	名称	内容
㉒	電流レベルメーター	電流レベル値を表示します。 表示範囲 WP-DM948 : 0 A~45 A WP-DM924 : 0 A~30 A WP-DM912 : 0 A~30 A
㉓	[ON/OFF] ボタン	電流リミッター機能のON/OFFを切り替えます。ONの場合、ボタンが点灯（緑色）します。
㉔	スレッシュホールド/アタックタイム/リリースタイム	電流リミッターのスレッシュホールド、アタックタイム、リリースタイムを設定します。 [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。 設定範囲 スレッシュホールド : 0.1 A~80 A アタックタイム : 0.01 s~30 s リリースタイム : 0.01 s~30 s
㉕	ゲインリダクションメーター	電流リミッターの作動によってリダクションしたゲインレベルを表示します。

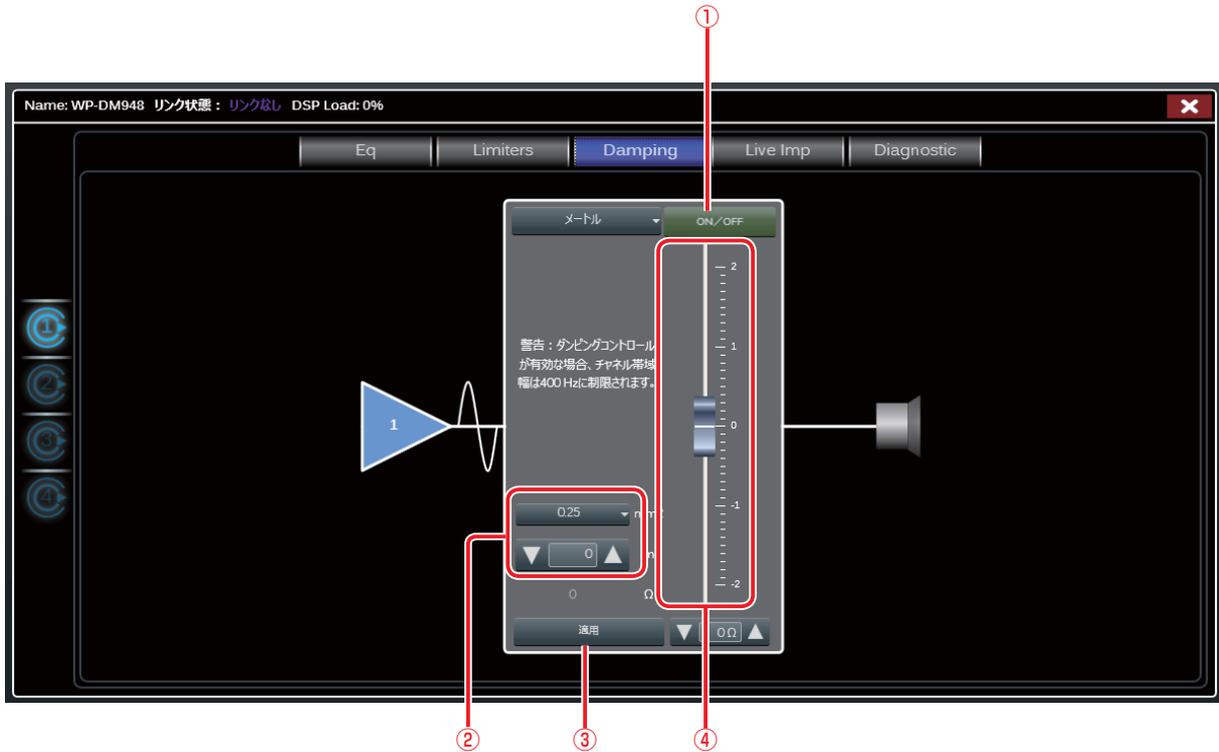
設定画面

◆ ダンピング制御設定画面 (Damping)

ケーブルのパラメーターを入力しアルゴリズム計算を行うことにより、ケーブル抵抗によるダンピングロスを補正します。



- 本設定は、400 Hz以下を再生するスピーカーに対してのみ有効となります。



番号	名称	内容
①	[ON/OFF] ボタン	補正アルゴリズムのON/OFFを切り替えます。ONの場合、ボタンが点灯 (緑色) します。
②	ケーブル寸法	ケーブルの太さと長さを入力し自動的にケーブル抵抗値を算出します。ケーブルの太さはドロップダウンリストからの選択で、ケーブルの長さは [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックしての直接数値入力で入力することができます。ケーブルの太さと長さの単位は、「メートル (ゲージ:mm ² 、長さ:m)」、「AWG (ゲージ: AWG、長さ: ft)」から選択できます。
③	[適用] ボタン	ケーブルの太さと長さから計算されたケーブル抵抗値を補正值として設定します。
④	ケーブル抵抗フェーダー	フェーダーをドラッグして設定された補正值を手動で変更することができます。[▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。

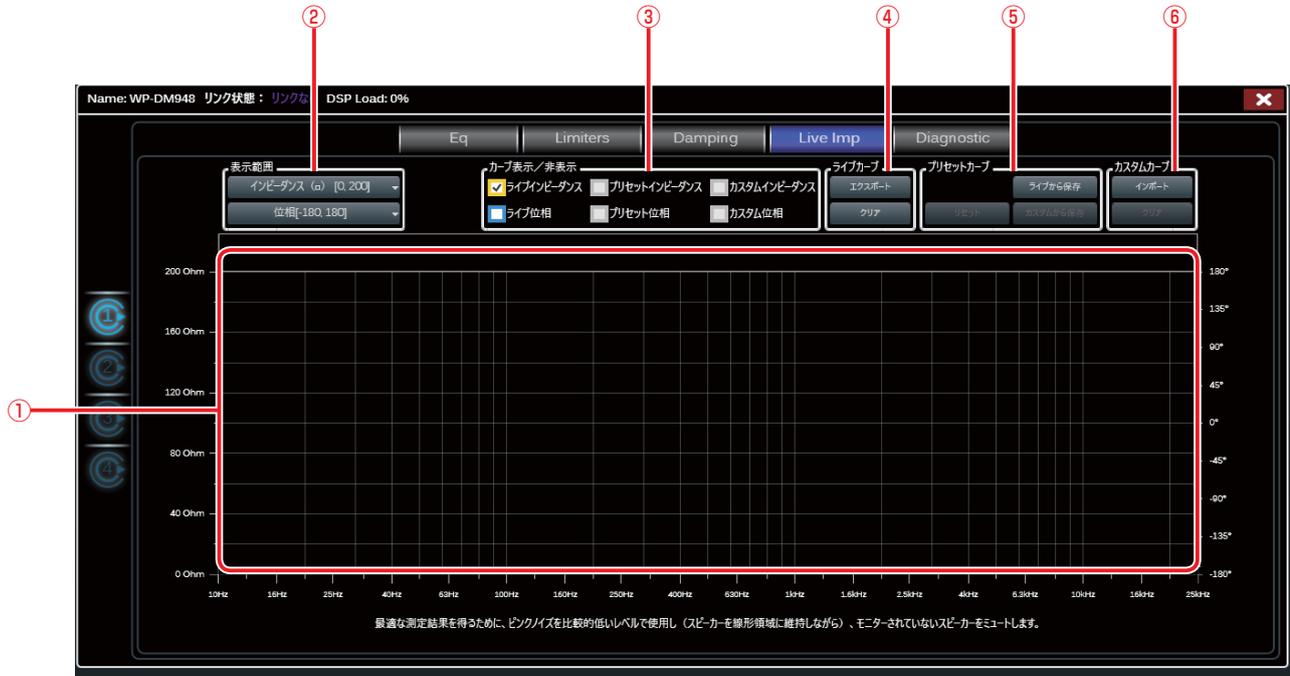
設定画面

◆ Liveimpedance画面 (Live Imp)

チャンネルごとに、接続されたスピーカ-の周波数に対する負荷インピーダンス特性を、リアルタイムにグラフィカル表示します。

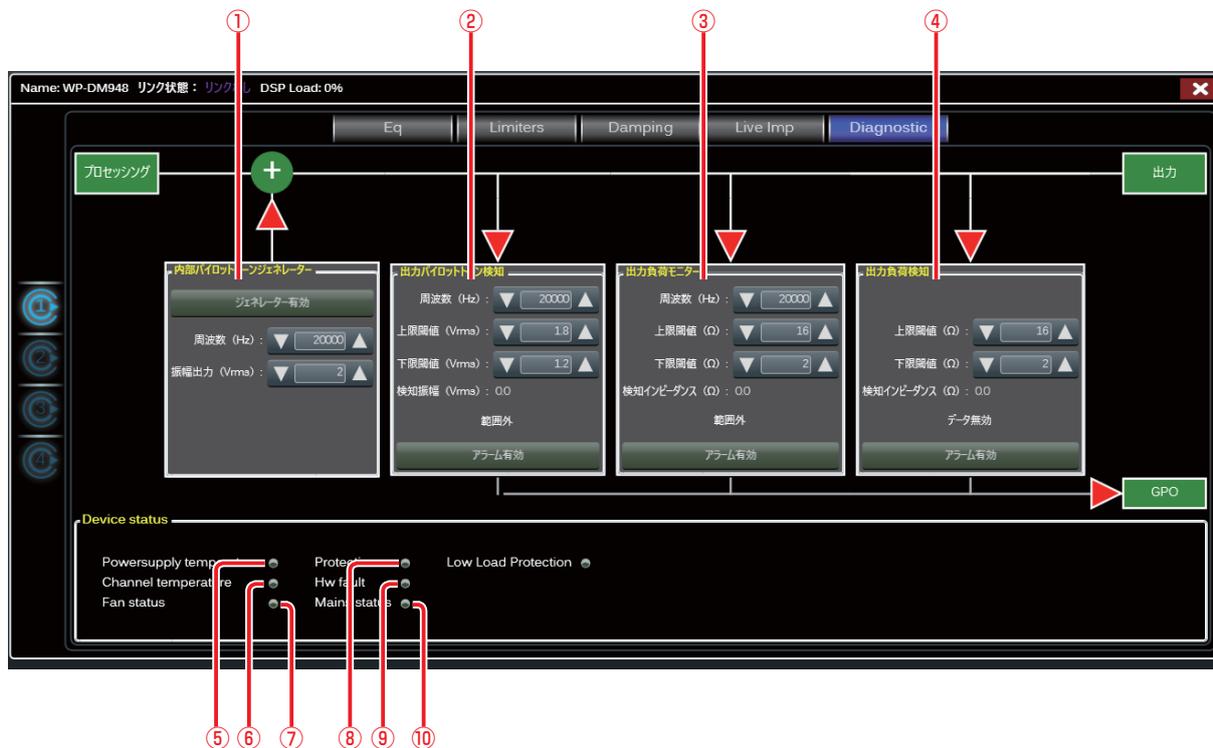
本機能はスピーカ-の状態を把握するための機能であり、接続されたスピーカ-の理想的なリファレンス波形を背面に表示し、ライブ環境でのスピーカ-の駆動状態を特性波形で確認することが可能です。

また、駆動しているスピーカ-が持つ本来のQ値を把握することができ、システムの安全性への手助けになります。



番号	名称	内容
①	インピーダンス表示	黄色の波形でインピーダンスの振幅 (Ohm : スケールは左側) を、青色の波形で位相角 (° : スケールは右側) を表示します。
②	グラフスケール	振幅と位相のグラフスケールを設定します。
③	カーブ表示/非表示	グラフ上に表示する各カーブ (波形) の表示/非表示を設定します。 ライブ (振幅、位相)、プリセット (振幅、位相)、カスタム (振幅、位相) から選択します。 ライブカーブでは、本体に接続されたスピーカ-のインピーダンスを測定しリアルタイムで表示します。 プリセットカーブでは、プリセットファイルに保存された波形を表示します。 カスタムカーブでは、ライブカーブをエクスポートした波形をインポートして表示することができます。
④	ライブカーブ	[エクスポート] ボタンをクリックすると、表示されたインピーダンス波形を保存しカスタムカーブして使用することができます。 [クリア] ボタンをクリックすると、インピーダンス波形の表示を更新します。
⑤	プリセットカーブ	[ライブを保存] をクリックすると、ライブカーブをプリセットファイルに保存します。 [カスタムを保存] をクリックすると、カスタムカーブをプリセットファイルに保存します。 [リセット] をクリックすると、ライブカーブ、またはカスタムカーブからのプリセットへの保存動作を停止します。
⑥	カスタムカーブ	[インポート] ボタンをクリックすると、カスタムカーブとして保存されたインピーダンス波形をグラフ上に表示することができます。 [クリア] ボタンをクリックすると、カスタムカーブの読み込みとグラフ上の表示を停止します。

◆ 診断画面 (Diagnostic)



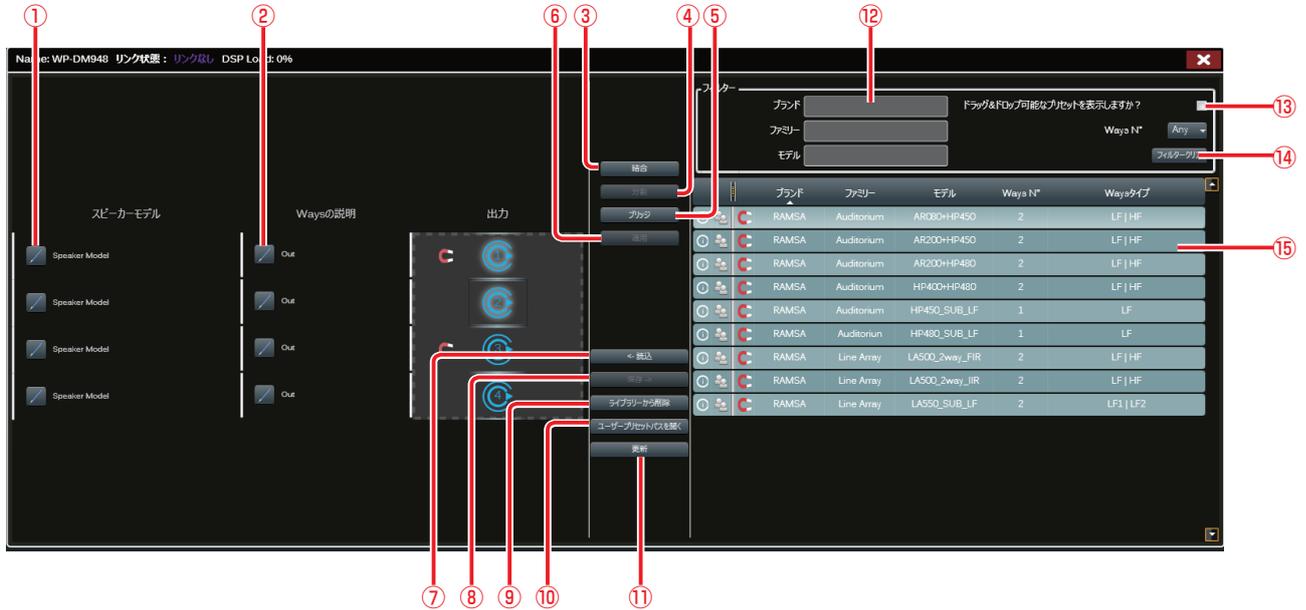
番号	名称	内容
①	内部パイロットトーンジェネレーター	診断用にトーンを生成、出力します。 トーンの周波数と振幅出力を設定し、[ON/OFF] ボタンをクリックすると、設定したパイロットトーンが出力されます。 設定範囲 周波数：20 Hz～20000 Hz 振幅出力：0.1 Vrms～40 Vrms
②	出力パイロットトーン検知	出力されたパイロットトーンの検知を行います。 設定した周波数、上限/下限スレッシュホールドの条件に一致したトーンを検知できない場合、出力パイロットトーン検知画面部分が赤色に変化します。 [アラーム出力] ボタンをクリックし有効状態にすると、トーンの未検知時にモニター端子にアラーム信号を出力します。 設定範囲 周波数：20 Hz～20000 Hz 上限スレッシュホールド：0.1 Vrms～40 Vrms 下限スレッシュホールド：0.1 Vrms～40 Vrms
③	出力負荷モニター	設定した周波数において、出力負荷が設定した上限/下限スレッシュホールド（インピーダンス）の範囲から外れた場合に、出力負荷モニター画面部分が赤色に変化します。 [アラーム出力] ボタンをクリックし有効状態にすると、出力負荷が設定した上限/下限スレッシュホールドの範囲から外れた場合にモニター端子にアラーム信号を出力します。 設定範囲 周波数：20 Hz～20000 Hz 上限スレッシュホールド：1 Ω～500 Ω 下限スレッシュホールド：1 Ω～500 Ω

設定画面

番号	名称	内容
④	出力負荷検知	出力負荷が設定した上限／下限スレッショルド（インピーダンス）の範囲から外れた場合に、出力負荷検知画面部分が赤色に変化します。 [アラーム出力] ボタンをクリックし有効状態にすると、出力負荷が設定した上限／下限スレッショルドの範囲から外れた場合にモニター端子にアラーム信号を出力します。 設定範囲 上限スレッショルド：1 Ω～500 Ω 下限スレッショルド：1 Ω～500 Ω
⑤	電源温度 (Powersupply temperature)	電源の状態によって、表示が以下のように変化します。 緑点灯：正常 橙点灯：本体がオフライン、または電源電圧低下 赤点灯：電源温度リミッター発生、またはオーバーヒートによる電源保護発生
⑥	チャンネル温度 (Channel temperature)	チャンネルの状態によって、表示が以下のように変化します。 緑点灯：正常 橙点灯：本体がオフライン、または電源電圧低下 赤点灯：出力チャンネル端子リミッター発生／保護状態
⑦	ファーステータス (Fan status)	ファンの状態によって、表示が以下のように変化します。 緑点灯：正常 橙点灯：本体がオフライン、または電源電圧低下 赤点灯：エラー発生
⑧	保護 (Protection)	保護の状態によって、表示が以下のように変化します。 緑点灯：正常 橙点灯：本体がオフライン、または電源電圧低下 赤点灯：出力チャンネル保護状態
⑨	ハードウェア異常 (Hw fault)	ハードウェアの状態によって、表示が以下のように変化します。 緑点灯：正常 橙点灯：本体がオフライン、または電源電圧低下 赤点灯：ハードウェア故障発生、または出力チャンネル保護状態
⑩	電源ステータス (Mains status)	電源の状態によって、表示が以下のように変化します。 緑点灯：正常 橙点灯：本体がオフライン、または電源電圧低下

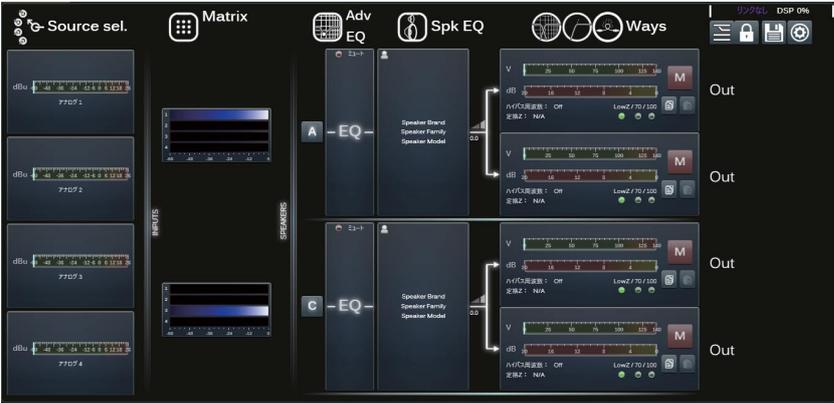
スピーカー設定画面

システム詳細画面の右上の [≡] ボタンをクリックすると、スピーカー設定画面を表示します。
各出力チャンネルに接続するスピーカーに関する設定を行うことができます。

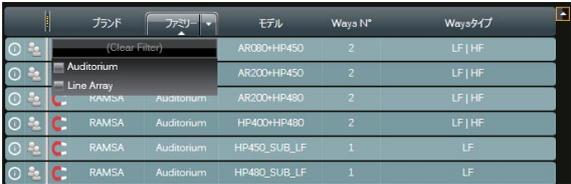


番号	名称	内容
①	[スピーカー詳細] ボタン	<p>スピーカー詳細データ画面を表示します。</p>  <p>スピーカープリセットとして保存した際に表示するブランド／ファミリー／モデル／プリセットメモの編集と、スピーカープリセットからドラッグ＆ドロップで割り付け可能な出力チャンネル (SnapRecall to) の設定をすることができます。</p>
②	[Way説明] ボタン	<p>Way説明画面を表示します。 Wayの説明を編集することができます。 マルチウェイスピーカーを使用する際に、各出力チャンネルへ接続するスピーカーユニット名称などを設定することによって、各出力チャンネルの用途が判別しやすくなります。</p> 

設定画面

番号	名称	内容
③	[結合] ボタン	<p>[出力] 列でキーボードの [Shift] キーを押しながら複数の出力チャンネルを選択後、[結合] ボタンをクリックすることによって、選択した複数チャンネルの入カイヤイザーとスピーカイヤイザーを1つにまとめて制御することができます。</p> <p>入力チャンネルを複数搭載したマルチウェイスピーカを接続する場合に本設定を行います。</p> 
④	[分割] ボタン	<p>[結合] ボタンで結合したチャンネルを、再度分割します。</p>
⑤	[ブリッジ] / [ブリッジ解除] ボタン	<p>[出力] 列でキーボードの [Shift] キーを押しながら2つの出力チャンネルを選択後、[ブリッジ] ボタンをクリックすることによって、2つのチャンネルを1つのチャンネルにまとめて制御することができます。</p> <p>大出力のサブウーハーなどをBTL接続する場合に本設定を行います。</p>  <p>ブリッジ状態の場合、鎖のアイコンが表示されます。</p> <p>ブリッジしたチャンネルを選択すると表示される[ブリッジ解除]ボタンをクリックすることにより、ブリッジしたチャンネルを元の状態に戻すことができます。</p>
⑥	[適用] ボタン	<p>変更したすべての設定を適用します。</p>
⑦	[読み込] ボタン	<p>スピーカプリセットの出力チャンネルへの読み込みを行います。</p> <p>スピーカプリセット一覧から読み込むプリセットを選択後、[読み込み] ボタンをクリックするとスピーカプリセット設定画面を表示します。</p>
⑧	[保存] ボタン	<p>作成した出力チャンネル設定をスピーカプリセットデータとして保存します。</p> <p>拡張子「.spk」のファイルに保存されます。</p>
⑨	ライブラリーから削除	<p>保存したスピーカプリセットデータを削除します。</p> <p>初期値スピーカプリセットデータを削除することはできません。</p>
⑩	ユーザープリセットパスを開く	<p>作成したスピーカプリセットデータが保存されているフォルダーを表示します。</p>

設定画面

番号	名称	内容
⑪	[更新] ボタン	スピーカープリセット一覧を更新します。 [メニュー] → [オプション] → [ファイルパス] で設定したフォルダーにスピーカープリセットファイルを追加、もしくは削除した後に [更新] ボタンをクリックすると、スピーカープリセット一覧を更新することができます。
⑫	フィルター	スピーカープリセット一覧のフィルタリング表示を行います。 ブランド/ファミリー/モデルでフィルターをかけることができます。
⑬	ドラッグ&ドロップ可能なプリセットを表示	ドラッグ&ドロップ可能なチャンネルの情報が含まれているスピーカープリセットのみを表示します。
⑭	[クリア] ボタン	フィルターで設定したスピーカープリセット一覧の表示条件をクリアします。
⑮	スピーカープリセット一覧	<p>スピーカープリセットの一覧を表示します。 [ブランド] / [ファミリー] / [モデル] / [WaysN°] / [Waysタイプ] の各項目をクリックすることで、表示を並び替えることができます。</p>  <p>項目名の右側[▽]をクリックして、フィルタリング選択したスピーカープリセットのみを表示することもできます。</p>  <p> がついているプリセットは、 をドラッグして設定したい出力チャンネルの上でドロップし、[適用] ボタンをクリックすると、マトリクスのアサインやスピーカーイコライザーや出力イコライザーなどの設定データが自動で設定されます。</p>

プリセットロック画面

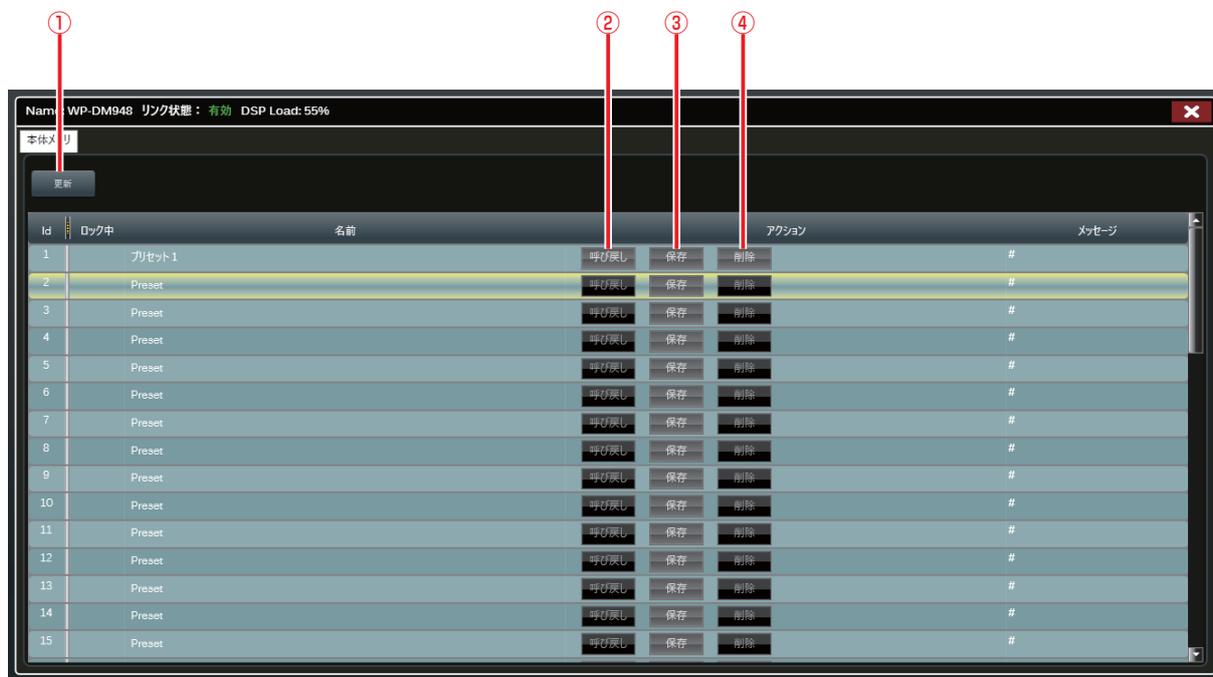
システム詳細画面の右上の [🔒] ボタンをクリックすると、プリセットロック画面を表示します。各出力チャンネルの設定部ごとにパラメーター調整をロックすることができます。



番号	名称	内容
①	ロック状態表示	出力チャンネルのパラメーター調整をロックしている場合に表示します。ロックを解除する場合は、パスワードを入力して [Apply] ボタンをクリックします。
②	[ロック/ロック解除選択] ボタン	パラメーター調整のロック/ロック解除を選択します。
③	パスワード	ロックまたは、ロック解除するためのパスワードを入力します。
④	[Apply] ボタン	[Apply] ボタンをクリックしたチャンネルの設定を適用します。

プリセット管理画面

システム詳細画面の右上の [📄] ボタンをクリックすると、プリセット管理画面を表示します。
 設定した内容を最大50個までプリセットとして本体に保存できます。
 保存したプリセットの読み込みによって、各部の設定を一括切替することができます。



番号	名称	内容
①	[更新] ボタン	プリセットリストの表示内容を最新の状態にします。
②	[呼び戻し] ボタン	[呼び戻し] ボタンをクリックしたプリセットに保存されている設定を読み込みます。
③	[保存] ボタン	[保存] ボタンをクリックしたプリセットに現在の設定内容を保存します。 [名前] に文字入力をしてから [保存] ボタンをクリックすると、プリセットに名前をつけて現在の設定を保存することができます。
④	[削除] ボタン	[削除] ボタンをクリックしたプリセットに保存されている設定内容を削除します。

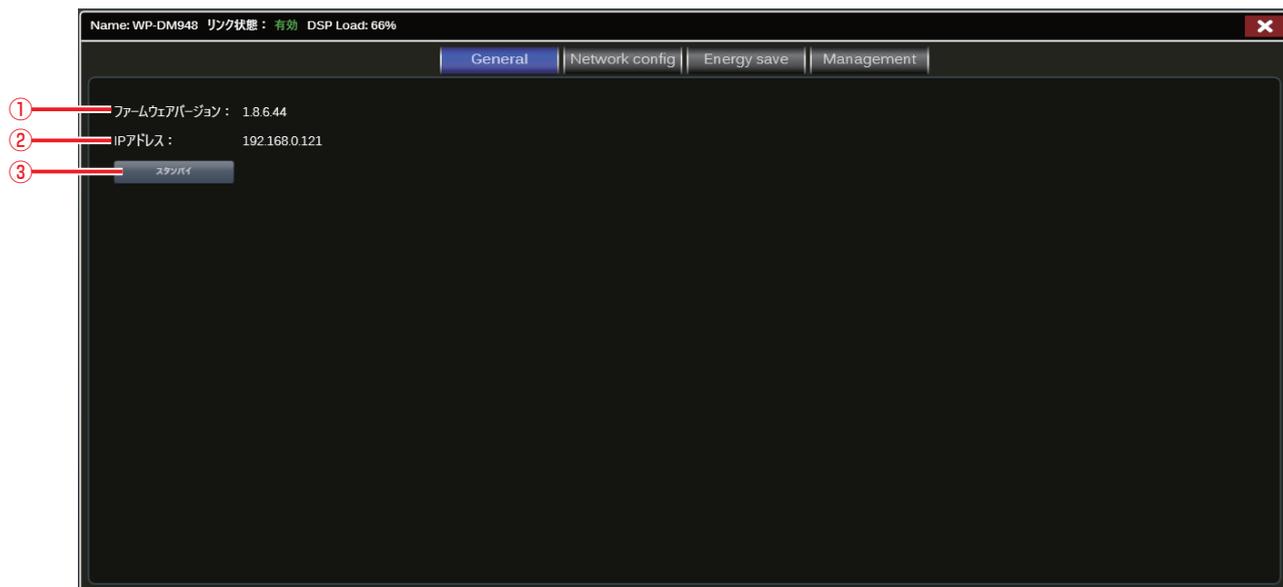
設定画面

その他設定画面

システム詳細画面の右上の [] ボタンをクリックすると、その他設定画面を表示します。
本体の機器情報確認、ネットワーク設定、省エネ設定、本体の全設定（プリセット含む）をファイル保存することができます。

◆ 一般タブ (General)

本体のスタンバイモードON/OFF切り替え、および機器情報の確認をすることができます。



番号	名称	内容
①	ファームウェアバージョン	本体のファームウェアバージョンを表示します。
②	IPアドレス	本体のIPアドレスが表示されます。
③	スタンバイ	本体のスタンバイモードを切り替えます。スタンバイモードに設定すると点灯(青色)します。

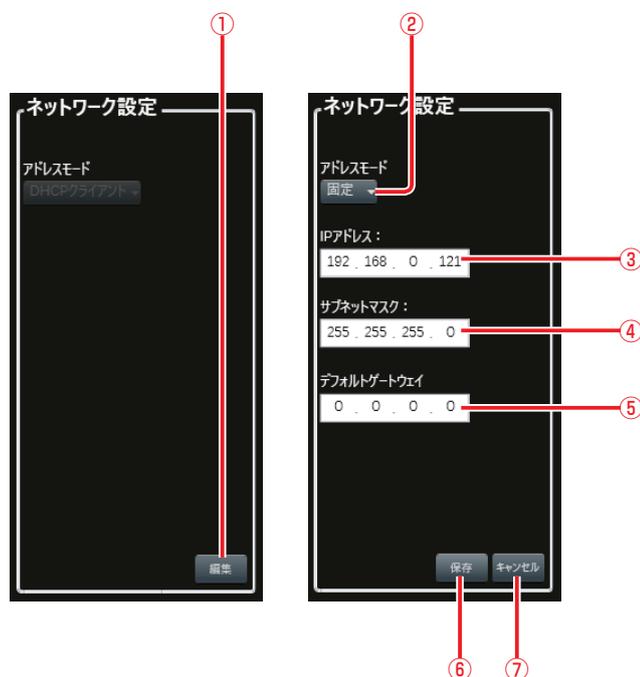


- スタンバイモードにすると、本体の全チャンネルの音声出力が停止します。
- スタンバイモード中も、本ソフトウェアを使用して本体の各種設定や操作をすることができます。

設定画面

◆ ネットワーク設定タブ (Network config)

本体のネットワーク設定を変更することができます。



番号	名称	内容
①	[編集] ボタン	本体のネットワーク設定を変更する場合にクリックします。
②	アドレスモード	本体のIPアドレス取得方法を設定します。[固定] と [DHCPクライアント] から選択します。 [DHCPクライアント] : DHCPサーバーからIPアドレスとサブネットマスクを取得します。 [固定] : 本体に任意のIPアドレスとサブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定することができます。本体のアドレスモードを [DHCPクライアント] から [固定] に変更した場合は、本ソフトウェアをインストールしたPCのネットワーク設定を、本体と同一のネットワークアドレス、同一のサブネットマスクになるように設定を変更してください。
③	IPアドレス	本体に設定する任意のIPアドレスを入力します。
④	サブネットマスク	本体に設定する任意のサブネットマスクを入力します。
⑤	デフォルトゲートウェイ	本体に設定する任意のゲートウェイを入力します。
⑥	[保存] ボタン	変更したネットワーク設定を保存します。
⑦	[キャンセル] ボタン	ネットワーク設定の変更をキャンセルします。

設定画面

◆ 省電カタブ (Energy save)

省電力モードに移行するスレッシュホールドの設定を変更することができます。

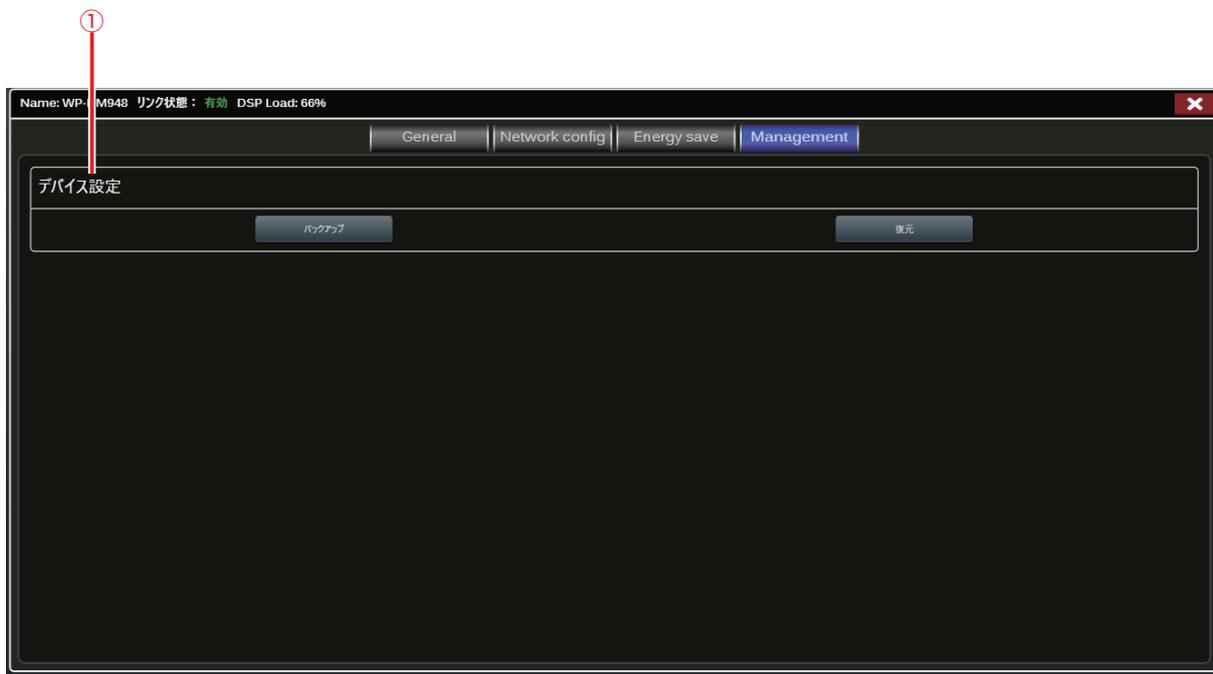


番号	名称	内容
①	スレッシュホールド	省電力モードに移行する出力信号のスレッシュホールドを設定します。
②	起動時間	出力信号の検知時間を設定します。 スレッシュホールドに設定した出力信号以下の状態が、全ての出力チャンネルで起動時間まで続くと省電力モードになります。
③	ハイパスフィルター	ハイパスフィルターのON（緑点灯）／OFF（消灯）を設定します。 ハイパスフィルターをONにすることで、入力信号検知中のハムノイズ等をカットすることができます。
④	周波数	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。 ハイパスフィルターがONの時のみ設定が可能です。
⑤	モジュールステータス	[有効] : 本体背面のディップスイッチの省電力モードを「ON」にすると点灯（緑色）します。（本体背面のディップスイッチについては、本体の取扱説明書をお読みください。） [作動中] : 本体が省電力モードに移行すると点灯（緑色）します。

設定画面

◆ 管理タブ (Management)

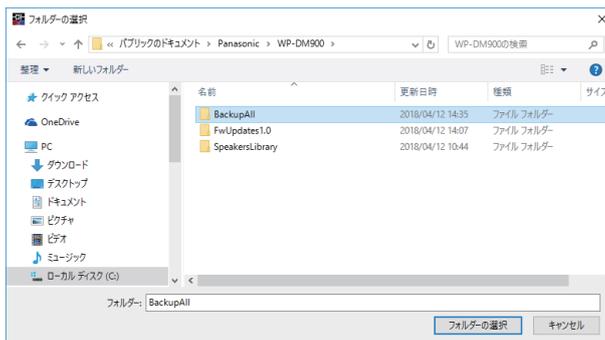
本体の全設定（プリセット含む）をファイルに保存したり、保存したファイルから本体に設定を読み込むことができます。



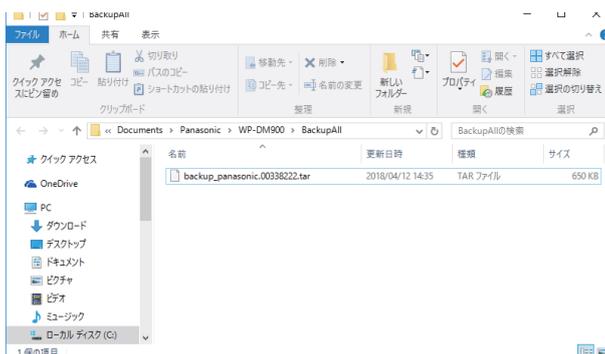
番号	名称	内容
①	デバイス設定	[バックアップ] : 本体の設定およびプリセットをファイルに保存します。 [復元] : 保存したバックアップファイルから保存時の状態に復元します。

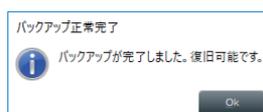
バックアップ操作手順

①. [バックアップ] ボタンをクリックして表示される画面で、バックアップファイルの保存先フォルダーを選択します。



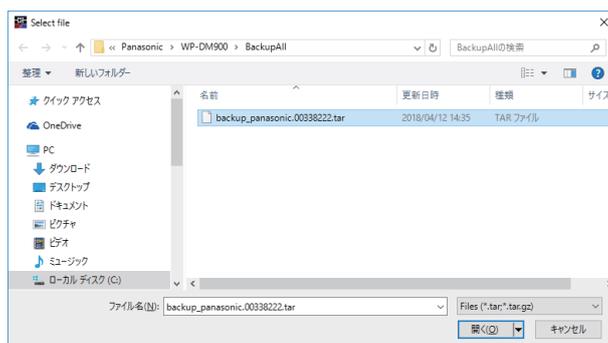
②. バックアップが完了すると、バックアップファイルの保存先フォルダーが表示され、バックアップ完了のメッセージが表示されます。



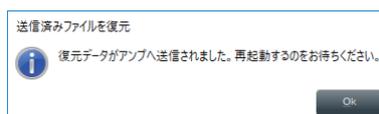


復元操作手順

①. [復元] ボタンをクリックして表示される画面で、復元するバックアップファイルを選択します。



②. 本体へのバックアップファイル転送完了のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



③. 本体でバックアップファイルからの復元が完了すると、デバイス設定画面での操作が可能になります。

システム管理

ファームウェア更新

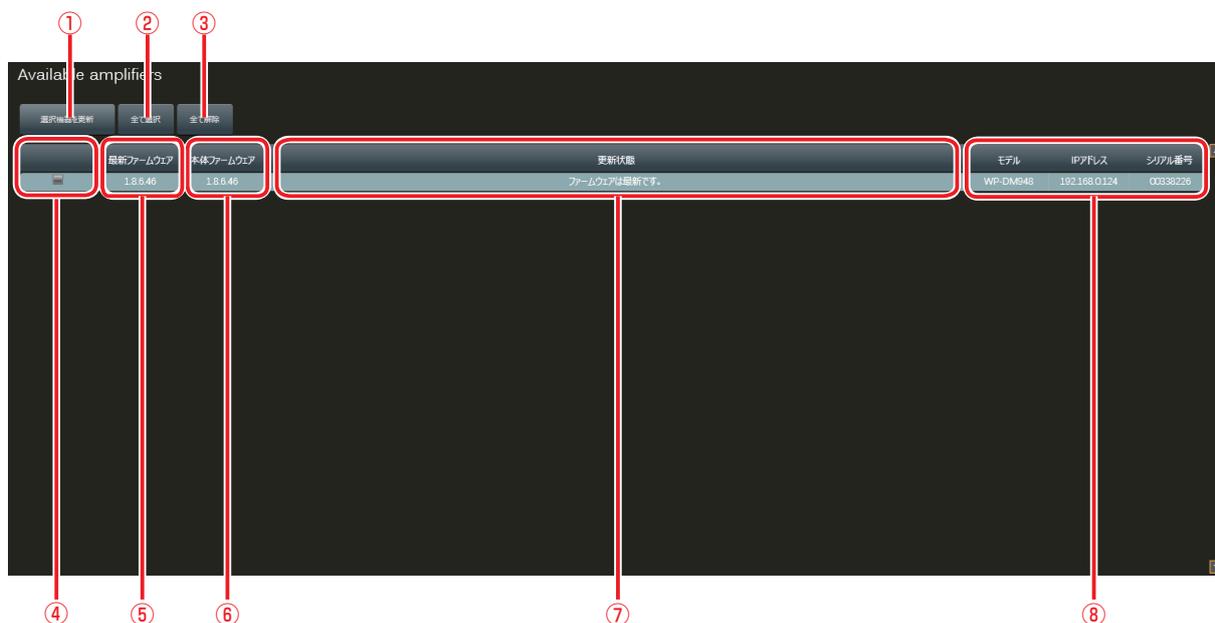
ファームウェア更新画面では、ネットワーク上に接続された複数の本体のファームウェアを素早く更新することができます。

最新のファームウェアは、PCの以下のフォルダーに保存します。

[C:\Users\Public\Documents\Panasonic\WP-DM900\FwUpdatesx.x]

ファームウェアの更新を行うには、ネットワーク上の本体を検索しワークスペース上に配置させたあとに、ファームウェア更新画面を開きます。ネットワーク上の本体の一覧、各ファームウェアのバージョン、およびPC上の最新ファームウェアのバージョンが表示されます。

最新バージョンと各本体のバージョンを比較し、更新必要な本体をチェック後、[選択機器を更新] ボタンをクリックすると更新を開始します。更新完了後、本体は自動的に再起動します。



番号	名称	内容
①	[選択機器更新] ボタン	一覧上のチェックされた本体のファームウェア更新を開始します。
②	[全て選択] ボタン	一覧上のすべての本体をチェックします。
③	[全て解除] ボタン	一覧上の本体のチェックをすべて解除します。
④	チェックボックス	ファームウェアを更新する本体を選択する場合にチェックします。
⑤	最新ファームウェア	PC上にある最新ファームウェアのバージョンを表示します。
⑥	本体のファームウェア	本体ファームウェアのバージョンを表示します。
⑦	更新状態	現在のファームウェアの状態や、ファームウェア更新中の状態を表示します。
⑧	モデル/IPアドレス/シリアル番号	本体のモデル名、IPアドレス、シリアル番号を表示します。



- ファームウェア更新中に本体が3回再起動します。
- 本体が再起動中は本ソフトウェアとアンプ本体の接続がオフライン状態になります。
- 本体に音声信号が入力されていない状態でファームウェア更新を行ってください。

イベント／イベントコンソール画面

イベント画面には、表示タブと設定タブがあります。

■ 表示

本体から送信された状態メッセージ、エラー／警告メッセージを記録し、アラート履歴として表示します。履歴には、発生日時、イベントID、発生機器、内容が表示されます。

[履歴クリア] ボタンをクリックすると、履歴を削除することができます。



■ 設定

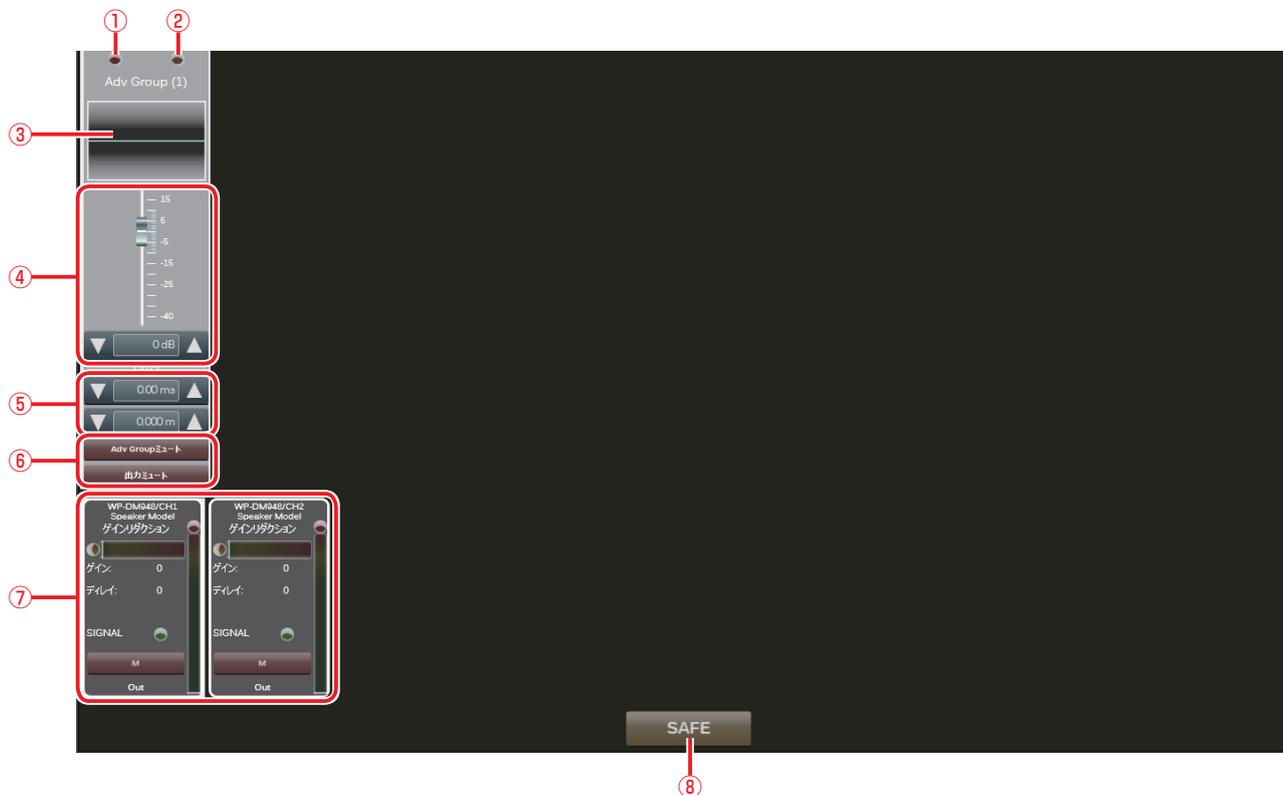
アラート履歴として記録するイベントを、イベントID／イベント名から選択します。選択されたイベントのみが履歴に記録されます。

■ イベントコンソール画面

イベントコンソール画面では、本体から受信したセッションイベントをリアルタイムに表示します。表示する内容を、「エラー」、「警告」、「情報」の各タイプから選択することが可能です。

グループオーバービュー

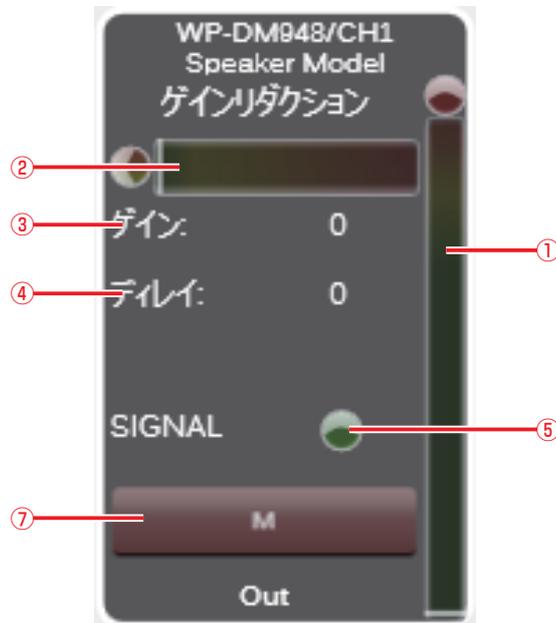
グループオーバービュー画面では、アドバンストグループの状態表示、およびレベル、ディレイ、ミュートなどの各種設定を行うことができます。



番号	名称	内容
①	クリップ状態	グループに設定されたチャンネルがクリップ状態になった場合、点灯（赤色）します。
②	ゲインリダクション	グループに設定されたチャンネルのゲインリダクションが動作中の場合、点灯（赤色）します。
③	グループイコライザー	入力イコライザーの設定状態を表示します。
④	グループレベル	フェーダーをドラッグしてグループのゲイン値を変更することができます。 [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。
⑤	グループディレイ	グループのディレイ時間の調整を行います。 秒、もしくはメーター（またはフィート）の単位で設定することができます。 秒設定とメーター設定は互いにリンクしています。 [▽] [△] ボタンのクリック、または [▽] [△] ボタン間の数値をクリックして直接数値を入力することでも変更できます。
⑥	[Adv.Groupミュート] ボタン ／ [グループミュート] ボタン	Adv.GroupミュートとグループミュートのON/OFFを切り替えます。 Adv.Groupミュートでは入力段のミュート状態を、グループミュートでは出力段のミュート状態を切り替えます ミュートがON状態の場合、点灯（赤色）します。
⑦	チャンネルコントロールパネル	「チャンネルコントロールパネル」（82ページ）をお読みください。
⑧	[SAFE] ボタン	ミュート、レベル調整、ディレイなどのすべての操作を無効にすることができます。

■ チャンネルコントロールパネル

アドバンスグループに設定されているチャンネルごとに、チャンネルコントロールパネルを表示します。



番号	名称	内容
①	クリップインジケータ付き 信号メーター	出力チャンネルの信号レベルを表示します。 チャンネル信号がクリップ状態の場合、インジケータが点灯（赤色）します。
②	ゲインリダクション	出力チャンネルのゲインリダクションレベルを表示します。 ゲインリダクションが0 dBを超えている場合、インジケータが点灯（赤色）します。
③	ゲイン	チャンネルゲイン値にグループゲイン値を加算した、トータルゲイン値を表示 します。
④	ディレイ	チャンネルディレイ値にグループディレイ値を加算した、トータルディレイ値 を表示します。
⑤	信号インジケータ	チャンネル信号がある場合、インジケータが点灯（緑色）します。
⑥	[出力ミュート] ボタン	チャンネル出力ミュートのON/OFFを切り替えます。 ミュートがON状態の場合、点灯（赤色）します。

プリセットマネージャー

本体の設定パラメーターをプリセットとして本体内部メモリーに保存することができます。
 プリセットマネージャー画面では、プリセットファイル (*.pam) の操作、管理を行うことができます。
 本画面から、本体へのプリセットファイルの転送を実行することができます。

■ スナップショット画面



番号	名称	内容
①	ロック状態表示	プリセットリスト上のロック状態表示/ロック状態非表示を切り替えます。
②	ロック解除パスワード/ ロックパスワード	ロック解除時/ロック時のパスワードの設定を行います。
③	プリセットリスト	PC上にある最大50個のプリセットファイルの一覧を表示します。
④	インポートリスト	プリセットリストをインポートします。 クリックすると [開く] ダイアログボックスを表示します。 インポートするプリセットリスト (*.plst) を選択し、[開く] をクリックします。
⑤	エクスポートリスト	プリセットリストをエクスポートします。 クリックすると [名前を付けて保存] ダイアログボックスを表示します。 ファイル名 (*.plst) を入力し、[保存] をクリックします。
⑥	リセットリスト	リスト上の全スロットを削除し、空の状態にします。
⑦	リセット	選択したプリセットスロットを削除し空の状態にします。
⑧	インポート	選択したスロットにプリセットファイルをインポートします。 クリックすると [開く] ダイアログボックスを表示します。 インポートするプリセットファイル (*.pam) を選択し、[開く] をクリックします。
⑨	エクスポート	選択したスロットのプリセットファイルをエクスポートします。 クリックすると [名前を付けて保存] ダイアログボックスを表示します。 ファイル名 (*.pam) を入力し、[保存] をクリックします。
⑩	全てをチェック	リスト上の全プリセットスロットの上書きをチェック状態にします。

システム管理

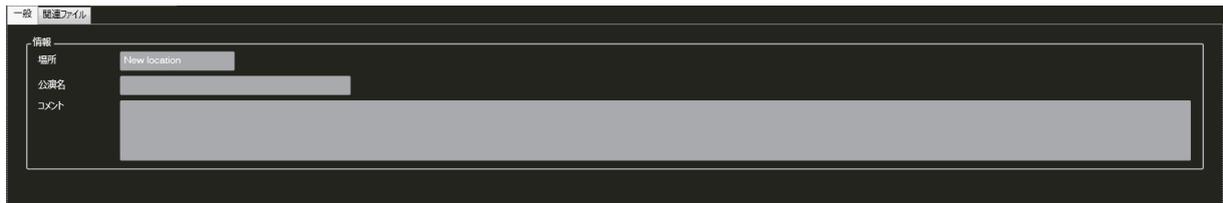
番号	名称	内容
⑪	全てのチェックを解除	リスト上の全プリセットスロットの上書きチェックを解除します。
⑫	全てに適用	プリセットファイルの全デバイスへの転送を開始します。
⑬	全て停止	プリセットファイルの全デバイスへの転送を停止します。
⑭	選択項目をチェック	リスト上で選択したプリセットスロットの上書きをチェック状態にします。
⑮	選択項目のチェック解除	リスト上で選択したプリセットスロットの上書きチェックを解除します。
⑯	利用可能なデバイス	<p>プリセットファイルのインポート対象となるデバイスの一覧を表示します。 [選択項目に適用] でプリセットファイルの転送を実行する場合、本一覧上で転送先となるデバイスを選択します。</p> <p>名前／モデル : デバイス名、モデル名 進捗 : プリセットデータ転送の進捗状況 (%) をプログレスバーで表示します。 アクション : プリセットデータ転送処理のステップ番号 (0-4) を表示します。 状態 : プリセットデータ転送の結果 (成功、または失敗) を表示します。 最終開始日時／最終終了日時 : 前回のプリセットデータ転送の開始／終了日時を表示します。 現在のアクション : 現在実行されている処理、エラー内容を表示します。</p>
⑰	選択項目に適用	プリセットファイルの選択されたデバイスへの転送を開始します。
⑱	選択項目を停止	プリセットファイルの選択されたデバイスへの転送を停止します。

システム情報

システム情報画面には、一般タブと関連ファイルタブがあります。

■ 一般

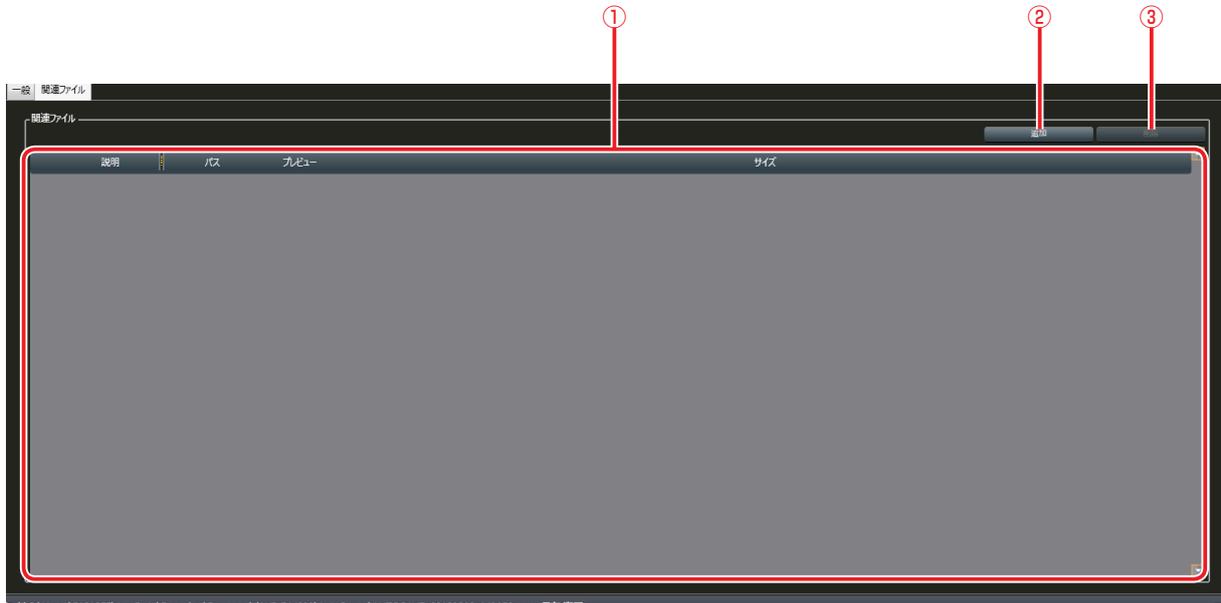
一般タブでは、場所、公演名、コメントを基本的情報として書き込むことができます。



The screenshot shows a web interface for system information. At the top, there are two tabs: '一般' (General) and '関連ファイル' (Related Files). The '一般' tab is active. On the left, there is a sidebar with the label '情報' (Information) and three items: '場所' (Location), '公演名' (Performance Name), and 'コメント' (Comments). The main content area contains three input fields. The first field, labeled '場所', contains the text 'New location'. The second field, labeled '公演名', is empty. The third field, labeled 'コメント', is a large text area and is also empty.

■ 関連ファイル

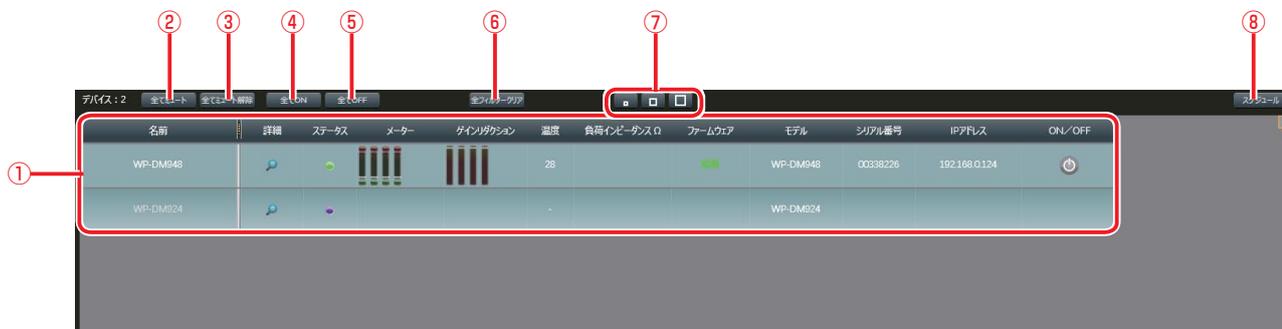
関連ファイルタブでは、ファイルショートカットの一覧を表示します。
操作マニュアルなどを設定し、簡単な操作でアクセスすることができます。



番号	名称	内容
①	関連ファイル一覧	説明：ファイルの説明文を表示します。初期値として「New associated file n」(nは追加された順番)が表示されます。テキスト部分をクリックして変更することが可能です。 パス：[追加] ボタンによるファイル追加時に [...] が表示されます。[...] ボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示され、追加するファイルを選択します。 選択後、ファイルパス名と [^] が表示されます。[^] ボタンをクリックすると設定したファイルを開くことができます。 プレビュー/サイズ ：ファイルタイプとサイズを表示します。
②	[追加] ボタン	一覧にファイルショートカットを追加します。
③	[削除] ボタン	一覧上で選択したファイルショートカットを削除します。

システムリスト

システムリスト画面では、本体のシステム状態を表形式で表示します。



番号	名称	内容
①	リスト	<p>以下の項目を表示します。 表示する項目はカスタマイズ画面（88ページ）で選択します。</p> <p>名前 : アンプ名称 詳細 : 該当のシステム詳細画面（49ページ）を表示 ステータス : 仮想、オンライン、オフラインなどのアンプ状態をインジケータで表示 ミュート : 各チャンネルのミュート状態表示 メーター : 各チャンネルの音声出力レベル表示 ゲインリダクション : ゲインリダクションレベル表示 温度 : アンプ内部温度表示 負荷インピーダンス : 各チャンネルの負荷インピーダンス測定結果の表示 ファームウェア : 最新バージョンか旧バージョンかを表示 モデル : モデル名 シリアル番号 : シリアル番号 入力処理 : 各入力チャンネルの信号入力状態をインジケータで表示 プリセット : アンプに読み込んでいるプリセット名を表示。 読み込んでいない場合、「N/D」を表示 IPアドレス : アンプのIPアドレス ON/OFF : 本体の電源ON/OFFの切り替え パワー : 本体の電源ON/OFF状態をインジケータで表示 MACアドレス : アンプのMACアドレス 電源 : AC電源に接続時、インジケータが点灯（緑） スケジュール : スケジュール機能（89ページ）で設定したスケジュール内容を表示</p>
②	全てをミュート	全デバイスの全チャンネルをミュートします。
③	全てのミュートを解除	全デバイスの全チャンネルのミュートを解除します。
④	全てオン	全デバイスの電源をオンにします。
⑤	全てオフ	全デバイスの電源をオフにします。
⑥	全フィルターをクリア	フィルター設定を解除し、無効な状態にします。
⑦	リストサイズ変更	リストの大きさを3段階で選択します。
⑧	スケジュール	スケジュール設定画面を表示します。 詳細は「スケジュール」（89ページ）をお読みください。

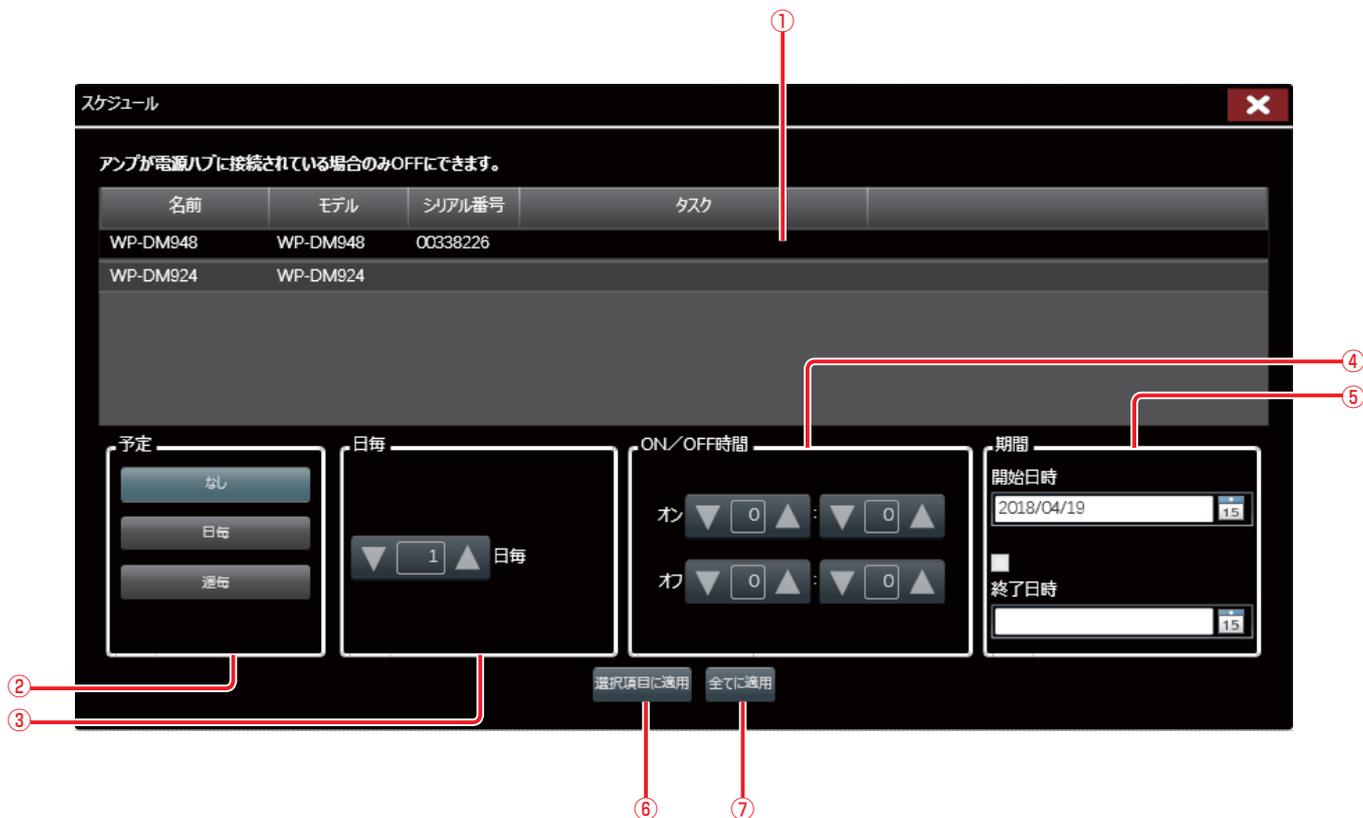
■ カスタマイズ画面

リストの最上行を右クリックすると、カスタマイズ画面が表示されます。
各項目をクリックすることにより、リスト上の表示／非表示を切り替えることができます。

- 名前
- 詳細
- ステータス
- ミュート
- メーター
- ゲインリダクション
- 温度
- 負荷インピーダンス Ω
- ファームウェア
- モデル
- シリアル番号
- プリセット
- IPアドレス
- ON/OFF
- MACアドレス
- スケジュール

■ スケジュール

本体の電源ON/OFFのスケジュール設定を行います。



番号	名称	内容
①	デバイスリスト	制御可能な本体を一覧表示します。
②	予定	スケジュールを、[なし]、[日毎]、[週毎] から選択します。 [なし] を選択すると、スケジュール設定操作が無効になります。
③	日毎/週毎	「予定」において [日毎] または [週毎] を選択すると設定内容が変更されます。 [日毎] の場合、日にち間隔を1～100日から設定します。 [週毎] の場合、曜日と、週間隔を1～52週から設定します。
④	ON/OFF時間	電源をオンする時間とオフする時間を設定します。
⑤	期間	スケジュールを実行する期間を設定します。 終了日時を有効にする場合には、終了日時上部のチェックボックスをクリックしてチェック状態にします。
⑥	選択項目に適用	設定したスケジュールをデバイスリスト上で選択したデバイスのみ適用します。
⑦	すべてに適用	設定したスケジュールをリスト上の全デバイスに適用します。

付録

イベントについて

ここでは、イベント画面に表示されるイベントについて説明します。

システムに異常が発生した場合は、イベント画面を表示し、「イベント一覧」にあるイベントの有無を確認してください。
イベント/イベントコンソールの操作については「イベント/イベントコンソール画面」(80ページ)をお読みください。

■ イベント一覧

イベントID	イベントメッセージ	説明
1000	アプリケーション開始	本ソフトウェアを起動
	アプリケーション停止	本ソフトウェアを終了
3001	通信リンクオンライン	本体間のリンクがオンライン状態に移行
	通信リンクオフライン	本体間のリンクがオフライン状態に移行
4001	高温	出力チャンネルのオーバーヒートによる保護発生
	正常温度	出力チャンネルが正常温度に戻る
6001	保護されているチャンネル	負荷短絡、または他の原因による出力チャンネルの保護発生
	保護から復帰したチャンネル	出力チャンネルの保護状態が解除
7001	モニター出力パイロットトーン未検出	パイロットトーン未検出アラーム発生
	モニター出力パイロットトーン検出	パイロットトーン未検出アラーム終了
	モニター出力出力負荷モニターアラーム発生	出力負荷モニターアラーム発生
	モニター出力出力負荷モニター異常なし	出力負荷モニターアラーム終了
8001	ハードウェア異常	ハードウェアの異常発生
	ハードウェア正常起動	ハードウェアが正常状態に戻る
	チャンネル [ch番号] でハードウェア異常	チャンネルでハードウェアの異常発生
	[ch番号] ハードウェア正常起動	ハードウェアが正常状態に戻る

アクセス制限について

本ソフトウェアでは、ログイン時のアカウントによって操作できる範囲を制限する、アクセス制限の設定を行うことができます。アカウントには、「システム管理者」「ゲスト」「エンジニア」があります。

各アカウントで操作できる範囲は以下のとおりです。

■ アクセス制限一覧

メインメニュー/画面/タブ	機能/タブ	アクセスレベル			
		システム管理者	ゲスト	エンジニア	
オプションメニュー	一般	○	○	○	
	コミュニケーションマネージャー	○	○	○	
	ファイルパス	○	○	○	
	表示	○	○	○	
	アクセスマネージャー	○			
表示メニュー	表示/非表示メニュー	ワークスペース	○	○	○
		モデルリスト	○	○	○
		リモートエンティティ	○	○	○
		ファームウェア更新	○	○	○
		イベント	○	○	○
		イベントコンソール	○	○	○
		グループオーバービュー	○		○
		プリセットマネージャー	○		
		システム情報	○		○
		システムリスト	○	○	○
		画面	ピン留め	○	○
	ピン留め解除		○	○	○
	全てのドキュメント画面を閉じる		○	○	○
	画面切り替え		○	○	○
	詳細	全て表示	○	○	○
		全て非表示	○	○	○

付録

メインメニュー/画面/タブ		機能/タブ	アクセスレベル			
			システム 管理者	ゲスト	エンジニア	
ワークスペース アップ - 右クリック (オンライン状態)		ロック	○	○	○	
	アライメント	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	均等配置	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	順序	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
		不点減/点減	○	○	○	
	デバイス	リセット		○	○	○
		コピー		○	○	○
		貼り付け		○		
		ミュート		○		
		ミュート解除		○		
	プリセット	エクスポート		○	○	○
		インポート		○		
		保存		○		
		呼び戻し		○		
ワークスペース アップ - 右クリック (オフライン状態)		ロック	○	○	○	
	アライメント	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	均等配置	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	順序	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
		不点減/点減				
	デバイス	リセット		○	○	○
		コピー		○	○	○
		貼り付け		○		
		ミュート		○		
		ミュート解除		○		
	プリセット	エクスポート		○	○	○
		インポート		○		
		保存				
		呼び戻し				

付録

メインメニュー/画面/タブ		機能/タブ	アクセスレベル			
			システム 管理者	ゲスト	エンジニア	
ワークスペース アドバンスドグループ - 右クリック		ロック	○	○	○	
	アライメント	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	均等配置	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	順序	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
		不点滅/点滅				
	デバイス	リセット		○	○	○
		コピー		○	○	○
		貼り付け		○		
		ミュート		○		
		ミュート解除		○		
	プリセット	エクスポート		○	○	○
		インポート		○		
		保存				
		呼び戻し				
		極性反転		○	○	○
		SAFE		○	○	○
ワークスペース ベーシックグループ - 右クリック		ロック	○	○	○	
	アライメント	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	均等配置	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	順序	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
		不点滅/点滅				
	デバイス	リセット		○	○	○
		コピー		○	○	○
		貼り付け		○		
		ミュート		○		
		ミュート解除		○		
	プリセット	エクスポート		○	○	○
		インポート		○		
		保存				
		呼び戻し				
		極性反転				
		SAFE		○	○	○

付録

メインメニュー/画面/タブ		機能/タブ	アクセスレベル			
			システム 管理者	ゲスト	エンジニア	
ワークスペース ラック - 右クリック		ロック	○	○	○	
	アライメント	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	均等配置	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
	順序	(全てのサブコマンド)	○	○	○	
		不点減/点減				
	デバイス	リセット		○	○	○
		コピー		○	○	○
		貼り付け		○		
		ミュート		○		
		ミュート解除		○		
	プリセット	エクスポート		○	○	○
		インポート		○		
		保存				
		呼び戻し				
ワークスペース アンプ操作	アンプ名編集		○	○	○	
	ダブルクリック (システム詳細画面表示)		○		○	
ワークスペース アドバンスグループ操作	グループ名編集		○	○	○	
	[詳細] ボタンクリック (入力EQ画面表示)		○		○	
	ゲイン		○	○	○	
	ミュート		○	○	○	
	割り当て		○	○	○	
ワークスペース ベーシックグループ操作	グループ名編集		○	○	○	
	[詳細] ボタンクリック		○		○	
	ゲイン		○	○	○	
	ミュート		○	○	○	
	割り当て		○	○	○	
ワークスペース ラック操作	ラック名編集		○	○	○	
	ダブルクリック (ラック制御パネル表示)		○		○	

付録

メインメニュー/画面/タブ	機能/タブ	アクセスレベル		
		システム 管理者	ゲスト	エンジニア
アンプ システム詳細画面	システム詳細画面へのアクセス	○		○
	アドバンスEQ - レイヤー読み込み	○		
	アドバンスEQ - レイヤー貼り付け	○		
	スピーカーEQ - レイヤー読み込み	○		
	スピーカーEQ - レイヤー貼り付け	○		
	Ways EQ - レイヤー読み込み	○		
	Ways EQ - レイヤー貼り付け	○		
	[スピーカー設定] ボタン	○		
	[プリセットロック] ボタン	○		○
	[スナップショット] ボタン	○		
[設定] ボタン	○		○	
アドバンスグループ 入力EQ画面	入力EQ画面へのアクセス	○		○
	入力EQフィルター読み込み	○		
	入力EQフィルター貼り付け	○		
ベーシックグループ 詳細画面	詳細画面へのアクセス	○		○
ラック ラック制御パネル	ラック制御パネルへのアクセス	○		○
イベント画面	イベントへのアクセス	○	○	○
	通知タブへのアクセス	○		
グループオーバービュー画面	グループオーバービュー画面へのアクセス	○		○
プリセットマネージャー画面	プリセットマネージャー画面へのアクセス	○		
システム情報画面	システム情報画面へのアクセス	○		○
システムリスト画面	全てをミュート	○		
	全てのミュートを解除	○		
	全てオン	○		
	全てオフ	○		
	スケジュール	○	○	○
	サイズ変更	○		○
	本体電源オン/オフ (リスト内)	○		
	ミュート (リスト内)	○		

○：操作可能

モニター端子アラーム出力について

本体でシステム的なエラーが発生した場合や、診断機能でアラーム出力を設定した場合に、本体のモニター端子（GPO端子：General Purpose Output）からアラームを出力することができます。

モニター端子は出力チャンネルごとに、2種類の端子で構成され、1つはNC（Normally Close）端子で、クローズ状態でアラーム状態を表し、1つはNO（Normally Open）端子で、オープン状態でアラーム状態を表します。

システムエラー発生時は、全4チャンネルのモニター端子に同時にアラームを出力します。診断機能においては、アラームを設定したチャンネルに対応するモニター端子にアラームを出力します。

アラームを出力する条件は以下のとおりです。

■ アラーム出力一覧

モニター端子にアラーム出力する条件	システム/チャンネル
ファンエラー発生	システム
電源オーバーヒート発生し保護状態	システム
電源電圧低下/システムシャットダウン	システム
アンプスタンバイ状態	システム
ハードウェア故障発生	システム
出力パイロットトーン検知が範囲外（67ページ）	チャンネル
出力負荷モニターが範囲外（67ページ）	チャンネル
出力負荷検知が範囲外（68ページ）	チャンネル
出力チャンネルが保護状態（負荷短絡）	チャンネル
出力チャンネル高温リミッター発生/保護状態	チャンネル
出力チャンネルが保護状態（ハードウェア故障）	チャンネル
入力パイロットローンが未検知（51ページ）	チャンネル

フィルター設定について

入カイコライザー画面で設定する各フィルターのスロープはオクターブ値で設定します。
オクターブ値をQ値に換算した値は以下の通りです。

■ オクターブ値⇒Q値 換算表

スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値
0.10	14.42	0.61	2.35	1.12	1.26	1.63	0.84
0.11	13.11	0.62	2.31	1.13	1.24	1.64	0.83
0.12	12.01	0.63	2.27	1.14	1.23	1.65	0.83
0.13	11.09	0.64	2.24	1.15	1.22	1.66	0.82
0.14	10.30	0.65	2.20	1.16	1.21	1.67	0.82
0.15	9.61	0.66	2.17	1.17	1.20	1.68	0.81
0.16	9.61	0.67	2.13	1.18	1.19	1.69	0.81
0.17	8.48	0.68	2.10	1.19	1.18	1.70	0.80
0.18	8.01	0.69	2.07	1.20	1.17	1.71	0.80
0.19	7.59	0.70	2.04	1.21	1.16	1.72	0.79
0.20	7.21	0.71	2.01	1.22	1.15	1.73	0.79
0.21	6.86	0.72	1.98	1.23	1.14	1.74	0.78
0.22	6.55	0.73	1.96	1.24	1.13	1.75	0.78
0.23	6.27	0.74	1.93	1.25	1.12	1.76	0.77
0.24	6.00	0.75	1.90	1.26	1.11	1.77	0.77
0.25	5.76	0.76	1.88	1.27	1.10	1.78	0.76
0.26	5.54	0.77	1.85	1.28	1.09	1.79	0.76
0.27	5.34	0.78	1.83	1.29	1.08	1.80	0.75
0.28	5.14	0.79	1.80	1.30	1.07	1.81	0.75
0.29	4.97	0.80	1.78	1.31	1.06	1.82	0.74
0.30	4.80	0.81	1.76	1.32	1.06	1.83	0.74
0.31	4.68	0.82	1.74	1.33	1.05	1.84	0.73
0.32	4.50	0.83	1.71	1.34	1.04	1.85	0.73
0.33	4.36	0.84	1.69	1.35	1.03	1.86	0.72
0.34	4.23	0.85	1.67	1.36	1.02	1.87	0.72
0.35	4.11	0.86	1.65	1.37	1.01	1.88	0.72
0.36	4.00	0.87	1.63	1.38	1.01	1.89	0.71
0.37	3.89	0.88	1.61	1.39	1.00	1.90	0.71
0.38	3.79	0.89	1.60	1.40	0.99	1.91	0.70
0.39	3.69	0.90	1.58	1.41	0.98	1.92	0.70
0.40	3.60	0.91	1.56	1.42	0.98	1.93	0.69
0.41	3.51	0.92	1.54	1.43	0.97	1.94	0.69
0.42	3.42	0.93	1.52	1.44	0.96	1.95	0.69
0.43	3.34	0.94	1.51	1.45	0.95	1.96	0.68
0.44	3.27	0.95	1.49	1.46	0.95	1.97	0.68
0.45	3.19	0.96	1.48	1.47	0.94	1.98	0.67
0.46	3.12	0.97	1.46	1.48	0.93	1.99	0.67
0.47	3.06	0.98	1.44	1.49	0.93	2.00	0.67
0.48	2.99	0.99	1.43	1.50	0.92	2.01	0.66
0.49	2.93	1.00	1.41	1.51	0.91	2.02	0.66
0.50	2.87	1.01	1.40	1.52	0.91	2.03	0.66
0.51	2.81	1.02	1.39	1.53	0.90	2.04	0.65
0.52	2.76	1.03	1.37	1.54	0.89	2.05	0.65
0.53	2.71	1.04	1.36	1.55	0.89	2.06	0.64
0.54	2.66	1.05	1.34	1.56	0.88	2.07	0.64
0.55	2.61	1.06	1.33	1.57	0.88	2.08	0.64
0.56	2.56	1.07	1.32	1.58	0.87	2.09	0.63
0.57	2.51	1.08	1.31	1.59	0.86	2.10	0.63
0.58	2.47	1.09	1.29	1.60	0.86	2.11	0.63
0.59	2.43	1.10	1.28	1.61	0.85	2.12	0.62
0.60	2.39	1.11	1.27	1.62	0.85	2.13	0.62

スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値
2.14	0.62	2.73	0.46	3.32	0.35	3.91	0.28
2.15	0.61	2.74	0.45	3.33	0.35	3.92	0.28
2.16	0.61	2.75	0.45	3.34	0.35	3.93	0.27
2.17	0.61	2.76	0.45	3.35	0.35	3.94	0.27
2.18	0.60	2.77	0.45	3.36	0.35	3.95	0.27
2.19	0.60	2.78	0.45	3.37	0.34	3.96	0.27
2.20	0.60	2.79	0.44	3.38	0.34	3.97	0.27
2.21	0.59	2.80	0.44	3.39	0.34	3.98	0.27
2.22	0.59	2.81	0.44	3.40	0.34	3.99	0.27
2.23	0.59	2.82	0.44	3.41	0.34	4.00	0.27
2.24	0.58	2.83	0.44	3.42	0.34	4.01	0.27
2.25	0.58	2.84	0.43	3.43	0.34	4.02	0.26
2.26	0.58	2.85	0.43	3.44	0.33	4.03	0.26
2.27	0.57	2.86	0.43	3.45	0.33	4.04	0.26
2.28	0.57	2.87	0.43	3.46	0.33	4.05	0.26
2.29	0.57	2.88	0.43	3.47	0.33	4.06	0.26
2.30	0.57	2.89	0.42	3.48	0.33	4.07	0.26
2.31	0.56	2.90	0.42	3.49	0.33	4.08	0.26
2.32	0.56	2.91	0.42	3.50	0.33	4.09	0.26
2.33	0.56	2.92	0.42	3.51	0.32	4.10	0.26
2.34	0.55	2.93	0.42	3.52	0.32	4.11	0.26
2.35	0.55	2.94	0.42	3.53	0.32	4.12	0.25
2.36	0.55	2.95	0.41	3.54	0.32	4.13	0.25
2.37	0.55	2.96	0.41	3.55	0.32	4.14	0.25
2.38	0.54	2.97	0.41	3.56	0.32	4.15	0.25
2.39	0.54	2.98	0.41	3.57	0.32	4.16	0.25
2.40	0.54	2.99	0.41	3.58	0.32	4.17	0.25
2.41	0.53	3.00	0.40	3.59	0.31	4.18	0.25
2.42	0.53	3.01	0.40	3.60	0.31	4.19	0.25
2.43	0.53	3.02	0.40	3.61	0.31	4.20	0.25
2.44	0.53	3.03	0.40	3.62	0.31	4.21	0.25
2.45	0.52	3.04	0.40	3.63	0.31	4.22	0.24
2.46	0.52	3.05	0.40	3.64	0.31	4.23	0.24
2.47	0.52	3.06	0.39	3.65	0.31	4.24	0.24
2.48	0.52	3.07	0.39	3.66	0.31	4.25	0.24
2.49	0.51	3.08	0.39	3.67	0.30	4.26	0.24
2.50	0.51	3.09	0.39	3.68	0.30	4.27	0.24
2.51	0.51	3.10	0.39	3.69	0.30	4.28	0.24
2.52	0.51	3.11	0.38	3.70	0.30	4.29	0.24
2.53	0.50	3.12	0.38	3.71	0.30	4.30	0.24
2.54	0.50	3.13	0.38	3.72	0.30	4.31	0.24
2.55	0.50	3.14	0.38	3.73	0.30	4.32	0.24
2.56	0.50	3.15	0.38	3.74	0.30	4.33	0.23
2.57	0.49	3.16	0.38	3.75	0.29	4.34	0.23
2.58	0.49	3.17	0.37	3.76	0.29	4.35	0.23
2.59	0.49	3.18	0.37	3.77	0.29	4.36	0.23
2.60	0.49	3.19	0.37	3.78	0.29	4.37	0.23
2.61	0.48	3.20	0.37	3.79	0.29	4.38	0.23
2.62	0.48	3.21	0.37	3.80	0.29	4.39	0.23
2.63	0.48	3.22	0.37	3.81	0.29	4.40	0.23
2.64	0.48	3.23	0.37	3.82	0.29	4.41	0.23
2.65	0.47	3.24	0.36	3.83	0.29	4.42	0.23
2.66	0.47	3.25	0.36	3.84	0.28	4.43	0.23
2.67	0.47	3.26	0.36	3.85	0.28	4.44	0.23
2.68	0.47	3.27	0.36	3.86	0.28	4.45	0.22
2.69	0.47	3.28	0.36	3.87	0.28	4.46	0.22
2.70	0.46	3.29	0.36	3.88	0.28	4.47	0.22
2.71	0.46	3.30	0.35	3.89	0.28	4.48	0.22
2.72	0.46	3.31	0.35	3.90	0.28	4.49	0.22

スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値
4.50	0.22	5.09	0.18	5.68	0.14	6.27	0.12
4.51	0.22	5.10	0.18	5.69	0.14	6.28	0.11
4.52	0.22	5.11	0.18	5.70	0.14	6.29	0.11
4.53	0.22	5.12	0.17	5.71	0.14	6.30	0.11
4.54	0.22	5.13	0.17	5.72	0.14	6.31	0.11
4.55	0.22	5.14	0.17	5.73	0.14	6.32	0.11
4.56	0.22	5.15	0.17	5.74	0.14	6.33	0.11
4.57	0.21	5.16	0.17	5.75	0.14	6.34	0.11
4.58	0.21	5.17	0.17	5.76	0.14	6.35	0.11
4.59	0.21	5.18	0.17	5.77	0.14	6.36	0.11
4.60	0.21	5.19	0.17	5.78	0.14	6.37	0.11
4.61	0.21	5.20	0.17	5.79	0.14	6.38	0.11
4.62	0.21	5.21	0.17	5.80	0.14	6.39	0.11
4.63	0.21	5.22	0.17	5.81	0.14	6.40	0.11
4.64	0.21	5.23	0.17	5.82	0.14	6.41	0.11
4.65	0.21	5.24	0.17	5.83	0.13	6.42	0.11
4.66	0.21	5.25	0.17	5.84	0.13	6.43	0.11
4.67	0.21	5.26	0.17	5.85	0.13	6.44	0.11
4.68	0.21	5.27	0.17	5.86	0.13	6.45	0.11
4.69	0.20	5.28	0.16	5.87	0.13	6.46	0.11
4.70	0.20	5.29	0.16	5.88	0.13	6.47	0.11
4.71	0.20	5.30	0.16	5.89	0.13	6.48	0.11
4.72	0.20	5.31	0.16	5.90	0.13	6.49	0.11
4.73	0.20	5.32	0.16	5.91	0.13	6.50	0.11
4.74	0.20	5.33	0.16	5.92	0.13	6.51	0.11
4.75	0.20	5.34	0.16	5.93	0.13	6.52	0.11
4.76	0.20	5.35	0.16	5.94	0.13	6.53	0.11
4.77	0.20	5.36	0.16	5.95	0.13	6.54	0.10
4.78	0.20	5.37	0.16	5.96	0.13	6.55	0.10
4.79	0.20	5.38	0.16	5.97	0.13	6.56	0.10
4.80	0.20	5.39	0.16	5.98	0.13	6.57	0.10
4.81	0.20	5.40	0.16	5.99	0.13	6.58	0.10
4.82	0.20	5.41	0.16	6.00	0.13	6.59	0.10
4.83	0.19	5.42	0.16	6.01	0.13	6.60	0.10
4.84	0.19	5.43	0.16	6.02	0.13	6.61	0.10
4.85	0.19	5.44	0.16	6.03	0.13	6.62	0.10
4.86	0.19	5.45	0.15	6.04	0.13	6.63	0.10
4.87	0.19	5.46	0.15	6.05	0.12	6.64	0.10
4.88	0.19	5.47	0.15	6.06	0.12	6.65	0.10
4.89	0.19	5.48	0.15	6.07	0.12	6.66	0.10
4.90	0.19	5.49	0.15	6.08	0.12	6.67	0.10
4.91	0.19	5.50	0.15	6.09	0.12	6.68	0.10
4.92	0.19	5.51	0.15	6.10	0.12	6.69	0.10
4.93	0.19	5.52	0.15	6.11	0.12	6.70	0.10
4.94	0.19	5.53	0.15	6.12	0.12	6.71	0.10
4.95	0.19	5.54	0.15	6.13	0.12	6.72	0.10
4.96	0.19	5.55	0.15	6.14	0.12	6.73	0.10
4.97	0.18	5.56	0.15	6.15	0.12	6.74	0.10
4.98	0.18	5.57	0.15	6.16	0.12	6.75	0.10
4.99	0.18	5.58	0.15	6.17	0.12	6.76	0.10
5.00	0.18	5.59	0.15	6.18	0.12	6.77	0.10
5.01	0.18	5.60	0.15	6.19	0.12	6.78	0.10
5.02	0.18	5.61	0.15	6.20	0.12	6.79	0.10
5.03	0.18	5.62	0.15	6.21	0.12	6.80	0.10
5.04	0.18	5.63	0.15	6.22	0.12	6.81	0.10
5.05	0.18	5.64	0.14	6.23	0.12	6.82	0.09
5.06	0.18	5.65	0.14	6.24	0.12	6.83	0.09
5.07	0.18	5.66	0.14	6.25	0.12	6.84	0.09
5.08	0.18	5.67	0.14	6.26	0.12	6.85	0.09

付録

スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値
6.86	0.09	7.45	0.08	8.04	0.06	8.63	0.05
6.87	0.09	7.46	0.08	8.05	0.06	8.64	0.05
6.88	0.09	7.47	0.08	8.06	0.06	8.65	0.05
6.89	0.09	7.48	0.08	8.07	0.06	8.66	0.05
6.90	0.09	7.49	0.08	8.08	0.06	8.67	0.05
6.91	0.09	7.50	0.07	8.09	0.06	8.68	0.05
6.92	0.09	7.51	0.07	8.10	0.06	8.69	0.05
6.93	0.09	7.52	0.07	8.11	0.06	8.70	0.05
6.94	0.09	7.53	0.07	8.12	0.06	8.71	0.05
6.95	0.09	7.54	0.07	8.13	0.06	8.72	0.05
6.96	0.09	7.55	0.07	8.14	0.06	8.73	0.05
6.97	0.09	7.56	0.07	8.15	0.06	8.74	0.05
6.98	0.09	7.57	0.07	8.16	0.06	8.75	0.05
6.99	0.09	7.58	0.07	8.17	0.06	8.76	0.05
7.00	0.09	7.59	0.07	8.18	0.06	8.77	0.05
7.01	0.09	7.60	0.07	8.19	0.06	8.78	0.05
7.02	0.09	7.61	0.07	8.20	0.06	8.79	0.05
7.03	0.09	7.62	0.07	8.21	0.06	8.80	0.05
7.04	0.09	7.63	0.07	8.22	0.06	8.81	0.05
7.05	0.09	7.64	0.07	8.23	0.06	8.82	0.05
7.06	0.09	7.65	0.07	8.24	0.06	8.83	0.05
7.07	0.09	7.66	0.07	8.25	0.06	8.84	0.05
7.08	0.09	7.67	0.07	8.26	0.06	8.85	0.05
7.09	0.09	7.68	0.07	8.27	0.06	8.86	0.05
7.10	0.09	7.69	0.07	8.28	0.06	8.87	0.05
7.11	0.09	7.70	0.07	8.29	0.06	8.88	0.05
7.12	0.09	7.71	0.07	8.30	0.06	8.89	0.05
7.13	0.09	7.72	0.07	8.31	0.06	8.90	0.05
7.14	0.08	7.73	0.07	8.32	0.06	8.91	0.05
7.15	0.08	7.74	0.07	8.33	0.06	8.92	0.05
7.16	0.08	7.75	0.07	8.34	0.06	8.93	0.05
7.17	0.08	7.76	0.07	8.35	0.06	8.94	0.05
7.18	0.08	7.77	0.07	8.36	0.06	8.95	0.05
7.19	0.08	7.78	0.07	8.37	0.06	8.96	0.04
7.20	0.08	7.79	0.07	8.38	0.05	8.97	0.04
7.21	0.08	7.80	0.07	8.39	0.05	8.98	0.04
7.22	0.08	7.81	0.07	8.40	0.05	8.99	0.04
7.23	0.08	7.82	0.07	8.41	0.05	9.00	0.04
7.24	0.08	7.83	0.07	8.42	0.05	9.01	0.04
7.25	0.08	7.84	0.07	8.43	0.05	9.02	0.04
7.26	0.08	7.85	0.07	8.44	0.05	9.03	0.04
7.27	0.08	7.86	0.07	8.45	0.05	9.04	0.04
7.28	0.08	7.87	0.07	8.46	0.05	9.05	0.04
7.29	0.08	7.88	0.07	8.47	0.05	9.06	0.04
7.30	0.08	7.89	0.07	8.48	0.05	9.07	0.04
7.31	0.08	7.90	0.06	8.49	0.05	9.08	0.04
7.32	0.08	7.91	0.06	8.50	0.05	9.09	0.04
7.33	0.08	7.92	0.06	8.51	0.05	9.10	0.04
7.34	0.08	7.93	0.06	8.52	0.05	9.11	0.04
7.35	0.08	7.94	0.06	8.53	0.05	9.12	0.04
7.36	0.08	7.95	0.06	8.54	0.05	9.13	0.04
7.37	0.08	7.96	0.06	8.55	0.05	9.14	0.04
7.38	0.08	7.97	0.06	8.56	0.05	9.15	0.04
7.39	0.08	7.98	0.06	8.57	0.05	9.16	0.04
7.40	0.08	7.99	0.06	8.58	0.05	9.17	0.04
7.41	0.08	8.00	0.06	8.59	0.05	9.18	0.04
7.42	0.08	8.01	0.06	8.60	0.05	9.19	0.04
7.43	0.08	8.02	0.06	8.61	0.05	9.20	0.04
7.44	0.08	8.03	0.06	8.62	0.05	9.21	0.04

付録

スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値	スロープoct値	Q値
9.22	0.04	9.42	0.04	9.62	0.04	9.82	0.03
9.23	0.04	9.43	0.04	9.63	0.04	9.83	0.03
9.24	0.04	9.44	0.04	9.64	0.04	9.84	0.03
9.25	0.04	9.45	0.04	9.65	0.04	9.85	0.03
9.26	0.04	9.46	0.04	9.66	0.04	9.86	0.03
9.27	0.04	9.47	0.04	9.67	0.04	9.87	0.03
9.28	0.04	9.48	0.04	9.68	0.03	9.88	0.03
9.28	0.04	9.49	0.04	9.69	0.03	9.89	0.03
9.30	0.04	9.50	0.04	9.70	0.03	9.90	0.03
9.31	0.04	9.51	0.04	9.71	0.03	9.91	0.03
9.32	0.04	9.52	0.04	9.72	0.03	9.92	0.03
9.33	0.04	9.53	0.04	9.73	0.03	9.93	0.03
9.34	0.04	9.54	0.04	9.74	0.03	9.94	0.03
9.35	0.04	9.55	0.04	9.75	0.03	9.95	0.03
9.36	0.04	9.56	0.04	9.76	0.03	9.96	0.03
9.37	0.04	9.57	0.04	9.77	0.03	9.97	0.03
9.38	0.04	9.58	0.04	9.78	0.03	9.98	0.03
9.38	0.04	9.59	0.04	9.79	0.03	9.99	0.03
9.40	0.04	9.60	0.04	9.80	0.03	10.00	0.03
9.41	0.04	9.61	0.04	9.81	0.03		

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原因・対策	参照ページ
本ソフトウェアから 本体にアクセスできない	● 本体の電源は入っていますか？ → 本体の電源が入っているか確認してください。	—
	● 本体に有効なIPアドレスは設定されていますか？ → 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで >ping 「本体に設定したIPアドレス」 で、本体からReplyが返ってくれば、正常に動作します。Replyが返ってこない場合は、本体のIPアドレスを確認してください。	—
	● 設定したIPアドレスがほかの機器と重複していませんか？ → 本体のIPアドレスをほかの機器と重複しないように設定してください。本体のIPアドレスの設定方法は「ネットワーク設定タブ (Network config)」を参照してください。	75
	● PCに有効なIPアドレスは設定されていますか？ → PC側のネットワークインターフェースが有効になっているか、「コミュニケーションマネージャー」で確認してください。	23
	● 本体のIPアドレスはPCと同一ネットワークのIPアドレスが設定されていますか？ → 本体と本ソフトウェアは同一ネットワークアドレス上に存在する必要があります。「簡単IP設定」をお読みください。	15
	● ファイアウォールにより、本ソフトウェアがブロックされていませんか？ → 本体と通信するにはファイアウォールの設定でファイアウォールのネットワーク上での通信を許可する必要があります。	—
画面全体が表示できない	● PCのディスプレイ設定が変更されていませんか？ → PCの [ディスプレイ設定] - [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] の設定が「100% (推奨)」以外に設定されていないか確認してください。	—

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号